

年寄儀 八
年寄善兵衛 八
百姓代 彌右衛門 八

三七〇

文化八年奥州信夫郡仁井田村五人組御仕置御條目帳

本書は之を前掲の「延享四年御料所五人組前書」(五拾二箇條)に比較するに同書の「一往還之宿々並在々村方におゐて云々」の條と「一村々に而は一切宿仕間敷候云々」の條との二箇條を併せて本書には之を一箇條と爲し又「一牛馬致賣買候は云々」「一店借借地之者差置候共云々」「一百姓衣類之儀云々」及び最後の「一御料所國々百姓共云々」の箇條を減脱して合計四十七箇條と爲したる外は全く前記「延享四年御料所五人組前書」と同文なるを以て今これを省略することとせり

文化十年豆州田方郡塚本村村中五人組帳

條々

一從公儀被 仰出候御法度御箇條之趣名主方に寫置常々大切に心掛堅く相守名主組頭共立合村中

わ申渡違背仕間敷候事

一常々親に孝行仕主從禮儀正舖夫婦□合よろしく兄弟親類中能相續仕萬端實體にもとつき各家業を大切に可致候事

一五人組之儀は毎年可改之町家は家並在郷は最寄次第五軒宛組合體成者組頭に相立諸事御法度堅相守可申若五人組にはつし隱置敷組頭之不隨下知徒者有之候は、其一組より詮議之上急度可申付候事

一切支丹宗門之儀御制禁之事に候間郷中不審成者有之においては早速五人組より名主方わ申達し其上役所わ相届可申候事

附宗門人別帳に記し毎年春中急度可差出候事

一御用之儀何方より申來候共少も無遲滯可相勤之廻文之儀日限刻付遅々仕間敷候事

一田畑仕附耕作に念入御年貢米永割付之通急度皆濟可仕候若未進仕候百姓有之候は、急度可申付候且又耕作不精成者有之候は、外之作人より不荒置候様名主組頭吟味可仕候尤小檢見之節も引方相立申間敷候事

附口米口錢之儀前々より御定通り上納可仕候事

一博奕寶引惣而賭之諸勝負不依何事博奕に似たる儀一切可爲停止並操かぶき其外何にても見物遊物堅仕間敷候惣而遊女野良之類一切村中に不差置一夜之宿も堅仕間舖候事
附勸化乞喰修行者郷中猥に徘徊爲致申間敷候事

三七一

一名主百姓妻子等に至迄衣類之儀儉約を相守不似百姓衣類不可着猶又紗綾縹子縮緬之類るにも
仕間敷候事

一百姓家作之儀分限より軽く可致目立たる様に不可致普請並に男女共乗物鞍置馬に乗候儀可爲停止候事

一不依何事百姓悪心を企一列神水等吞候儀可爲停止候事

一喧嘩口論等出来候は、所々出合相留碍明可申候若内々に而不相濟儀候は、双方申合可訴出勿論
手負者有之候は、押置早速可申出候縦あやまちに而疵付候共子細即時に可訴出候尤他村に而喧
嘩有之候節は不可馳集候人殺候而立辻候者有之候は、隣郷者迄出合搦捕早速可爲註進若又押候
儀難叶候は、跡をしたひ落附候所に急度可申届候事

一百姓子供多持候者田畑惣領壹人に譲り可申候次男より耕作之働致し又は奉公人商人諸職人等之
弟子遣し末々自然と過候様可致候高貳拾石地面貳町以下之百姓高に而田畑致所持子供に取分け
仕度者は其旨を申達可請差圖候事

一往來之道橋は不及申惣而協道作道不自由之處道橋を造り人馬無難儀通路致可申候勿論古來より
有來り道を田畑切添或は井溝の稻植申間敷候

一惣而大酒等仕間舖候若酒に酔惡事出来候は、品により五人組可爲越度候事

一御年貢米皆濟無之以前米穀他所に一切出不可申候年限に御年貢急度皆濟可仕候事

一高札之儀致大切置勿論古く成文字見兼候は、役所に訴出可請差圖候事

右之條々堅相守可申候若違背仕輩於有之は可爲曲事此書面名主方の寫置毎年正月五月九月壹ヶ年
に三度宛村中大小之百姓寄合儘に讀聞せ常々此趣合點仕罷在候様入念可申付者也

組 親 清 右 衛 門 印

長 左 衛 門 印

德 右 衛 門 印

由 左 衛 門 印

善 兵 衛 門 印

清 藏 門 印

佐 兵 衛 門 印

勝 右 衛 門 印

清 兵 衛 門 印

文 助 門 印

組 親 吉 右 衛 門 印

長 七 門 印

忠 左 衛 門 印

宇 兵 衛 門 印

利 右 衛 門 印

組親

半右衛門藏印

三七四

組親

仁右衛門印

組親

新助印

組親

惣八印

組親

重右衛門印

組親

三郎左衛門印

組親

文右衛門印

組親

乙右衛門印

組親

傳七印

組親

宇右衛門印

組親

半左衛門印

組親

嘉兵衛印

組親

武右衛門印

組親

民右衛門印

組親

八左衛門印

組親

庄兵衛印

組親

源左衛門印

組親

市郎兵衛印

組親

孝甫印

組親

與左衛門印

組親

嘉左衛門印

組親

彦右衛門印

組親

勘兵衛印

組親

半右衛門印

組親

長右衛門後家印

組親

伊右衛門印

組親

孫右衛門印

組親

仁左衛門印

組親

又左衛門印

組親

傳藏印

組親

安右衛門印

三七五

文升十季五人麻...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

染右衛門印
市右衛門印
長藏印
岡右衛門印
安左衛門後家印
源藏印
茂兵衛印

組親

右之通五人組相改連印仕候處相違無御座候年々被仰渡之趣急度相守可申候爲後證仍而如件

文化十年酉三月四日

文化十年五人組御條目

〔東京府南葛飾郡瑞江高橋初太郎氏舊藏〕

本書は前掲の享和三年武州荏原郡品川領上大崎村五人組帳(七十三箇條)と全く同一にして「享保集成絲繪録」所載「當時村方五人組帳」(七十箇條)の中一箇條を改定し最後の三箇條を追加したるものなり故に今之を省略す

文政元年武州多摩郡下川口村御仕置五人組帳

〔東京府南多摩郡川口村下川口小谷田甚五兵衛氏所藏〕

本書は前掲の「享保集成絲繪録」所載「當時村方五人組帳」の末尾に四箇條を増補追加したるものなり故に今左に増補の分のみを掲載す

一 公儀御仕置に而江戸拂又者追放に成候者御構之場所に隠罷有候者も有之様に相聞候畢竟右體之者と乍存圍置或は致世話候者有之歟之儀に而不届至極に候間於相顯は圍置候者も當人同前之御仕置に被仰付家主名主五人組迄乍存差置候は、御咎可被仰付旨御書付出候間此段可相守旨奉畏候事

一 御料所國々百姓共御取箇并夫食雜貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀は皆停止候所近來御料所之内に而も右體願筋に付御代官陣屋に大勢相集致訴訟候儀も有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上重罪科可被行事

一 近來在方之もの耕作を等閑に致却而困窮等之儀申立奉公稼に出候もの多所持之田畑を荒し置候類有之由相聞不埒之至に候已來村高人別割合何人迄は奉公に出候而も差支無之と申儀其土地に寄右割合之多少可有之事に候間村々心得違不致何れにも村高不相應に他所に奉公稼に出候者多不相成様村役人共無油斷可取計候實に無據子細に而奉公に出度旨相願候者有之候は、右割合之

人數迄は村役人共承届け年季限奉公に出候様可致候右之趣年々無油斷小前百姓共の度々爲讀聞忘却致間敷候若双方之不顧差支も奉公に出持田畑を荒候儀に有之候は、當人者勿論村役人共迄可爲越度旨被 仰渡奉畏候事

一 田畑配分之儀高拾石地面壹町をなく分候儀御停止に候尤分高によらず殘高も此定分相殘申間敷候然上者廿石地面貳町を少き田地配分不相成間厄介人有之者は在所に而耕作之働に而渡世爲致可申事

右御法度惣御ヶ條之趣村中に寫置毎月壹度宛惣百姓共名主所に寄合爲讀聞被 仰付候通相守可申候若違背仕候もの有之候は、何様之曲事にも可被 仰付候依之村中連判仕差上申候處仍如件

文政元年庄内二郡五人組掟帳

庄内二郡五人組掟之條々

一 前々從

公儀被仰出候御法度之趣彌以堅相守常々不相背之様村中大小之百姓并水吞下々迄急度可申付事
一切支丹宗門之儀累年雖改之少しに而も不審成宗門之者有之候者早々可申出御褒美可被下之若隱置脇より於令露顯は大組頭肝煎長人五人組迄掟之通可申付借家借地并寺社方山伏行人鉦たゞき其外穢多之類迄も其所住居之者是不殘宗門人別帳に書載入念可相改毎年六月中帳面可差出申

但切支丹轉ひの者并類族有之分は別帳に記之可指出他村を縁組等に而右の族來たる者有之候者早速可注進之事

一 御制札古く成文字見え不申候歟又は覆破候は、役所へ可申出事

一 御年貢諸役等大切に可相守勿論毎年御免相究次第其村々百姓前付荒小札を以可相渡候諸浮役小物成村雜用等役所より元割帳相渡候分組々村々大小の百姓前無高下入念割付帳面に記之端々迄疑敷不存之様に少之儀も明細に仕得と爲讀聞爲寫取置へし依估最肩并私之割掛無之と申儀肝煎長人百姓相判いたし置追而出入等無之様に可致置候御年貢皆濟の儀其年之模様により日限可申付候間日掛之通無相違米穀相納皆濟急度相勤候之様に兼而可有其心得事

附御年貢皆濟已前米穀一切他へ出し申間敷事

一 徒黨を結び一味同心仕候儀堅御停止に候若誓詞を書神水を吞徒黨かましき儀有之者早々可訴之御褒美可被下候尤仇をなさる様に可申付事

一 親に孝行を盡し下人は主に隨ひ夫婦中能兄弟睦敷友立は老たるを敬ひ物こと頼母敷順路に可仕候村中に勝れ孝行成者有之は得と其様子を見届可申出不行跡の者有之は再應可加異見其上にも不相用者は其段可申出事

一 農業隨分精を出し可相勤抽而候者有之は可申出又老て子もなく幼少に而親に離れ或は後家になり或は長煩等いたし無據身上衰へ難立者有之候者一類共は不及申肝煎長人五人組心を合せ引立可申惣而組内助合ひ疎遠有べからざる事

附何家職もなく相見え候もの有之候者致吟味可申出事

一御年貢浮役納米之儀村中相吟味仕潰跡與内米過分に不懸様に可致事

附作物取入候節日暮前夜明候而人並に可取入暮に懸り夜明前に作物取入候者有之は不依何者
肝煎方へ可相届事

一人賣買御停止に候間堅可相守但奉公人年季之儀可限拾ヶ年事

一捨子並に捨牛馬御停止に候間堅可相守若他所より捨子有之候者村中に而養育いたし置出所開届
吟味之上可申出之候他所より捨牛馬または放牛馬當村へ來候者肝煎長人百姓能々致詮儀持主知
候者其村之肝煎本主より手形取之相返其旨可注進之惣而生類を憐み不實不情成儀一切仕間敷事
附牛馬賣買之儀證人を立肝煎五人組へ可相断候且又馬の筋を延候儀堅御停止に候尤作場へ猥
に牛馬放し申間敷事

一五人組之儀町場は家並在郷は向寄次第家五軒宛組合せ組頭可立之五組に長人壹人可申付借家借
地之者并水吞寺社門前之者等に至迄五人組合に入へし組にはつれ候もの不可差置但寺社は格別
たるへし常々五人組仲間無油断子弟下人迄御法度之趣堅申付其上いたつら者有之肝煎長人申付
をも不用者有之は可訴之若肝煎長人非義有之は不依何事可申出事

附五人組帳宗門帳に押候印判之外別之印形不可調置若子細有之印判替候歟又は紛失仕候者肝
煎長人百姓は役所へ相断印鑑可差出之其餘之者は肝煎方へ印鑑可指出候惣而印判は大切なる
物に候間猥に致間敷候且又名を改候者早速肝煎長人五人組へ可相断事

一御林御立山の竹木枝葉下草等迄公用之外伐採間敷候精を出し御林仕立可申候里漆山漆は勿論楮
桑植付可致出精事

附御預山地續林并居屋敷青木は勿論目立候竹木伐採候は書付役所へ差出し可得差圖且又堤に
有之候草葎等猥に蒔取申間敷事

一田畑并山林等永代に賣買御停止に候間堅相守へし若年季致賣買候共御定の年季に可限右證文之
表肝煎長人五人組頭加判取之大庄屋へ申出可請差圖其節反畝水帳吟味いたし田面へ役人共罷出
末々違亂無之様に可致候勝手により場所替之義致間布候肝煎長人五人組之者共私用を構へ右證
文へ不致加判候者可申出勿論質入田畑金主方に爲作候而御年貢者地主より出候儀決而致間敷候
且又田畑一作賣或は小作前米取申間舖候若於無據子細之儀は役所へ可申出事

但肝煎田畑質物に入候は相肝煎長人百姓加判可取之事

一前々被仰出候通願不申立質貸いたし候儀御停止に候申立候質屋たり共出所不知怪敷質物は不及
申惣而請人無之質物不可取之縦ひ預物たりといふ共不審成物決而預申間布事

附盜物見出其届於有之者早速肝煎長人百姓五人組立會可埒明如何様の者申來候共疎略仕間敷
事

一博奕賭之諸勝負并同じく宿堅御制禁に候若隠候而博奕仕後日相知候は本人は不及申一座之者ま
て可爲曲事之事

附寄合又は商にことよせ博奕に似たる類も一切仕ましき事

一御朱印は勿論御黒印并駄賃傳馬之儀常々吟味致し晝夜不差間様に致すべし泊休之節不限何時旅籠に而も木錢に而も相對次第無指問宿賃可申候且又先々より人馬觸來候者刻限を不違可出之助人馬寄候節宿々問屋年寄致吟味其宿之馬をかこひ面々勝手能荷物付候儀一切爲致間敷候若寄人馬之内人馬割難心得事候共先無滯出之後日に可申出事

附御朱印并御證文無之人馬爲出駄賃錢不出通り候もの有之は押置大庄屋大組頭肝煎立會詮義之上彌怪敷體之者に候は、可注進之事

一湊々浦々に而御高札の趣可相守御城米船難風之節は助船を出し精を入圍べし若破船有之者猥成義不可致早々可注進之諸廻船之儀右に準猥成儀不可致候且又浦々并川行に而流寄候品有之候者船具は勿論家財流木等に至迄早速可注進之事

附湊々船着場之外荷物は勿論誰人之頼に而も他領へ乗せ送申間敷又は他領之者陸上爲致候儀堅令停止候湊々船着に而も出判入判出之人數之外同斷之事

一貳百石積已上の海船合せ候者役所へ可相斷事
一武家奉公人并往還の輩へ對し無禮仕間敷候勿論刀をさし候ものへ口付無之馬乗打致間敷事

一往還の輩俄に煩出候は所の醫師に爲見藥を用ひ能々看病いたし可相通候并酒醉等道路に臥居候もの有之候者致介抱行歩の難叶ものは其者の在所を聞届迎を呼ひ手形を取可相渡候旅人に而若相果候は番人付置其者所持の雜物等肝煎長人百姓立會相改帳面に記之肝煎方へ預早速注進いたし差圖を請へし山林堂宮其外何之所に而成共自害人倒れもの又は溺死の者同前たるへし雪中難

風之節助人助船可出之候事

附病氣にも無之もの二夜と宿仕ましく候若押而宿借申もの有之候者肝煎長人百姓立會旅人之趣意を聞届怪敷ものに候は、可注進事

一盜賊惡黨之者有之節は鳴をたて隣鄉村々より出會搦捕可注進之即刻不出會者は可爲曲事且又堂宮山林に隠忍ひ胡亂成者有之は肝煎村中之者相談之上搦捕候而可申出捕候義難叶立退候者何方迄も追懸落着の處へ急度可斷之見通仕後日に相知候者曲事可申付事

一諸國交易の旅人問屋付并前々宿致し來候もの之外往來之旅人旅籠屋之外猥に宿いたし申ましく候親類知音等用向有之罷越候者止宿爲致候は、五人組へ爲相知肝煎へ相斷可申事

附出家社人神主山伏行人虛無僧替女座頭神子鉦たゞき乞食等其外穢多之類迄も吟味いたし胡亂なるもの一夜之宿も貸申間敷旨常々堅可申付事

一御料并他領之者御領内へ罷越惡事いたし其御料へ立歸居候義相知候而も其所へ捕手之者差遣し不申役所へ申出差圖を請へし且又惡事いたし候其場所に而早速只捕候者是又役所へ申出可請差圖事

一獵師鐵炮又は威鐵炮渡置候外鐵炮不可隱置尤人に借打すへからさる事
附獵師之外不可致殺生獵師之者鶴打候者早速可申出事

一往還之輩又は當村之者喧嘩口論出來候者早速肝煎長人百姓出會可制之手負死人等有之候者其相手押置可注進之若捕候義難叶候者跡を慕ひ落着之處へ急度可申届候事

附他所より來候手負之義出處開届押置可注進之事

一新規の寺社は不及申縦ひ古跡たり共再建之義堅可爲停止庚申塚石地藏石塔之類迄田畑野山道路之端へ新規に一切立間舖候并有來候寺社住寺社人等替候は、可注進之將又新規之出家社人陰陽師座頭道心之族差置間敷候若無據筋於有之は役所へ申出可請差圖事

附新規之祭禮等不可取立佛神開帳并他所へ當分相移し開帳仕儀有之は前方可注進之他國より神樂を送來候とも不可請取村中に暫も不可差置事

一酒屋株之義無願新酒屋御停止之事

附郷方惣商人之義は先年相改焼印札相渡置候猶又當寅年以後年々改候戸籍人別帳へ商賣業體書載開濟之外猥に商賣無用之事

一田畑永荒の場起返り并新開之田畑有之候は、早速申出へし隱置脇より於顯者本人は不及申肝煎長人百姓五人組迄可爲曲事且又假初之池堀にても無斷埋或は掘申間敷事

附毎度雖不相觸其村請取之道橋等惡敷所有之は早速繕ひ可申候往還之海道并耕作之道を切せはめ申間布候次に新道無斷而付ヶ申間舖事

一入會之野山并面々持山に而も草木之根無斷掘取申間布候鶴之替を入候義可爲停止候御林近所は勿論惣而無懈怠野火除可致候田畑へ山崩無之様山林へ苗木を植立可申事

附山中に而燒畑仕來候所は格別其外野火付候儀可爲停止若燒畑之火もれ御林森等へ燒入可申様成節は早速近郷より打寄相防可申事

一海道脇田畑痛申間舖候道惡敷候共田畑廻りへ道付申間布候稻は不及申作物馬に喰せ不申様可仕候馬引通候者馬之口取付添可申事

一田畑屋敷山野獵場之境并用水懸引に付私之爭論致すべからず水論并論所へ刀脇差鍵長刀等不可持出不依何事荷擔之者於有之は其科本人より可重事

附溜池井溝我まゝに水引申間布候水不落して不叶時分は其場所により仕來之通役所へ相届或は水下役人大堰守立會相談之上水落跡を丈夫に築立可申事

一堤川除伏樋掛樋惣而用水之場所可入念就中洪水之時分晝夜番を付置危所有之は鳴をたて村中出會可圍之常々肝煎其外懸之役人見廻り小破の時致修復田畑損毛無之様可仕事

附堤川除其外從 上被下候人足扶持當坐割いたし銘々判形肝煎方へ可取置候惣而百姓之仲間次合勘定仕間敷事

一公用之儀又は申合事有之百姓寄合候節村入用之酒一切給申間布候惣而少之事も費無之様可仕事附役人百姓共に賄一切給不申近郷は日々宅より罷出持飯給可申候賄給不申不叶儀者別段可申付事

一年中村入用懸物之儀肝煎長人百姓五人組邊詮議入念候而入用多無之様可致候入用之度々帳面に記置可申候肝煎長人百姓立會相改割賦惣百姓判形可致置候右入用帳面後證之爲貳冊充相認置壹冊は年々役所へ可指出壹冊は肝煎手前へ差置紛失無之様可致候此外に別帳仕立無用之取立割懸候義仕間布事

附肝煎方より入用銀觸來候共見届印有之御代官差紙の外一錢も不可出之無謂入用強而出候様申候は、其段可申出若又可出入用等致難澁者有之は急度可申付事

一他所奉公彌以御制禁に候若無據子細有之は其譯申出可請差圖候惣而他所出之義以書付願出可申候若願不申立他所へ罷出後日相知候者可爲曲事之事

附他所出之者願之上に而も五ヶ年に可限事

一持來たる田畑子孫へ爲分取候義不可致若不得止事爲分取候共壹人前高五石より内不可分之年季賣之通大庄屋元へ相届反畝水帳田面共役人相改可申候小高百姓は惣領壹人へ可讓之跡式之儀存生之内肝煎長人百姓五人組加判爲致置可申事

一勸進能あやつり角力歌舞妓其外見せもの類一切爲仕間布候且又遊女堅不可指置事

附狂言踊を習ひ或は淨瑠璃三味線誹諧等不相應之日暮不可致惣而遊興かましき義於有之は急度可申付事

一百姓に不似合風俗を致し長脇差を帶其上耕作不仕大酒醉狂惡所狂ひ等仕行跡不宜者有之は其趣を申出べし且又新規に當村へ百姓に有着度と願者有之候は、出所へ爲問合彌慥成者に而構無之候者惣百姓相談之上請人を究め宗門も相改申出差圖を請べし并當村出生の者に而も他國へ行年數歴歸候者は可爲同前事

附當村之内或は立退或は逐電又は身帶潰候而住居難成者有之は可注進之并他村にて子細有之立退き來たるもの有之は縦ひ親類たりといふ共一切不可差置事

一人請之義猥に立申間敷候然共近親類又は出所慥成ものに候は、肝煎長人百姓五人組へ相斷請に立可申事

一店借地借并浪人等出所不知者一切差置ましく候且又前々より住居の浪人有之は書付可差出事

一水帳之内手前之高反別寫取申度由申百姓候は、望次第肝煎方に而爲寫可申事

一御用之儀に付村繼之觸狀晝夜に不限早速送届可申候若遅々仕候者可爲越度事

一人改御番所有之村者村中申合大切に相守可申候手負并女比丘尼其外怪敷者見當候者相改可申事附口留御番所有之村方晝夜に不限疑敷者見あたり候者申合留置可申出惣而他領へ山越等之者見當り候者御番所村に不限擲捕可申出御褒美可被下之若又間道案内先立等致候者は急度可申付候事

一火之元別而入念大切に仕當村中申合番所を立番人を可差置且又郷藏に御年貢米有之内は村中之者替々郷藏番仕惣而風烈敷節入念肝煎長人百姓相互に可見廻常々用心大切に仕自然火事有之節は鳴を立當村之者は不及申隣郷之者迄早速火消道具を持駆付精を出し可消之尤郷藏第一に可圍之若燒失米有之節は組中可爲弁納又は盜賊に而も損失之分は村中可爲辨納事

附居室は勿論小屋等に至迄火事有之は可注進事

一百姓前より取集候御年貢米金銀納方手代肝煎留帳へ書記之納主之印形可取置之右留帳へ印判押切いたし小百姓に至迄渡置後日に出入無之様可致事

附納米之節手代肝煎升取立會糶糠小米糶くたけ等無之様米楯入念可納之中札村名納主手代之

名書付入可申事

一 郷藏御收納前初秋之内雨洩等無之様修覆いたし置若朽米鼠切てんかけふけ米臺付等損表於有之は百姓可爲辨納事

一 郷藏へ御年貢米其外穀物納候節納方手代見届濟候者郷藏戸前肝煎長人百姓立會致相封置相互に可達吟味候若疑敷儀有之は早速可申出事

一 御年貢米收納無之已前米大豆其外穀物取散し又は私用に遣ひ皆濟不成百姓有之は其もの御年貢并諸役銀迄村中より辨納可申付之條前方より相互に仲間達吟味放埒なるもの於有之は可申出事

一 御年貢米川下之儀圖表は格別其外之分は上乘之者郷中において達吟味可遣之船中雜用并御藏納逗留中諸入用委細帳面に記入用多不懸之様可仕之事

一 百姓衣服之儀男女共布木綿可着襟袖口帶等にも絹類不可用雨具は蓑笠可着事

一 大組頭雨具は丸袖木綿合羽勝手次第着用不苦事

附襟装束にも木綿之外可爲無用事

一 敷入聲取萬祝儀并佛事分限より輕く可仕大勢集大酒すべからず勿論料理がましき儀一切仕間敷候次に葬禮之儀諸事分限不相應成儀仕ましく候若相背輩有之者可申出急度可申付事

附日立候普請惣而奢かましき儀堅仕ましく候但驛場之家作者可爲格別事

一 惣而家業不精成もの田畑荒作に仕者於有之者急度曲事可申付候若幼少に而親に離れ或は老人或

は獨身之百姓相煩耕作成兼候者親類縁者は不及申五人組村中相互に助合御年貢致上納候之様可仕候惣而村役相勤候ものは正直を專にし私欲并依怙最負不仕普く村中に心を付身上不成者を惠み自然公事出入有之は五人組長人百姓肝煎立會雙方の意趣を聞届理非を致分別利害を可申論無謂公事を巧み候もの有之は可申出晝夜 上を重じ御法度不相背候様村中小前の者に至迄常々心付可申事

一 休日之儀正月元日より七日迄同十六日より二十日迄日數十二日七月十四日より同二十日迄日數七日可相休事

附正月七月右休日之外平月四日之休日之外相休中間鋪候勿論右兩月閏月有之節は平月之通四日之日數斗可相休事

一月々休日之儀正月七月之外朔日八日十五日二十三日一ヶ月に四日充相休可申事

附右定休日之外三月三日五月五日七月七日九月九日相休可申候且又六月朔日八月朔日は四日

休之内に込可申事

一年中簀作手間二日鎮守之緣日一日田植休一日田植後虫送り都合五日相休可申事

一 働日之内多葉粉休一日に四度宛爲致可申事

附惣而相定候休日之外自分に相休候儀爲致申間布候大小之百姓水吞并子弟召仕之もの迄も不相背之様嚴敷可申付候若相背候もの有之其分にいたし置脇より相知候は、當人は勿論肝煎長人百姓五人組迄可爲越度事

一 郷方懸役人并召仕等迄へ輕品成共音物禮物一切仕ましく候押賣押買何事によらず不作法いたし候者早々有體に可申出隠置後日に相知候は、肝煎長人百姓可爲越度事

一 諸役人郷中相廻候節賄代之儀前々相定候通之外相増中間布候惣而在合之野菜を以一汁一菜無酒に而賄可申候無益之品調置村入用へ割懸候者村役人可爲越度候並無用之人馬集置百姓隨費中間敷事

右之條々堅可相守若違背之輩於有之は可爲曲事此帳毎年正月七月一ヶ年二度宛村中大小之百姓水吞等迄寄合得と爲讀聞常々此趣致合點罷在候之様可入念者也

文政元年寅九月

在町へ申渡書

去九月中被仰出候在町戸籍人別帳不殘出來

御城下續郷方地寺社門前御給人名子之者向寄町々五人組に入引請相濟候依之猶申渡候右御改之御趣意者只今迄之通扱違の者入會罷在候而は諸事御法令御締も不行届且又御法度を背候心得違之者有之ても相吟味に難及追放欠落等の立歸もの隠居候而も改方不行届博奕盜賊等之惡黨他領より御領内へ入込候而も事顯候儀無之候へば不相知御郡中徘徊いたし色々惡事を致し候もの穿鑿も難行届候に付戸籍人別を以嚴密に改惡者徘徊も難致事に相成候へば御締宜在町之者共安堵之儀に至其

上各其職業を勵み父母妻子を安く養候之様にとの

御仁惠に而被仰出候事に候之條此御趣意を在町之役人共能々相心得其村其町五人組限明細に改め年々帳面仕立可申候惣而御法度被仰出候而も年を経候而若怠慢いたし只此帳面而已に而内實相違いたし候者折角之御趣意徒事に可相成候而第一在町居住之大庄屋深切に相心得町役人村役人共へ年々無懈怠申渡次に村役人町役人は其扱之五人組頭へ申合五人組合之者親しみを厚くし善惡共に一家内之心持相成御趣意行届候之様在町役人共へ年々可令申渡候

卯六月

郷村へ申諭書

戸籍伍々人別兩

御城下町々をはしめ郷村のはし、くまで御糺しの事は御郡中一人として御人にあらざるはなく此もの共のよからぬ身すきをよからぬ人やとしましてはよるへなきものさうゑるゑ御惠みにもれ候半事をありかたくも深く

御憂あそはして在町かまと一人くをあらため家業職業よろつの營みに精を出し老たる親を養ひ幼なき子を育み人ことゆたかになしたく 思召の程下々まで有難く心得へき事に候 一年久しく傳へたる家或は成内の者は親類も廣く召仕の男女もあるへしあらたに家を持たは隔

りたる里より移り親戚の遠きものは隣々の助を頼むへしされは伍々組内の事を 仰付おかれ候年若く氣力も強く候は他を頼むへきにもあらずさりとて貧富は時により老少はとしに随ふならひなれば後の事を慮り辨て朝夕に組内を親しみ互ひにへたての心なく申合すへし組内の睦しきは其組の頭の力なるへし組々揃ひたるは取扱ふ長人の力なるへし一村睦しく治り孤獨の者も朝夕をやすく送候は肝煎并添役の精勵成へしかる村は御褒美有へし

一照つゞき早魃のしから村々人々力を合せ水をひき人こと互に計るへし持分斗りに精を出し我まゝなる働し他の苗の枯るをもかまはず縦ひ其年の持分は作まし候共其村の守なる鎮守の神のいかてか悪み給はさらむおのつから仕合のよからぬ事なと有へし又は他の難儀をも返り見す公事訴訟などに心をよせ候は御咎を引出し家をも身をも失ふへし萬つの事正しきに精勵すへし一上を敬ふ心をもとすれば何事もあやまちなかるへし又は我菩提寺を尊敬し教をも請候は先祖を敬ひなき親に孝行の事に而めてたし春秋五穀成就の事を其村の鎮守に祈るへし

一朝は早くおき夕はおそくいね人にまし精勵なるも老たる親幼なき子多くさてはやみ煩ふものなと有て朝夕にともしき者あらは肝煎添役長人五人組内心を付御惠の洩さる様に申出へし

一病ひかちにて手足の弱く候者も男は繩をなひ薙を織草鞋類の營みし女は苧をうみ布木綿を織けふのすきはひせむに食用たらぬはよもあらし市町遠く商に使あしき村里は村役人の者斗ひ有へし大庄屋諸事心を付へし

一家業職業に怠り困窮にせまり年若く辨もなき女子共を飯盛奉公に出し當座の凌なとするは心根

あしきよりの事なから愚かなる心不便の事に候一旦遊ひ奉公せる女はあしき習ひにしみ終身の誤となり心有もの取迎へすさては成内なるもの取迎へ田畑に離れ候もとくなるもありかゝる奉公に出すは遠き親類の者迄上もなき耻なる事を知へし但分て貧しきものゝ長くやみ煩ひ持高もなきもの又は夫の世を早くし女暮しの身となり舅姑の老たるを養ひの便飯盛奉公に出せるはむかしよりためし有事にてとかむへきにはあらずさりとて又あはれむへし其村の役人五人組内心を合せ斗ひもあるへし

一肝煎並添役は朝夕一村に心を置長人五人組頭に申合せ大小之百姓小前の者迄家業職業を勵まし老たるを助け孤獨を憐み大庄屋は常々組村を廻り怠り候者あらは教をほとこし勝れて精勵の者は申出へし

右之條々今般伍々組内の心得を教置候へとの被 仰出候條年々五人組人別御改のたひこと又は村鎮守祭禮八講湯立等之砌大小之百姓水呑小前に至迄よみきかせ常々可申諭者也
文政二年卯六月

覺

一農業を不怠法度をそむかす名主組頭の掟にたかふへからず奢りかましき儀不致衣服の花美を好す龜服を用ゆべし

一人の子としては親に孝行を盡し父母の心に聊もそむく事あるべからず父母は子をいつくしみ教へし弟妹たる者は兄姉を尊ひ敬へ兄姉は弟妹をあはれみ道ひくべし召仕あるものは壹季半季の男女小兒たり共不便を加へ情をかけてつかふべし召仕はるゝ下人も主人を親とひとしくをもひ心を盡して奉公し主の恩を不可忘夫は妻をめくみ妻は夫を主親の如く大切にをもへ舅姑あらば孝行を盡し惣て心にさからふべからず舅姑も嫁を實の娘の如くいつくしみわけへたてなく惣て村中は相互に中よくし吉凶には念比にをとつれ有へし何事もいづはりなく誠を以出合ふべし若村の中に主親に忠孝を盡し候もの有之は惣百姓數年の事を見をよひ聞及び村の勝手になるべき人あらば名主組頭支配の御代官へ可訴出候

一名主組頭身持をたしなみ其村々の人の手本となるべしと可心掛老たる者は若きをいましめ若きものは老たるをたすけて互にちからを合せて渡世すべし都て老若にかぎらず身持あしきもの有之は名主組頭相談の上異見を加ふべし異見三度にをよひても不用は惣百姓惣談有て名主組頭へ可訴出候名主組頭身持よろしからざる事有之は年老たる百姓相談し異見を加ふべし再三の異見不用時は近村の名主組頭相□異見を加ふべし其上にも不用候はゞ支配の代官へ可訴出候

午十一月寛延三年庚午土浦本堂院殿土屋能登守篤直公御代也公は融相院殿但馬守數直公の孫也

右の段被得其意御代官へ篤と被申合候様被仰出候厚く相心得聊心得違無之堅相守候様在々へ可被申渡候以上

丑 三月

右之通り被仰出候間厚く相心得毎月一度づゝ村中無殘可讀聞候其時々出役有之候間左の通り可相心得候

一 小田北條は兩御村守候て爲讀聞候節出役有之間兼て其旨可相心得候尤月休日等に可相成日を考定日を極め爲讀聞候様可致候仍ては定日の儀組村限り相談取極め來る七日迄可申出候右の通寛延中に被仰出候處年歴を歷候ていつとなく相怠り候様相聞候は子年御在城中厚き思召を以被仰合候御趣意も有之候間寛延の度被仰出候御書付の趣改申達候毎月無怠惣百姓へ爲讀聞尙又急度相守り候様可致候

丑 三月

文政四年武州多摩郡上練馬村五人組書上帳

〔東京府北豊島郡練馬村増田藤助氏舊藏〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載の「當時村方五人組帳」に三箇條を追加したるものなるを以て今其追加と末尾の五人組帳とのみを掲載することとせり

一 公儀御仕置に而江戸拂又者追放等になり候もの御構之場所を隱置罷有候儀有之様子相聞候畢竟右體之者と乍存圍置或は世話致候者有之候故之儀に而不届至極に候間於相顯者圍置候者も當人

同前之御仕置に被 仰付家主五人組名主迄乍存御差圖候は、御咎め可被 仰付旨御書付出候間
此段可相守旨奉畏候事

一御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀は堅停止に候所近來
御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋の大勢相集訴訟いたし候儀も有之不届至極に候自今
以後嚴敷吟味之上重き罪科に可被行候事

一近來在方村方之者共耕作等等閑にいたし却而困窮等之儀申立奉公稼に出候もの多く所持之田畑
を荒し置候類有之由相聞不届之至に候已來村高人別割合何人迄者奉公に出候而も殘人數に而耕
作者勿論村方差支無之様哉否哉村役人共糺實々無據子細に而奉公に出度旨相願候もの有之候は
ば右割合の人數迄者村役人共承届年季を限り奉公に出候様可致候若村方之差支にも不限奉公に
出持田畑を荒し候儀も有之候は、當人者勿論村役人共可爲越度もの也

右御法度惣御ヶ條之趣村中に寫置き毎月壹度宛惣百姓共名主之所に寄合爲讀聞被 仰付候通り相
守可申候若違背候もの有之候は、何様之曲事にも可被 仰付候爲其名主年寄五人組連判之一冊差
上申候仍而如件

文政四年巳二月

名 主 利左衛門
年 寄 吉左衛門
同 五右衛門

同 孫右衛門
同 五左衛門
同 太左衛門
同 五郎右衛門
同 傳三郎
同 平左衛門
同 權兵衛
同 半右衛門
同 八左衛門
同 四郎兵衛
同 伊兵衛
同 武兵衛
同 長左衛門
同 文左衛門
同 源左衛門
同 八郎兵衛
同 吉兵衛

五人組

吉左衛門
宇左衛門
庄左衛門
李左衛門
市郎左衛門
五右衛門
半右衛門
兵左衛門
由右衛門
權四郎
左七郎
喜三郎
茂左衛門

五人組

年寄
同姓代
喜兵衛
藤助
定右衛門
傳三郎
左五兵衛
三右衛門
作十郎
勤左衛門
定右衛門
善兵衛
五兵衛
傳右衛門
左兵衛
庄兵衛
三太郎
源太郎

五人組

甚五右衛門
佐左衛門
庄八
勤右衛門
惣九郎
長三郎
市十郎
左五兵衛
彌五兵衛
門四郎
安兵衛
權右衛門
五郎右衛門
傳四郎
善兵衛
善四郎

五人組

甚左衛門
半四郎
十五郎
德右衛門
七兵衛
權兵衛
庄三郎
茂右衛門
七郎右衛門
與次右衛門
三郎兵衛
伊兵衛
甚五兵衛
清藏
藤右衛門
紋右衛門
孫助

五人組

庄八
勤右衛門
惣九郎
長三郎
市十郎
左五兵衛
彌五兵衛
門四郎
安兵衛
權右衛門
五郎右衛門
傳四郎
善兵衛
善四郎

五人組

甚左衛門
半四郎
十五郎
德右衛門
七兵衛
權兵衛
庄三郎
茂右衛門
七郎右衛門
與次右衛門
三郎兵衛
伊兵衛
甚五兵衛
清藏
藤右衛門
紋右衛門
孫助

五人組

庄八
勤右衛門
惣九郎
長三郎
市十郎
左五兵衛
彌五兵衛
門四郎
安兵衛
權右衛門
五郎右衛門
傳四郎
善兵衛
善四郎

五人組

甚左衛門
半四郎
十五郎
德右衛門
七兵衛
權兵衛
庄三郎
茂右衛門
七郎右衛門
與次右衛門
三郎兵衛
伊兵衛
甚五兵衛
清藏
藤右衛門
紋右衛門
孫助

五人組

善四郎
善兵衛
傳四郎
五郎右衛門
權右衛門
安兵衛
門四郎
彌五兵衛
左五兵衛
市十郎
長三郎
惣九郎
勤右衛門
庄八

五人組

甚左衛門
半四郎
十五郎
德右衛門
七兵衛
權兵衛
庄三郎
茂右衛門
七郎右衛門
與次右衛門
三郎兵衛
伊兵衛
甚五兵衛
清藏
藤右衛門
紋右衛門
孫助

五人組

平十郎 勸左衛門 傳兵衛 藤八 武右衛門 源右衛門 忠兵衛 武左衛門 太右衛門 傳兵衛 七兵衛 藤藏 德兵衛 嘉兵衛 市兵衛 藤助 平兵衛

五人組

卯右衛門 忠右衛門 傳八 伊兵衛 伊右衛門 新右衛門 音右衛門 庄右衛門 長右衛門 五兵衛 市郎右衛門 與兵衛 權兵衛 安兵衛 吉十郎 勸十郎

五人組

源兵衛 金十郎 長四郎 利左衛門 孫右衛門 傳右衛門 伊介 儀右衛門 伊左衛門 太平次 平十郎 平右衛門 安左衛門 治郎左衛門 長右衛門 長三郎 藤左衛門

五人組

三郎右衛門 三太郎 折右衛門 八左衛門 市郎兵衛 太左衛門 善左衛門 次郎右衛門 伊左衛門 銀右衛門 孫兵衛 長左衛門 八郎兵衛 利兵衛 作十郎 茂左衛門 兵左衛門

五人組
武左衛門
又十郎

五人組
與左衛門
平左衛門

四〇二

五人組
治兵衛
五郎左衛門

五人組
儀左衛門
傳左衛門

五人組
九右衛門
三左衛門

五人組
甚左衛門
七右衛門

五人組
半兵衛
五左衛門

五人組
利右衛門
甚五右衛門

五人組
三太郎
金十郎

五人組
淺右衛門
八右衛門

五人組
七兵衛
太郎左衛門

五人組
市郎右衛門
市郎右衛門

五人組
安右衛門
喜三郎

五人組
七兵衛
庄三郎

五人組
市郎右衛門
市郎兵衛

五人組
新七郎
四郎兵衛

五人組
與惣右衛門
惣左衛門

五人組
文左衛門
茂右衛門

五人組
長左衛門
金左衛門

五人組
安右衛門
卯兵衛

五人組
新左衛門
久之左衛門

五人組
半右衛門
惣右衛門

五人組
彌次右衛門
九兵衛

五人組
次郎兵衛
七兵衛

四〇三

五人組
李兵衛

五人組
權四郎
勸兵衛

五人組

太左衛門

五人組

安左衛門

四〇四

五人組

勘右衛門

五人組

孫右衛門

五人組

忠三郎

五人組

久右衛門

五人組

佐源太

五人組

平左衛門

五人組

太郎兵衛

五人組

伊三郎

五人組

門三郎

五人組

平兵衛

五人組

元右衛門

五人組

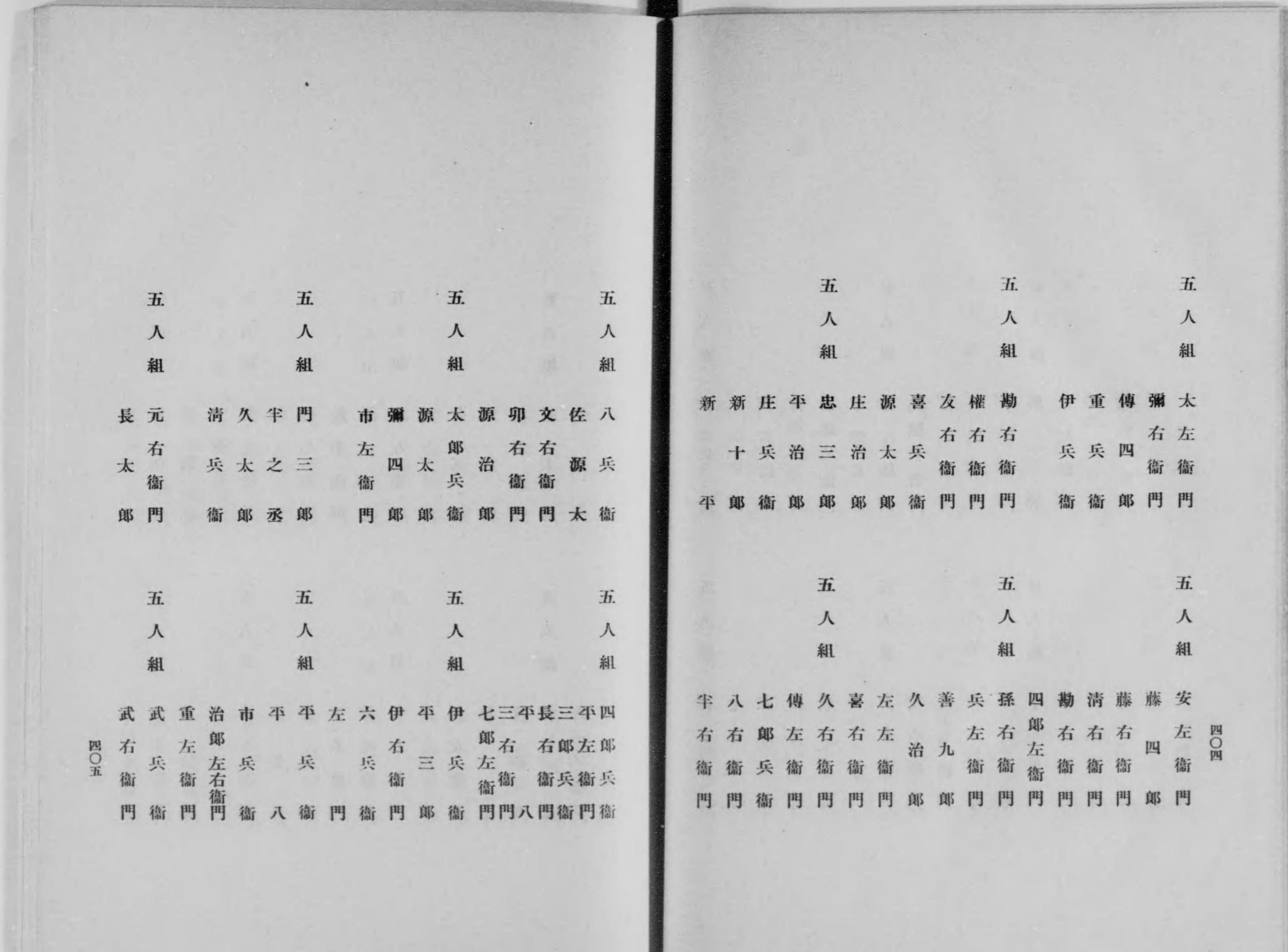
武右衛門

四〇五

長太郎

武右衛門

四〇五



| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 喜四郎 | 新四郎 | 權四郎 | 三郎兵衛 | 源左衛門 | 清兵衛 | 仲右衛門 | 佐右衛門 | 平七 | 新左衛門 | 市三郎 | 金三郎 | 由兵衛 | 治郎兵衛 | 源太郎 | 金兵衛 | 甚兵衛 |
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 |

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|------|-------|-------|-------|------|-------|
| 門三郎 | 嘉兵衛 | 兵左衛門 | 五左衛門 | 久三郎 | 太兵衛 | 茂右衛門 | 平兵衛 | 市左衛門 | 惣左衛門 | 七兵衛 | 平左衛門 | 安左衛門 | 五郎右衛門 | 左五右衛門 | 長右衛門 | 七郎左衛門 |
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 |
| 喜右衛門 | 利右衛門 | 傳四郎 | 彦右衛門 | 惣吉 | 金左衛門 | 久右衛門 | 文左衛門 | 又右衛門 | 惣右衛門 | 才兵衛 | 彦左衛門 | 五郎左衛門 | 甚五右衛門 | 治左衛門 | 定右衛門 | |

五人組

彦右衛門 六兵衛 半五兵衛 甚五兵衛 源兵衛 仁兵衛 孫兵衛 定右衛門 與兵衛 太郎兵衛 平右衛門 八郎兵衛 武右衛門 庄右衛門 三治郎 權衛郎 藤五郎

五人組

吉兵衛 勘左衛門 作左衛門 門兵衛 七郎右衛門 新兵衛 半兵衛 久兵衛 勘右衛門 五郎兵衛 九右衛門 太左衛門 源兵衛 權兵衛 新左衛門 門左衛門

五人組

吉兵衛 淺右衛門 平左衛門 嘉左衛門 伊右衛門

五人組

新七郎 三右衛門 甚右衛門 半四郎 久右衛門 權左衛門 孫兵衛 藤左衛門 勘兵衛 長三郎 又八

五人組

宇兵衛 卯左衛門 平左衛門 左兵衛 又介 藤右衛門 甚右衛門 市郎右衛門 彌五兵衛 三郎左衛門 重右衛門

五人組

長兵衛 長右衛門 源四郎 六右衛門 奧右衛門

五人組

五人組

| | | |
|--------------|-------------------|----------------------------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 |
| 長左衛門 吉三郎 彦兵衛 | 平三郎 平吉郎 平五兵衛 佐五兵衛 | 權七 平七 庄三郎 門三郎 彌平次 武兵衛 五郎兵衛 |

| | | |
|-------------|-----------------------|--------------------------------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 |
| 彌七兵衛 彦兵衛 平藏 | 權十郎 安兵衛 新右衛門 長五郎 甚左衛門 | 定兵衛 五郎平 權四郎 與右衛門 六右衛門 源太郎 甚左衛門 |

| | | |
|--------------|------------------------------|------------------------------------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 |
| 善平治 市郎左衛門 小市 | 五郎左衛門 庄兵衛 七郎右衛門 市右衛門 覺左衛門 孫七 | 平十郎 作右衛門 甚三郎 仁兵衛 吉三郎 伊左衛門 金左衛門 長十郎 |

| | | |
|--------|---|---------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 |
| 清三郎 平六 | 五右衛門 左兵衛 久治郎 市三郎 孫右衛門 惣右衛門 次兵衛 善兵衛 山三郎 治郎兵衛 孫兵衛 重三郎 市左兵衛 久七 | 太郎兵衛 太七 |

| | |
|-------|-------|
| 長 | 彌 |
| 與左衛門 | 右衛門 |
| 權右衛門 | 三七郎 |
| 喜兵衛 | 久兵衛 |
| 奧右衛門 | 源兵衛 |
| 五郎右衛門 | 市三郎 |
| 卯右衛門 | 八右衛門 |
| 安兵衛 | 市郎左衛門 |
| 半右衛門 | 權四郎 |

五人組
 愛染院
 圓光院
 壽福寺
 高松寺
 泉藏寺
 養福寺
 成就寺

文政五年羽後國大町五人組御仕置帳

五人組御仕置之條々

一前々從 公儀被 仰出候御法度之趣彌以堅相守常々不相背様に村中大小之百姓並水吞下々迄急度可申付事

一切支丹宗門之儀累年雖改之少に而も不審成宗門之もの有之者早々可申出御褒美可被下之若隱置脇於令露顯は大組頭肝煎五人組迄御仕置之通可申付借家借地並寺社方山伏行人鉦たつき其外穢多之類迄も其所住居之ものは不殘宗門人別帳に書載入念可相改毎年六月中に帳面可指出之事附切支丹轉び之もの並類族有之分は別帳に記之可差出他村を縁組等にて右之族來るもの有之者早速可注進之事

一御年貢諸役等大切に可相守勿論毎年御免相究次第其村々百姓前付荒小札を以可相渡候諸浮役小物成村雜用等役所を元割帳面相渡候分組々村々大小之百姓前無高下入念割付帳面に記之端々まで疑敷不存様に少之儀も明細に仕得と爲讀聞爲寫取可置依怙最眞並私之割掛無之と申儀大組頭肝煎長人百姓相判いたし置追而出入等無之様可致置候御年貢皆濟之儀其年之模様に寄日限可申付候間日掛之通無相違米穀相納皆濟急度仕候様に兼而其心得可有之事

附御年貢皆濟以前他之借物返濟勿論米穀一切他に申し申間敷候且又諸勸進不可入之事

一 徒黨を結び一味同心仕候儀堅御停止候若誓紙を書神水を吞徒黨ケ間敷儀有之者早々可訴之御褒美可被下候尤仇をなさる様に可申付事

一 親に孝行を盡し下人は主に随夫婦中能兄弟睦敷友達は老たるを敬ひ物毎に頼母敷順路に可仕候村中勝孝行成もの有之は得と其様子を見届可申出不孝之者有之候は、再往加異見其上にも異見不用彌不孝候は、其段可申出事

一 農業随分精を出し可相勤抽候もの有之は可申出候亦是老て子もなく幼少にて親にはなれ或は後家に成或者長病杯いたし無據身上衰難立もの候は、一類共は不及申大組頭肝煎五人組心を合引立可申事

附何家職もなく相見候もの有之候は、致吟味可申出事

一 御年貢浮役納米之儀村中相吟味第一に仕潰跡與内米過分不掛様に可致事

附作物取入候節日暮前夜明候而人並に取入若暮に掛夜明前に取入候もの有之候は、不依何者に肝煎方々可相届事

一 御制札古く成文字見わ不申候歟亦是覆破候は、役所々可申出事

附人賣買御停止に候間堅可相守但奉公人年季之儀は拾ヶ年に可限事

一 捨子並捨牛馬御停止に候間堅可相守若捨子他所を捨置候は、村中として致生育出所聞届吟味之上可相返之候他所之捨牛馬亦是放れ牛馬當村に來り候は肝煎長人百姓能々致詮儀持主知れ候者其村之肝煎に本主より手形取之相返其旨可注進之惣而生類を憐不實不仁成儀一切仕間敷事

附牛馬賣買之儀證人を立肝煎五人組に相斷賣買可仕候且又馬之筋を延候儀御停止に候並作場

わ猥に牛馬はなし申間敷事

一 五人組之儀町場者家並在郷は向寄次第家五軒宛可組合無高百姓借家借地之もの並水吞等に至るまで五人組合に入べし組はづれ申もの不可差置但し寺社者格別たるべし常々五人組仲ヶ間無油斷子供下人まで御法度之趣堅申付其上徒もの有之は大組頭肝煎申付をも不用もの有之候は、可訴之若大組頭肝煎非儀有之者不依何事可申出事

附五人組帳宗門帳に押候印判之別之印判不可調置候若子細候而印判替候歟又者紛失仕候は、ば大組頭肝煎長人百姓は役所々相斷印鑑可指出之小百姓者肝煎方々印鑑可指出惣而印判大切成ものに候間猥に印形爲致間敷候並名を替候共早速肝煎五人組に相斷可申事

一 御林御立山之竹木枝葉下草等まで公用之外伐採間敷候精を出し御林仕立可申候里漆山漆は勿論楮桑植付可申事

附御預山地續林並居屋敷青木者勿論目立候竹木伐採候は、書付役所々差出可得差圖且又堤に有之草葭等までみたりに苅取申間敷事

一 田畑屋敷並山林等永代に賣買御停止に候間堅可相守若質物等に入候は、年季を限質物證文之表に肝煎長人百姓五人組加判可取之右之者其私用を構加判不致候は、可申出勿論質物田畑金主方々爲作候而御年貢者地主方出候儀決而仕間敷候年季賣之儀大庄屋元々申出可請差圖其節反畝水帳面致吟味田元々役人罷出末々迄違亂無之様に可致候勿論人々勝手に付場所取替候儀決而いたし間敷候並田畑一作賣或は小作前米取申間敷候若無據子細之儀におひては役所々可申出事

附肝煎田畑質物に入候は、相肝煎長人百姓加判可取之相肝煎無之候は、長人百姓五人組加判可取之事

一前々被 仰出候通願不申立質貸いたし候儀御停止に候申立候質屋たりとも出所不知怪敷質物者不及申惣而請人無之質物不可取之縦預りのものたりと言ふ共不審成もの決而預申間敷事

附盗物見出し其届於有之は早速肝煎長人百姓五人組立合可埒明如何様之もの申來候共疎略に仕間敷事

一博奕賭之諸勝負同宿堅御制禁たり若隠候而博奕仕後日に相知申候者本人者不及申一座之ものまて可爲同罪事

附外寄合又者商に事寄博奕に似たる儀も一切仕間敷事

一御朱印者勿論御黒印並駄賃傳馬之儀常々吟味致置晝夜不指間様に可致泊り休之儀不限何時旅籠に而も木錢に而も無沙汰不住宿貸可申候且又先々より人馬觸來候は、刻限を不違可出之助人足寄候は、宿々問屋年寄いたし吟味其宿々馬をかこひ面々勝手能荷物付候儀一切爲致間敷候若寄人馬之内人馬割難心得事候とも先無滞出之後日に可申出事

附御朱印並御證文無之者人足爲出駄賃錢不出通候者有之は押置大庄屋大組頭肝煎立合詮儀之上彌怪敷體之者に候は、可注進之事

一湊々浦々に而御高札之趣可相守御城米船難風之節者助船を出し隨分精を出圍べし若破船有之は猥成儀不可致早々可注進之諸廻船之儀右に順猥成儀不可致事

附浦々並川行に而流寄候品有之候は、船具は勿論家流等に至迄早速可注進之事

一貳百石積以上之海船合候は、役所に可相斷事

一武家奉公人並往還之輩に對し無禮仕間敷候勿論刀をさし候者に口付なき馬乗打いたし間敷事

一往還之輩俄に煩出候は、所之醫師に見せ藥用能々致看病可相通候並酒醉等道路に臥居候もの有之候は、令介抱行歩難叶ものは其者之在所聞届迎を呼手形を取可相渡旅人に而若相果候は、番人附置彼者所持之雜物等肝煎長人百姓五人組等立合相改帳面に記之肝煎方に預り早速注進いたし可請差圖山林堂宮其外何れの處にて成とも自害人倒者又者溺死之者可爲同前雪中難風之節者助人足助船可出之事

附病氣にも無之もの貳夜と宿仕間敷候若押而宿借申もの候は、肝煎長人百姓五人組立合旅人之意趣を聞届怪敷ものに候は、可注進之事

一盜賊惡黨之者有之節者鳴を立隣郷村々々出合搦取可注進之即刻不出合者之儀可爲曲事且又堂宮山林に隱忍胡亂成もの有之は肝煎村中之者相談之上搦捕候而可申出捕候儀不罷成立退候は、何方迄も追懸落着之所に急度可斷之見逃に仕後日相知候は、曲事に可申付事

附有來候出家社人神主山伏行人虛無僧替女産頭神子鉦たつき乞食等其外穢多之類迄も致吟味胡亂成者に一夜の宿も貸申間敷旨常々堅可申付置事

一御料之者御私領に罷越致惡事其御料に立歸居候儀相知候而も此方々其所へ捕手之者杯指遣不申役所に申出可請差圖且又致惡事候其場所に而早速召捕候は、是又役所へ申出可受差圖事

附不限御料他領之者に而も可爲右同前事

一獵師運上鐵炮又者威鐵炮渡置候外鐵炮不可隱置事

附獵師之外殺生不可致獵師之者鶴打候は、早速可申出事

一往還之輩亦者當村之者喧嘩口論出來候は、早速肝煎長人百姓出合可改手負死人等有之候は、其相手隣郷之者迄打合候而押置可注進之若捕候儀難叶候は、跡を慕ひ落着之所に急度可申届事

附他所より來候手負之儀出所聞届押置可注進之事

一新地之寺社者不及申縦古跡たりとも建立之儀堅可爲停止庚申塚石地藏石塔之類迄も田畑野山林道路之端新規に一切立間敷候並有來候寺社住持社人等替り候は、支配頭を可爲注進將又新規之出家社人陰陽師座頭道心之族差置間敷候若無據筋於有之者役所より申出可請差圖事

附新規之祭禮等不可取立佛神開帳並他國に當分相移開帳仕儀有之は前方可注進之他國に神樂を送來候とも不可受取村中に暫も不可差置事

一町在々共に前々々帳面に書上來候酒屋之外新酒屋御停止之事

附郷方惣商人之儀は先年相改焼印札相渡置候人數之外無用に候若焼印札無之もの商賣仕候は、役所へ可申出事

一田畑永荒之場所起返り並新開之田畑有之候は、早速可申出隱置脇を於訴之は本人は不及申肝煎長人百姓五人組迄可爲曲事且又假初之池堀に而も無斷或は堀埋申間敷候

附毎度不及相觸其村受取之道橋等惡き處有之は早速繕ひ可申候往還之海道並耕作之道を切せはめ申間敷候次に新道無斷して付申間敷事

一入相之野山並面々持山に而も草木之根剪採申間敷候鶴のはしを入候儀可爲停止御林近所者勿論惣而無懈怠野火除可致候田畑の山崩無之様に山林苗木植立可申事

附山中に而焼畑仕來候處は格別其外野火付候儀可爲停止若焼畑之火もれ御林森等焼入可申様成節は早速近郷より打寄相防可申事

一海道脇田畑痛申間敷候稻は不及申作物馬に喰せ不申候様に可仕候馬を引通候は、馬之口をとり附添可申事

一田畑屋敷山野獵場之境並用水掛引に付私之爭論不可致水論並論所の刀脇さし鍵長刀等不可持出不依何事荷擔之もの於有之は其科本人より可重事

附溜池井溝我儘に水引申間敷候水落候は、不叶時分は依其場所仕來之通役所へ相届或は水下役人大堰守立合相談之上水落し跡を丈夫に築立申事

一堤川除伏樋掛樋惣而用水の場所入念就中洪水之時分晝夜番を付置危所有之は鳴を立村中出合可圍之常々肝煎其外懸之役人見廻り小破之時修覆いたし田畑損毛無之様に可仕事

附堤川除從 上被下候人足扶持當座割いたし銘々判形肝煎方へ可取置候惣而百姓の仲ヶ間次合勘定仕間敷事

一公用之儀亦は申合事有之百姓寄合之節村入用之酒肴一切給申間敷候惣而少之儀も費無之様に可仕事

附役人百姓共に賄一切給不申近郷者日々宅を罷出持參飯給可申候賄給不申不叶儀は別段に可仕事

申付事

一年中村入用懸り物之儀肝煎長人百姓遂詮儀入念候て入用多く無之様に可致候入用之度々入念委細帳面に記し置可申候肝煎長人百姓立合相改め於割賦惣百姓印形可致置候右入用之帳令吟味候間帳面貳冊宛相認置壹冊は年々役所へ可差出壹冊は肝煎手前に指置紛失無之様に可致候此外に帳面を仕立無用之儀割掛候儀仕間敷候

附肝煎方々入用銀觸來候とも帳面に不相立割合之儀一錢も不可出之理不盡に出し候様申候はば其段可申出若又可出入用等令難溢者有之者急度可申付事

一他所に參二夜と泊可申候は、前方肝煎長人百姓五人組に可相斷若他國に奉公に出候歟又は用に罷越候は、其子細肝煎長人百姓五人組に書付を以可相斷願公事訴訟等に出候共肝煎長人百姓五人組に可相届勿論大組頭肝煎他國に罷出候は、役所へ可相斷事

一先祖が持來候田畑子孫に爲分取候儀不可致若不得止事分取候は、壹人前高五石の内不可分之年季賣之通大庄屋元と相届反畝水帳田面共に役人相改可申候小高百姓惣領者人の可讓之跡式之儀存生之内肝煎長人百姓五人組加判爲致置可申事

一勸進能操相撲歌舞妓其外爲見物類一切爲仕間敷候若御料御私領入組之所又者論所等之地に而仕候は、不始以前に早々可注進之且又遊女堅不可指置事

附狂言を學び或は淨瑠理三味線俳諧等不相應之日暮不可致惣而遊興ヶ間敷儀於有之者急度可申付事

申付事

一百姓に不似合風俗をいたし長脇指を指其上耕作商賣不仕大酒醉狂惡所狂等仕行跡不宜もの有之者其趣可申出且又新規に當村の百姓に有者度と願者有之候は、出跡に開届彌慥成者に而構無之候は、惣百姓相談之上受人を究宗門も相改令注進可請差圖並當村出生之者に而も他國行年數歴歸り候は、可爲右同前事

附當村之内或は立退或逐電又は身帶潰し候而住居難成もの有之者可注進之並他村に而子細有之立退き來るもの有之は諸親類たりと云ふ共一切不可差置事

一人請之儀猥に立申間敷候然共近親類又者出所能慥なるものに候は、肝煎長人百姓五人組に相斷請に立可申事

一店借借地並牢人等行衛不知もの一切指置申間敷候且又前々々住居之牢人有之は書付可差出之事

一水帳之内手前之高反別寫取申度と申百姓候は、望次第肝煎方に而爲寫取可申事

一御用之儀に付村繼之觸狀不限晝夜早速送届可申候若遅々に仕候は、可爲越度事

一人改御番所有之村者郷中申合大切に相守可申候手負並女比丘尼其外怪敷もの見當候は、相改可申事

一火之元別而入念大切に仕當村中申合番所を立番人を可差置候且又郷藏御年貢有之内者村中之者代り、郷藏番仕惣而風烈敷節入念肝煎長人百姓相互に可見廻常々用心大切に仕自然火事有之節者鳴を立當村之者不及申隣郷之者迄早速火消道具を持掛着精を出し可消之尤郷藏第一に可圍之若燒失來有之節者組中として可爲辨納又者盜賊等に而損毛之分はむら中として可爲辨納事

附住宅者勿論小屋等にいたるまで火事有之は可注進之事

一 百姓前々取集候御年貢米金銀納手代肝煎留帳に書記之納主之名判可取置右留帳に印判押切いたし小百姓に至るまで渡置後日出入無之様可致事

附納米之節手代肝煎升取立合粗糠小米糶くたけ等無之様俵拵入念可納之中札村名納主手代之名書付可入之事

一 郷藏御收納米初秋之内雨漏り等無之様修葺致置可申候若朽米鼠切てんかけふけ米臺付等損俵於有之は百姓可爲辨納事郷藏に御年貢米其外穀物納候節納方手代見届濟候は、郷藏戸前肝煎長人百姓立合相封いたし置相互に可遂吟味候若疑敷儀有之者早速可申出事

一 御年貢米收納無之以前米大豆其外穀物取散し又は私用に遣ひ皆濟不成百姓有之者其もの御年貢並諸役銀迄村中辨納可申付條前方相互に仲間遂吟味放埒成もの於有之者可申出事

一 御年貢川下之儀圍俵は格別其外之分者上乘之もの於郷中に遂吟味可遣之船中雜用並御藏納逗留中諸入用委細帳面に記之入用多不掛様に可仕事

一 百姓衣服之儀男女共布木綿を着すべし襟袖口帶等にも絹類不可用雨具みのかさを可着之事
一 大組頭雨具は丸袖木綿合羽勝手次第着用不苦事

附ゑり装束にも木綿之外可爲無用事

一 兼入聲取萬祝儀並佛事分限より輕可仕候大勢集り大酒不可吞勿論料理がましき儀一切仕間敷候次に葬禮之儀諸事不相應成儀仕間敷候若相背輩有之者可申出候急度可申付事

附目立候普請惣而奢ヶ間敷儀堅仕間鋪候但驛場之家作者可爲格別事

一 惣而家業無精成者耕作荒作に仕候もの有之は急度曲事に可申付候若幼少にて親におくれ或は老人或は獨身之百姓耕作成兼候は、親類縁者は不及申五人組村中として相互助合御年貢令收納候様可仕候惣而村役相勤候者は正直を專にし私欲並依怙最負不仕慈悲心にして暮之百姓に心を附身上不成者を惠み不依何事に公事出入有之者五人組長人百姓肝煎大組頭立合双方之意趣を聞届不撰親疎理非を能々分別いたし毛頭依怙最負不仕諸事無事成様に取扱可相濟無謂公事工み候者有之は可申出晝夜上を重し御法度不相背様に惣百姓常々行跡宜様に大庄屋を始以下之役人心付可申事

一 休日之儀正月元日か七日迄同十六日か廿日迄日數十二日七月は十四日か廿日迄日數七日相休可申事

附正月七月右休日之外平月四日之休日相休申間敷候勿論右兩月間有之節は平月之通四日之日數斗相休可申事

一月々休日之儀正月七月之外朔日八日十五日廿三日一ヶ月に四日宛相休可申事

附右定休日之外三月三日五月五日七月七日九月九月相休可申候且又六月朔日八月朔日者四日の休日之内に込可申候

一年中糞作り手間二日鎮守縁日一日田植休一日田うへ後虫送一日都合五日相休可申事
一 働日之内煙草休一日に四度宛爲致可申事

附惣而相定候休日之外自分に相休候儀爲致申間敷候大小之百姓水吞並子弟召仕之者迄相背不

申候様に嚴敷可申付若相背候もの有之其分に致置脇を相知候は、當人は勿論肝煎長人百姓五人組迄可無越度事

一 郷方掛役人並召仕等迄輕品成とも音物禮物一切仕間敷候押賣押買不依何事無作法致候は、早速有體に可申出隠置後日相知候は、大組頭肝煎長人百姓可爲越度事

一 諸役人郷中相廻候節賄代之儀前々相定候通外に相増申間敷候惣而有合之野菜を以一汁一菜無酒に而賄可申候無益之品調置村入用割掛候は、村役人可爲越度候並無用人馬集置百姓之賒費し申間敷事

一 前々申付候通村方へ諸勸進之のみだりに徘徊爲致申間敷事

一 郷方に而廻國六部其外托鉢體之もの等御百姓之内宿致置日々勸進相廻候趣相聞候右體之宿いたし候儀堅停止申付候尤宿場之村々は往來旅人之事故一宿は爲致可申候若通路難成程之不天氣に而先々の難參亦者病氣等之もの有之日數滯留候とも格別之儀に候其節者村役人方へ其譯相届可申事

一 年々罷越候藥賣等定宿有之御町郷方共に支配方役人共迄相届當分差置候儀は格別旅籠屋或は郷方へ參掛候藥商候者は不爲致逗留早速送出可申候但通行之賣藥之もの有ば格別之事

一 町在々之もの薦僧に相成本則を取いたし勸進候由前々相聞候勿論町人百姓右體之儀堅停止に申付候若無據儀にて薦僧に相成候は、何儀を以薦僧に相成候と願可申出候願之上其仕儀により可申付候是之通願無慮無僧に相成候もの於有之は急度答可申付事

但只今本則所持之者は此末慮無僧に相成勸進いたし度候は、右之趣を以可願出候其上に而可及沙汰事

一 他所薦僧は是迄之通たるべし乍去ねたり等申もの於有之者其處え留置御町郷方共に支配方役人又は御足輕目附等可申出事

一 諸牢人と號町在袖乞等いたし候者右他所薦僧に準可申事

一 是迄町在之もの共江戸に罷登渡り奉公いたし居間行倒候者多く御名をも出上之御苦勞にも相成古來は他所奉公御停止之事に候處いつの頃よりゆるみ候哉近來渡り居候もの多相聞候第一は御國許農人並奉公人出人等も自不足に可相成候爰元御家中又者町方等に奉公いたし夫々身寄之もの有之如何様にも暮方可相成處畢竟渡り奉公心かけ罷登多是歳若候血氣に而終には路次に迷ひ候體に至り誠に不便之事に候且首尾よく渡り奉公相勤數年之後歸り參いたし候而も風俗氣儀共に江戸風に相成村所之若きものも自然と其風俗移り可申不宜事に候依之已來者古來之通渡り奉公致候儀停止可申付乍去定府御家中に數年奉公いたし候儀は不苦候

掟

一 百姓衣類布木綿着用たるへき事

一 職分精を入可申事

一 食物は朝夕糧を食すべき事

- 一 御觸之趣相背間違無之様可仕事
- 一 居所は雨風凌ぐが爲のもの也

右五ヶ條之趣相背間敷候爲心得書おくるもの也

右之條々堅可相守若違背之輩於有之者可爲曲事此帳面毎年正月七月一ヶ年貳度宛村中大小之百姓水吞等迄寄合得と爲讀聞常々此趣致合點罷在様に被仰出候間入念可被申付候以上
 文政五年午之正月中書之
 井上仁八郎主

文政六年攝州川邊郡万善村御仕置五人組帳

條々

- 一 前々從 公儀被 仰出候御法度書之趣彌以相守御制禁之儀不相背様村中大小百姓下々迄可申付事
- 一 五人組之儀町場は家並在郷は最寄次第に家五軒宛組合子供並下人店借かり地の者に至迄惡事不仕様に組中常々無油斷可令詮議若いたづら者有之庄屋年寄申付をも不用候はゞ可訴出事

一切支丹轉之者並類族有之分は別帳に記之可指出之候若他所より縁組等に而當村へ右之族來候はば早速可注進事

一 毎年宗門御改帳三月迄の内に可差出候若御法度の宗門の者有之は早速可申出候切死丹宗門の儀御高札の旨可相守候宗門帳の通人別に入念可相改宗門帳相濟候而後召抱候下人等は寺請狀別紙に可取置事

✓ 一 父母に孝行をつくし兄弟とむつましく可仕候勝て孝行成者或は飢人拯救候類之者並正路實體のもの有之は可訴出若不幸不義之輩有之は是又可訴出事

✓ 一 惣而家業を第一に可相勤百姓に不似合遊藝を好み或は惡心を以公事敷寄をいたし非公事をすゝめ偽りを工み人の害を成す輩あらば不隱置可申出不依何事に誓紙をなし徒黨ヶ間敷儀不可仕事一 諸作第一に能き種子を撰候而蒔付耕作可入念荒し作之様にいたし候もの有之は可令詮議獨身の百姓永煩又は幼少に而親に離れ耕作仕付難成者在之は庄屋年寄立會村中に而助合田畑不荒様可仕事

附り地所不相應田畑他に替り劣り耕作に無精成者有之は吟味之上檢見之節引方相立申間敷事一 常々人の妨をなし喧嘩口論を好み夜あるき仕耕作不精に而渡世營おろそかに而庄屋年寄五人組の異見をも承引不仕者有之は可申出右不届之者隠し置脇より相聞候はゞ庄屋年寄五人組迄可爲越度事

一 田畑屋敷山林永代賣買御停止に候若買物に入候はゞ十ヶ年を限證文に庄屋年寄五人組等加判爲

致田畑を質に取候者に作らせ候而御年貢諸役地主より勤候者勿論切地坏に致候儀仕間敷候事

附り田畑質物に書入候證文に庄屋加判無之候得ば不取上地主庄屋に候は、相庄屋か年寄に加判爲致可申候右之通無之及出入候共不取上事

一御朱印地之寺社領除地什物等一切質に取不可申事

一衣類諸道具又は門橋等のはづし鐵物の類出所不知物一切買取間敷候右の品々質に取亦は預り不可置出所知候物に而も請人無之候は、質に取間鋪事

一庄屋は正直を專にして私欲を不仕慈悲の心有之て普く小百姓に心を付身上不成者を致介抱不依何事に村中公事出入有之時は庄屋年寄立會双方之意趣を承り届け親疎好悪を不撰理非をよくよく致分別毛頭無依估量取扱可相濟勿論滯義有之ば可訴事

附り荷擔の者有之ば可爲曲事若庄屋年寄不義有之ば急度可申付事

一盜賊惡黨人有之ば訴人可仕候褒美可被下之尤あだを成ざる様に可申付事

一百姓衣類の儀結構成者不可着名主は妻子共に布締細木綿可着之平百姓は布木綿の外は不可着之綸子紗綾縮緬の類は襟帶等にも致間敷候然共身體宜き者は役所迄斷を立指圖を請締細可着事

附り男女共乗物に不可乗惣而家作り等目立候普請奢ヶ間敷義仕間敷事

一聳取取養子の祝儀奢ヶ間敷義無之様にいたし惣而諸祝儀分限に應じ内證に而軽く祝可仕候並葬禮の野酒一切停止之事

一捨子堅不可仕若他所の者捨置候は、村中に而致養育早速可注進事

一一生類憐之儀心懸ヶ不實無之様に可仕候不仁之儀一切不可致事

一獵師の外爲遊興鳥獸不可取縱令雖爲獵師鶴白鳥取候儀は勿論商賣致候者有之は可訴事

一馬のすじをのべ候儀御停止に候牛馬賣買候者出所聞届け請人取五人組へ相斷可賣買不慥牛馬不可買取事

一新地の寺社建立の義堅可停止惣而はこら念佛題目の石塔供養塚庚申塚石地藏の類田畑野山麓又は道路の端に一切立間鋪佛事祭禮等軽く可執行新規の祭禮不可取立事

一寺社の儀住持社人替り候は、可注進事

附り寺社の修覆致候は、役所へ相斷差圖を請可申事

一神佛致開帳候は、可注進當村の神佛他國へ當分相遷開帳仕候儀有之は前方可注進又は他所より神輿送り候様成義有之は不可請取之村中に少の間も指置申間敷事

一當村に有之出家社人山伏行人道心者店借の者並非人等其外穢多の類迄常々致吟味胡亂成者住居致せ間敷候庄屋年寄へ不相達候而他所より來候者一夜の宿も不仕様に村中大小百姓水吞等迄常當堅可申付事

一村内の者或は逐電或は身上潰候而住居難成者有之は可注進又は他村を子細有之而立退來候者雖爲親類無斷村内に一切不可差置事

一他所の者當村に致住居度旨願出候は、其者の出所家職の様子聞届け出所へ斷慥成請人手形取之相改役所へ遂注進候而可指置店借かり地等の者置候共右同斷に可相心得事

一百姓田畑子孫へ分け遣候儀高拾石より内に候は、分中間敷候若無據子細有之は申出べし惣而新規に百姓在付候は、可注進跡式の儀存生の内に庄屋年寄並親類立合書付置後日に出入無之様に可心懸事

附り跡目無之者不慮に死失候は、所持の品々庄屋年寄其者の親類立會相改可訴出事

一田畑屋敷山林境論無之様に常々庄屋年寄吟味仕可置事

一前方帳面に在來酒屋の外新規の酒屋不可仕事

一當村の内能操勸進相撲又は狂言芝居其外見せ物類致させ中間敷私領に而も分郷に而も村隣の境目紛敷地に而致候は、芝居不始以前早々可注進事

一惣而遊女野郎かげまの類一切不可置候一夜の宿も致間敷事

一不知行衛者に一夜の宿も不可借旅人其外何者に而も堂宮山林道路に死人有之は其者の雜物等改庄屋年寄立會様子委細書付候而可注進若堂宮山林等に隠忍胡亂成者あらば令詮議品により搦捕可訴出其外手負又は不審成者他所より來候は、出所を尋付届ヶ致役所へ注進の上可請指圖事

一往來の輩若煩候は、早速醫師に見せ随分致養生能々いたはり食物等入念あたゑ看病仕置可注進候若行歩不叶先へ參候義成難候は、其者の在所を承届け迎を呼手形取相渡し可申候若病死致候は、其者の道具等改庄屋年寄立會申候而封印いたし置可請差圖事

一殺害人或は致自害候者或は倒者有之は番人を付置早速可注進火事盗人並喧嘩口論手負の者惣而不慮成儀出來候は、右同前に無油斷可注進事

一欠込者有之節追手の者したひ來り其届有之は早速村中走集り随分取逃し不申様いたし置可注進事

一村中に喧嘩口論有之は庄屋年寄立會可裁判他村に而喧嘩等有之節走集べからず人を殺し立退候者在之は早速搦捕可注進搦捕候義難成候は、跡をしたひ落着所へ急度申届可訴出事

一武家諸士に對し慮外仕間敷事

一田畑荒し置べからず永荒場起返り切添又は新地田畑在之は早速可申出隱置脇より訴候は、庄屋年寄可爲越度事

附り永引に成候場所は村中助合候而も立歸り候様可仕若村中の者自力に而難起返場所は可申

出吟味の上指圖可申付並本田に多葉粉作り候義停止之事

一堀を埋又は道をせばめ秣場林際を切添田畑仕出べからず前々より無之所へ道を付申間敷候道を替新堀不致候而不叶所有之は可請指圖事

一用水の掛引先規の例を以常々申合置爭論無之様可仕水論境論等の場へ刀脇差弓鑓長刀等持出令荷擔者在之は其科本人より重かるべき事

一御傳馬宿へ定助郷大助郷より人馬寄候は、問屋年寄致吟味猥りに人馬觸仕間敷候其宿の馬を圍置勝手能荷物を附候義一切不可仕御朱印は勿論駄賃傳馬人足の外常々無滯様可仕若囚人通り候は、無油斷人馬を出し大切に可仕事

附り助郷人馬觸來候は、刻限不違可出之若人馬割難心得候共先無滯出之後日に可申出事

- 一 渡船在之村は定の通船賃取之往來の輩晝夜無遲滯可渡之雖爲大水の時定の外船賃多取間敷事
- 附り往來の旅人へ對し不法成儀仕間敷事
- 一 御用人馬は不及申に本海道に而無之候共往來の者の駄賃馬人足の儀晝夜不限無滯可出之事
- 一 御朱印又は御證文も無之人馬を出し候様にと申或は駄賃をも不出通り候者在之は品により押置庄屋年寄立會詮儀の上怪敷體に候は、可注進事
- 一 村中申合番屋を作り番人を付置家別に銘々火消道具を拵置火の用心随分入念風烈敷時分は不限晝夜町並は町中村方は村中庄屋年寄も相廻り自身番を仕出火無之様可仕若出火有之は鳴を立村中の者走集り精出し消し勿論御年貢米入置候郷藏大切に圍可申事
- 附り毎度灰小屋より出火いたし候間灰小屋へ灰を入候時は水にてしめし入念小家へ入可申事
- 一 堤川除不切様に常々心懸け洪水の節は村中の者出合随分可圍之大造成道橋損亡に可成所は小破の時可修覆及大破に實々自普請に難成所は可訴出途吟味御入用にて可申付請取場常々無油斷道橋作り可申事
- 一 樋戸前道具並鐵物川除梓杭^{ランケンガラ}等の類盜取候族有之候間常々心懸け見廻り不盜取様に可仕事
- 一 満水の時堤川除圍候節亦是盜人狼藉者並火事有之聲を立候節村中の者十五已上六十以下の男は不殘可出若其場へ不出合者あらは庄屋年寄可詮儀事
- 一 鐵炮の儀斷相立所持仕候獵師筒又は貸渡し候威し鐵炮の外所持不可仕縱令親子兄弟たりとも貸渡し仕間敷候持主相果候は、其段訴出可請差圖事

附り他村より引越候者鐵炮所持仕候か又は村内に所持仕候者在之は早速可注進隱置後日に相知候は、當人は不及申庄屋年寄五人組迄曲事に可申付候勿論鐵炮賣買の義萬一他所より持參候共一切差加り申間敷事

- 一 御林御立山の儀竹木は勿論枝葉下草等迄公用の外伐採間敷候縱百姓持林並屋舖四壁の木に而も目に立候木は不可伐採子細有之伐採候は、訴出可請差圖候尤伐採候は、苗木植置可申事
- 附堤圍に植置候竹木猥りに伐採間敷事
- 一 入會の野山面々の持山に而も草木の根を堀取間敷候鶴の替を入候儀可爲停止田畑へ山崩砂入等無之様に山林苗木を植置立可申勿論山崩の所は土砂留致置可申事
- 附り山中に而焼畑致來候所は格別野山へ火付候義可爲停止兼而童部下々迄此旨堅可申付置若野山へ火入候は、早速村中走集り火消可申事
- 一 博奕惣而賭の諸勝負三笠附の類或は百姓講と名付或は商内に事寄博奕に似たる儀何事によらず一切不可仕之若違背輩有之か右の宿等致候者あらは早速可訴之事
- 一 百姓に不似合風俗長脇差を帶し喧嘩口論を好み或は大酒致醉狂行跡惡敷者有之は可訴事
- 一 惣而御代官所の百姓公事訴訟等何事によらず江戸は勿論諸向役所へ不相伺候而猥りに罷出間敷候用事の趣庄屋年寄途吟味書付を以役所へ可申出事
- 一 他所へ出宿泊に罷在候程の儀は庄屋へ斷可罷出若他國へ奉公に出候敷又は用事候而罷越候は、其子細庄屋年寄五人組へ可相届尤庄屋年寄は右の趣早速可注進事

附り所生之者たりといふ其他所へ年久敷罷有候もの有之は其斷可申出事

一 御年貢米粗大豆金銀共年限に相納極月皆濟可致候若致未進欠落仕候百姓在之は其五人組庄屋年寄可辨納且庄屋年寄引負候義有之候は、百姓の内より早速可申出其通に致置候は、可爲越度事

附り御年貢金銀相納候度々金銀受取の通可遣之皆濟の節村々勘定目錄に可引替事

一 御年貢皆濟無之以前穀物他所へ不可出之三分一十分一在之場所右爲銀納米賣候は、先米納の分員數積納米程上米を拵置次の餘米を賣可申事

一 御年貢銀並小物成銀高日限相觸候は、日限無滯早速役所へ可致持參候若及運滯候は、吟味の上急度過怠可申付事

一 御年貢米の儀庄屋年寄立會青米糶シヤクダケモミカ碎糶糠等無之様に隨分致吟味升目不切様に俵入可入念事

一 俵拵の儀二重薦小口かゝり俵印摺繩に而堅繩横繩三所もしり目繩結船積の節一俵宛薦に而包三ヶ所繩結いたし俵不損様に可致中札紙に而何國何郡何村米何斗入年號月日書付庄屋年寄米主升取米見の名書記し致連判俵毎に可入念候外札は竹に而何年御納米我等御代官所何國何郡何村米主誰と可書記札裏に俵貫目可書記事

一 御城米何方の御藏納に成候共船上乘納庄屋慥成者村中遂吟味可遣之尤他所の者に爲請負渡切に仕間舖候御藏前に而欠米其外損米等有之は郷中として急度無不足様に相納可申候且亦御藏前入用並船中雜用等多く不入様に申付委細帳面に爲記入用可渡事

附り納庄屋上乘江戸京大阪逗留中物入多無之様可吟味事

一 御年貢金銀庄屋方へ取集候は、控帳致納候度々金銀の員數納主の名書付可爲致印形候庄屋方より金銀請取手形通帳にいたし渡し控帳に押切致印形可遣之其上其年の御年貢割の通銘々百姓より皆濟候は、惣百姓より御年貢の儀に付少も申分無之旨御年貢割の帳面の奥に惣連判取置後日に入無之様に可仕候若御年貢割納方の儀不埒に仕置百姓の連判も取置不申及出入候は、庄屋年寄の義急度曲事可申付事

一 御年貢米銀納所の節庄屋方より米主へ手形遣之庭帳に念入書付可致判形不念に而手形無之及出入後日に訴之候共取上問敷事

附郷藏雨漏り不申候様念入修覆可仕候尤御藏納候上晝夜番人を付置無油斷大切に相守庄屋年

寄見廻り可申候若火難水難盜人に逢候は、早速村中可致辨納候御米濡候歟或は下敷薄して御米不足米に成候は、村中弁納申付候上庄屋年寄可爲越度事

一 惣而從 公儀被下候人足扶持方等當座に銘々割渡し帳面に請取候趣書付させ印形可取置惣而繼合勘定不可致事

一 毎年御年貢免定相渡り候は、村中の者披見仕せ庄屋年寄方より村中大小百姓出作之者に至迄不殘相觸寄合候而致免割小物成米浮役臨時物共に可納米銀壹人前宛委細書付小百姓疑敷不存様に其譯爲申聞免立合披見仕候旨別紙書付銘々印形可取置郷藏の戸にも免割の寫致可張置御年貢割仕候節村中夫錢小六用を御年貢と入交一同に不致之差別を立可訴之算用違無之様に隨分入念御年貢の儀は不及申、外物共申渡候日限の通相納候様に常々村中可申合事

御用の儀又は村中中等の儀に付庄屋方へ百姓寄合の節村入用に掛之食物酒肴等一切給中間舗事

一我等家來手代並妻子召仕に至迄金銀米錢衣類諸道具酒肴其外輕き物に而も音信禮物一切仕間敷候右の者共若かし物借物等或は押賣押買何事によらず不作法の義いたし候は、不隱置有體其趣可申出隱置後日に相聞候は、庄屋年寄可爲越度事

一人賣買停止の儀は不及申に並男女奉公人年季の儀十ヶ年を限可申候譜代に召置候者可爲相對一ヶ年切召抱候共慥成證文可取置事

一我等手代村々へ相廻り候節何時に而も晝食は持せ候飯米鹽噌野菜等は其所に而相場直段に調候而當座に代物可請取之候泊休所に而御定の木錢出之上下共に百姓の馳走に不罷成村々費無之様に申付候條酒肴等此方より指圖無之物何に而も調置間敷候若調置此方に不用に付寄合飲食村入用に割懸け候は、庄屋年寄可爲曲事無指圖人馬集置百姓の隙を費申間敷事

一庄屋年寄御用に付役所へ罷出候雜用筆墨紙等惣而村入用の儀其村入用の譯惣百姓爲致得心割合帳印形取之尤銘々請取手形可出之惣百姓申分無之趣奥書仕庄屋年寄惣百姓不殘連判仕帳面貳冊仕立年々正月中役所へ差出壹冊は役所へ出置一冊は役所押切印形に而村方へ可相渡置候間右帳面の外別帳拵取立申間敷事

一五人組宗門帳に押候外別の印形拵置申間舗候若子細候而印形替り候は、庄屋年寄は役所へ相斷印鑑可差出平百姓は庄屋年寄へ可相斷名を改候は、早速五人組帳宗門帳にも改候名記べき事

附り御用向に出候節印形無失念可致持參事

一百姓帶刀堅停止の事

附り百姓子供を始諸親類の内他所へ奉公に出候者其後在所へ歸り候而も刀差申間敷候縱先主より合力など請候とも刀差申間敷候若庄屋年寄見ゆるし置候は、可爲曲事事

一御料所國々百姓共御取箇並夫食種子貸等其外願の儀に付強訴徒黨逃散候義は御停止に候處近來御料所の内にも右體の願筋に付御代官陣屋へ大勢相集り致訴訟候義も有之不届至極に候自今以後嚴舗吟味の上重可被行罪科事

一近年在方村々の者共耕作を等閑にいたし都而困窮等の義申立奉公稼に出候者多く所持の田畑を荒置候類有之由相聞不届の至に候以來村高人別割合何人迄は奉公に出候而も殘人數に而耕作は勿論村方の差支無之候哉否村役人共相糺實々無據子細に而奉公に出度旨相願候者有之候は、右割合の人數迄は村役人共承届け年季を限奉公に出候様可致候若村方の指支も不願奉公に出持田畑を荒候義等在之候は、當人は勿論村役人共可爲越度事

右之條々堅可相守此旨違背之輩有之は可爲曲事此帳毎年正月五月九月十一月一箇年に四度村中大小百姓寄會逸々讀聞此趣合點仕罷在候様入念可申付者也

文政六年未三月

石原清左衛門

前書御ヶ條之趣逐一奉拜見則庄屋方に寫置村中大小之百姓五人組限壹人も不殘御定之通爲讀聞可申若相背候者有之候は、如何様之曲事にも可被 仰付候爲其惣百姓連判仕差上申候以上

年號月日

攝州川邊郡万善村

四三八

組頭長兵衛○

市郎兵衛

梶兵衛

組頭三人

清藏

茂兵衛

四郎兵衛

茂右衛門

卯兵衛

組頭五人

又兵衛○

佐右衛門

彌太夫

組頭三人

甚右衛門

平右衛門

次兵衛

組頭四人

善藏

利兵衛

亦兵衛

組頭三人

清七

仁兵衛○

與兵衛

吉兵衛

茂七

太七

組頭五人

勘兵衛

伊右衛門

組頭三人

四三九

右之通相違無御座候以上

年 號 月 日

川邊郡万善村

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 庄 | 屋 | 又 | 兵 | 衛 |
| 年 | 寄 | 仁 | 兵 | 衛 |
| 百 | 姓 | 代 | 長 | 兵 |
| | | | 衛 | 衛 |

大津御役所

〔編者云本書は五人組連印帳の控なるを以て年々之を用ひ最後の連名の箇所は年々貼紙をなして其年の組合人名を記載せり〕

文政九年越後國頸城郡松野山郷五人組御仕置帳

本書は前掲の享和三年同村五人組御仕置帳と全く同一なるを以て今之を省略す。

文政九年五人組御仕置帳

條 々

- 一 従前々被 仰出候御法度之趣堅可守之若違背之輩於有之は曲事に可申付事
- 一切支丹宗門之儀毎年改之帳面に記寺判取之可差出若紛敷宗旨之者有之は早速可申出候脇より於

露顯は其村庄屋五人組曲事に可申付候之事

- 一 御高札古成者役所は斷可立替事

附宗門改之節用事に付致他行候は、前方相斷呼戻請判可取之事

- 一 似金銀遣候者在之は曲事に可申付若似金銀拵候者有之を不存隠置候は、後日相知候とも當人可爲同前事

一 従前々被 仰渡候通毒藥賣買之儀御制禁之條於相背者可爲重科事

一 人賣買御法度之儀堅可相守奉公人之儀十ヶ年に可限相對を以儘成請人取之可召抱事

一 牛馬賣買仕候は、跡々相改可求之不審成牛馬一切賣買仕間敷事

一 田畑永代賣買之儀一切仕間敷候若令違背者双方可爲曲事並田畑年季定質物預候は、庄屋組頭爲致加判證文取遣可申候十ヶ年限永年季に入申間敷候事

一 堤川除井堰以樋水門等普請之儀例年之格を以庄屋組頭致吟味帳面に記可差出惣而人足諸入用費無之様可仕事

一 用水之儀先規之通可引之旱魃之年たりとも定之外猥に不可引之他村入組之井堰及渴水ば不致諍論前可申出尤理不盡に堰切申間敷候水論境論之節刀脇指弓鎗を持出候事可爲無用若違背之者有之は詮議之上曲事に可申付事

附不依何事諍論之節加勢仕間敷候事

一 川筋之村々大水出候節庄屋罷出堰不切様可防之並井溝堀道を狭め田畑仕出申間敷候事

一御普請人足扶持方駄賃等其外從

御公儀被下置候品々當座に百姓の割渡證文取之可申候惣而繼合勘定仕間敷候之事

一御公儀御用之儀は不及申往來旅人人馬入用之節晝夜に不限無遲滯指出御定之通賃錢可請取之事

一新地寺社造立仕間敷候並新規祭禮市町取立申間敷候古來より有來之祭禮たりとも隨分輕く執行可申事

一御公儀御用懸物年中村入用割賦帳面に記判形取置重而出入無之様可致惣而費懸物割賦仕間敷候事

一父母に孝を盡夫婦睦く兄弟諸親類したしく朋友は老たるを敬ひ物每頼母敷正路に可相交老而子

幼少に而親に離れ或は夫に離れ長煩杯いたし無據身上衰へ難立もの之は一類共は不及申庄屋

五人組心を合せ力添可申事。

一前々より郷中に有來候水吞杯之類病片輪に成候者有之渡世難成候は、憐を加ひ相應之稼相務可申事

附子供兄弟無之候は、親類並庄屋立會相談之上由緒有之者跡式可相讓事

一幼少に而親に離れ當分百姓難勤もの有之は庄屋組頭共立合相談之上近親類養育可致田畑家財之

儀は親類並庄屋立會相談預主より證文取之致成人候節無相違相返百姓爲勤候様可仕事

一不依何事徒黨ヶ間敷儀一切仕間敷候若左様之企有之は早速可致注進事

一博奕並賭之諸勝負一切仕間敷候若他所之者集宿仕候者有之は當人不及申五人組迄急度曲事可申

付事

一郷中に遊女之類一切置間敷候自然奉公人又は音物に殊寄右之類差置候者在之は當人は勿論庄屋五人組迄曲事可申付事

一行衛不知者途中に而相果候は、死骸改之番を付置早速可致注進事

附村中に自滅之者在之候は、早速庄屋に爲相知役所可致注進事

一怪敷者一夜之宿も貸申間敷候往還之旅人たりとも庄屋五人組に相斷吟味之上宿貸可申候たとへ

親類に候共逗留いたし候は、可爲同前事

一遠國の順禮其外物詣可爲無用然共子細有之は役所訴可請差圖事

附村々公事出入者不及申何にても用事在之江戸に罷出候は、役所訴之添書を以可罷出若無

斷罷出候は、可爲越度事

一村中之百姓共庄屋組頭に無斷他所に逗留すべからざる事

一他所より來浪人村中に指置若無據由緒在之其身體成者に候は、役所に相達得下知可指置事

一人請之儀猥に立申間敷候近親類或は出生能存體成者に候は、庄屋五人組に相斷請に立可申候自

然人請之儀に付出入有之は庄屋五人組立會埒明可申候勿論親類たりとも構在之は一切圍申間敷

事

一喧嘩口論有之節其場に立會候者共取扱可鎮之外より猥に不可馳集早速役所可致注進事

附他所より來る手負之儀者不及申郷中怪我杯いたし疵付候者在之は當座に申出帳に付可申事

- 一 勸進能相撲歌舞妓其外河に而も芝居一切停止之事
- 一 質物取之可品に而も請人立合可申候請人無之質物取之候は、可爲曲事勿論出處不知質物何方より願候共取次申間敷事
- 一 謀書謀判之輩有之者可爲嚴科執筆可爲同前事
- 一 印形之儀自分に替申間敷候若替候は、庄屋役所に相違小百姓は庄屋に斷替可申事
- 一 衣類之儀者前々御條目通相守之分限不相應之衣類着用すべからざる事
- 一 聲取之儀は身體相應之者取組少も奢たる儀不致愆而軽くすべし家作之儀は猶以分限不相應成儀致間敷候祝言振舞家弘其外一代之内度々無之振舞に而も一汁三菜に不可過是より輕者可爲心次第不及亂酒事

附齋非時可爲同前事

- 一 常々心立惡敷或は人之妨をなし或は喧嘩口論其外夜歩いたし耕作も不精渡世之經營も不致庄屋組頭之異見も不致承引もの之はば可致注進事
- 一 前々より帳に付候酒屋之外新酒屋一切仕立申間敷候並酒造之儀前々より御觸之通可相守事
- 一 鐵炮之儀先年書上候帳面之外新筒所持仕間敷事
- 一 往還之旅人相煩候は、醫者を懸致養生若急に養生難成體に候は、在所に申遣爲引取可申候相果候は、役所に致注進可請差圖事
- 一 盜賊殺害人之事他所より申來候は、早速役所に致注進可遂吟味事

- 一 御年貢割付出候は、免割相違無之様入念納主に度々庄屋方より請取手形出之勿論帳面に記録々印形取置可申候常々不吟味に而手形無之出入後日申出間敷事
- 一 檢見其外御用に付郷村に相廻候節飯米鹽味噌野菜薪等調候は、所相場に賣上可申事
- 一 五人組之儀町は家並在々は向寄次第に地借店借まで五軒宛組合子供下々に至迄諸事惡事出來候は、詮儀之上組中越度可申付事
- 一 役所より申渡候御用書帳面入念無遲滯可差出事
- 一 御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願之筋之儀に付強訴徒黨逃散候儀は堅停止に候處近來御料所之内に而も右體之筋に付
- 一 御代官陣屋の大勢相集訴訟致候儀も有之不届至極に付自今以後嚴敷吟味之上罪科可被行條先達而板に書付相渡置候御書付之趣百姓平日可相守事
- 一 右被 仰出候四拾六ヶ條之趣村々に寫置百姓水吞等迄度々爲讀聞堅相守違背仕間敷候爲其連印帳面奉差上候以上

文政十年武州荏原郡鴉ノ木村五人組前書

〔東京府荏原郡調布村鴉ノ木天明和助氏舊藏本〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」に比するに全く同一なり故に今

之を省略す

文政十二年下總國印旛郡鹿黒村五人組合並持高改牒

本書の五人組前書は前掲の寛政十二年同村「五人組合並持高御改帳」のものと全く同一なるを以て今之を省略し其末尾に附したる持高改帳のみを左に掲載す

印旛郡鹿黒村

- 一高三拾四石三斗六升
 - 一高八石九斗七升四合
 - 一高六石八升三合
 - 一高六石五斗貳升四合
 - 一高拾三石九斗三升五合
 - 一高三石四斗九升三合
 - 一高壹石三升九合
 - 一高無田
 - 一高六石三斗貳升八合
 - 一高五石壹斗七升四合
- | | | |
|-----|--------|--------|
| 名 | 主 | 八右衛門印 |
| 組 | 頭 | 權右衛門印 |
| 同 | | 平左衛門印 |
| 百姓代 | 彦右衛門印 | 勝右衛門印 |
| 五人組 | 六左衛門印 | 源左衛門印 |
| | 八郎右衛門印 | 五郎右衛門印 |
| 五人組 | | 八右衛門印 |

- 一高三石三斗四升六合
 - 一高五石四斗四升六合
 - 一高壹石八斗貳升七合
 - 一高壹石三斗九升三合
 - 一高九石九斗四升
 - 一高八斗六升壹合
 - 一高九石七斗四升四合
 - 一壹石壹斗三升四合
 - 一高壹石六斗九升四合
 - 一高四升七合
- | | |
|-----|-------|
| 五人組 | 八右衛門印 |
| | 勤右衛門印 |
| | 佐右衛門印 |
| | 太右衛門印 |
| | 八兵衛門印 |
| | 又左衛門印 |
| | 勤左衛門印 |
| | 長右衛門印 |
| | 勤兵衛門印 |
| | 西光寺 |
| | 越石 |

總合百五拾貳石五斗四合

右之趣五人組御改被仰付候に付吟味帳面指上申候御法度之趣常々急度相守申候以上

下總國印旛郡鹿黒村

文政十二己丑年

- | | | |
|---|---|-------|
| 名 | 主 | 八右衛門印 |
| 組 | 頭 | 權右衛門印 |
| 同 | | 平左衛門印 |

文政十二年豆州塚本村中五人組帳

條々

- 一 從公儀被 仰出候御法度御箇條之趣名主方寫置常々大切に心掛相守名主組頭共立會村中の申渡違背仕間舖候事
- 一 一切支丹宗門之儀御制禁之事候間郷中不審成者於有之者早速五人組より名主へ申達其上役所へ届け可申候事
- 一 附宗門人別帳に記し毎年春中可急度差出候事
- 一 五人組之儀は毎年可改之町家者家並に在郷は最寄次第組合せ儘成者組頭に相立諸事御法度急度相守可申候若五人組にはづし隠置候歎組頭之不隨下知徒者有之候は、其一組より詮儀之上急度可申付候事
- 一 御用之儀何方より申來候共少も無遲滞可相勤之廻文之儀日限刻付遅々仕間敷候事
- 一 耕作念入仕附草耕等仕御年貢米永割付之通急度皆濟可仕候若未進仕候百姓有之候は、急慶可申

付候且又耕作不精成者有之候は、外之作人より不荒置候様名主年寄吟味可仕候尤小檢見之節も引方相立申間舖候

附口米口錢儀前々より御定通上納可仕候事

一 常々親に孝行仕主從禮儀正舖夫婦相宜舖兄弟親類中能相續仕萬端實體にもとづき各家業を可致大切に候事

一 博奕ほう引惣而賭之諸勝負等不依何事博奕に似たる儀一切可爲停止並に操かぶき其外何に而も見物之遊物堅仕間舖候惣而遊女野郎之類一切村中に不可差置一夜之宿も堅仕間舖候事

附勸化乞食修行者郷中猥に徘徊爲仕間敷候事

一名主百姓妻子等に至迄衣類儀儉約を相守不似百姓衣類不可着尤紗綾縞子縮緬之類ゑりにも仕間敷候事

一 百姓家作之儀分限より輕く可仕目立普請不可致候並男女共に乗物鞍置馬に乗候儀可爲停止事

一 不依何事百姓惡心を企一列神水等を吞候儀堅く可爲停止事

一 喧嘩口論出來候は、所々出合相留尋明可申候若し内々に而不相濟義候は、双方申合可訴出勿論手負之者有之候は、押置早速可申出候縱あやまちに而疵付候とも子細即時可訴出候尤他村に而喧嘩有之節者不可馳集候且人を殺候而立迹候者有之候は、隣郷之者まで出合搦捕早速可致注進候若又押候儀難叶候は、跡をしたひ落着候所に急度可申附候事

一 百姓子供多く持候者田畑惣領壹人の譲り可申候次男より耕作之働致し又は奉公人商人諸職人等

之弟子に遣し末々自然と過候様可致候高貳拾石地面貳町以上之百姓高に而田畑致所持子供取分仕度者は其旨を申達可請差圖候事

一往來之道橋は不及申惣而脇道作場道不自由之處道橋を作り人馬無難儀通路致可申候勿論古來より有來候道田畑に切添或者井溝に稻植申間候事

一惣而大酒不可仕若酒醉惡事出來候は、品により組合可爲越度事

一塚本村之儀御給とは乍申一村御入會之儀故從 御公儀様被 仰出候御法度之趣且古來より村方郷法を以一同取斗可仕分從御地頭所様被仰渡候に付依之名主組頭立會相談之上非分無之様に

取斗仕來候處近年人氣惡敷相成心得違之者も出來候哉聊之儀にも言譯杯を出し村方一同寄集農隙を費し迷惑勝之者も多有之候別而蒙組頭役を候者をも輕々敷平百姓同前に心得出席不致杯

と彼は無辨不法申候段粗相聞組頭役義者も無據右場所の内々立寄候様子に相聞候に付此後可爲村役人者大勢寄集候席に可立寄趣意御法度に候間名主組頭之儀は已來小作之寄合其外何事によ

らず猥に出席不致候間此段心得違無之様組親より組下を得と申間法外無之様念入可申付候若又組親之下知に不隨徒者有之候は、其組より月番役方相届可申候

一田作之儀年々苅入前に村役人立會毛見分之上作物に應じ用捨も致遣し全皆濟可被達之處相談承知之上令請印候事に候然る處何と相心得候哉壹兩年已來皆濟及日限に心得違之儀願出村役人心配之儀をも不顧不埒之事に候勿論是迄決而押印等は不爲致何事によらず得と勘辨之上印形可

致候萬一目利違に而皆濟之儀無覺束候は、地持小作連も相互に渡世之儀故立毛之上得と取極可

申候此後暮に村内一同寄集不筋之儀願出候共取上げ不申候間各心得違無之様念入可申付候

一御年貢皆濟無之以前米穀他所一切出し不申候年内に急度皆濟可申上候事

一木錢宿一切致申間舖候將又米穀稻麥何事によらず分明不成物決而相預り申間舖候若外より於相顯は爲科料錢五貫文出し其上越度可申付候事

一作物盜取候者見付次第月番役方可訴出候爲褒美錢五貫文可遣候

一田畑水除土手竹木並に譬枯株等に至迄猥に取間敷候若於相知者過科として錢三貫文可取之候

一高札之儀大切に致置勿論文字古成見の兼候は、役所に訴出可請差圖候事

右之條々堅相守可申候若違背仕候輩於有之者可爲曲事候此書面名主方に寫置毎年正月五月九月壹ヶ年に三度づゝ村中大小之百姓寄合儘に讀聞せ常々此趣合點仕罷在候様念入可申付者也

文政十二年己丑三月 日

組親

清助

甚助

佐次右衛門

長右衛門

馬藏

組親

仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組

新 兵 衛 門
忠 右 衛 門
松 右 衛 門
又 右 衛 門
宇 兵 衛 門
常 右 衛 門
半 右 衛 門
文 右 衛 門
喜 兵 衛 門
新 助 衛 門
三 郎 左 衛 門
次 郎 右 衛 門
音 右 衛 門
又 右 衛 門
勇 右 衛 門

仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組

仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組
仙 嘉 太 要 與 親 組

岡右衛門
長右衛門

組親

平左衛門

庄兵衛

孫右衛門

半右衛門

茂八

組親

彦左衛門

又左衛門

友七

甚助

加左衛門

組親

長藏

伊右衛門

組親

傳藏

皆右衛門

安右衛門

良助

藤右衛門

勝兵衛

德右衛門

文左衛門

由左衛門

後家

右之通五人組相改連印仕候處相違無御座候年々被仰渡候趣急度相守可申候爲後證仍而如件

文政十二年己丑三月 日

文政十二年武州埼玉郡西袋村五人組帳

本書六十壹箇條中最後の一箇條(「御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付徒黨逃散候儀者堅御停止に候處云々」にして既に延享四年御料所五人組前書以下の

諸書に載せられたるもの) 以外の六十箇條は殆ど皆元文三年武州豊島郡大久保新田五人組帳(六十箇條)と同一なり故に之を省略す

天保三年武州多摩郡乘願寺村御條目並五人組帳

〔東京府西多摩郡青梅町齋藤宗四郎氏所藏〕

本書は末尾の四箇條を除くの外(首條より第六十四條に至る迄)は前掲の延享四年同郡伊奈村「御條目被仰渡候惣百姓連印帳」(六十四條)と全く同一なり。故に今其末尾の四箇條と五人組連判帳とのみを左に掲載して他を省略する事とせり

レ一近來在方村々之者ども耕作を等閑に致困窮申立奉公稼に出候もの多所持之田畑荒し置候類有之由相聞不埒之至りに候以來村高人別割合何人迄は奉公に出候而も殘人數に而耕作は勿論村方之差支無之候哉否村役人ども相糺し實に無據子細に而奉公に出度旨相頼候者有之候は、右割合之人數迄は村役人ども承届年季限り奉公に出候様可致候若村方之差支も不顧奉公に出持高田畑を荒し候儀有之候は、當人は勿論村役人迄越度たるべき事

一此度別紙御書附出候に付寫相渡候間村役人ども得其意小前百姓人別限り不洩様爲讀聞來迄急度相守候様に可申合候都而大小之百姓ども農業は生涯之いとなみにて耕作を以身之上立候事農

民之分限に候近來身之分限を忘れ他之いとなみを羨耕作等之骨折もなくして金銀を得候事を心懸候事より起限に奉公稼之由を申江戸其外他國へ罷出村方へ可歸了簡も無之父母妻子にも永相別永々之田畑を荒し往々は一村之難儀にも相成候類有之に付右被仰出候趣一同難有奉存大小之百姓身之分限を存耕作を專に出精可致候事

一此度御觸有之候上は村々より奉公稼に出居候人數を相改田畑所持之當人は勿論子供たりとも村高に應じ人數不足之分は追々歸村致候様に親類村役人出精を取斗當村奉公出居候人數名前村限可書出候事

一向後村々に而男女老幼とも無據譯有之奉公稼等に出候儀有之候は、村役人ともに其譯申立承届候上差出右人數名前帳増減之儀年々御代官役所へ差出改を請限に人別不相減様可致候若等閑成致取斗人別不足之由を以捨置手餘地之申立於致は吟味之上村役人始可爲越度候事

右條々堅可相守候箇條之趣名主方に寫置正月五月九月壹々年三度村中大小之百姓に爲讀聞得と吞込候様可致候若違背之族於有之は當人は不及申名主組頭五人組まで曲事可申付候品により親類迄も可相答もの也

右御條目之趣村中大小之百姓水吞下人等に至迄壹人も不殘承知奉畏候尤常々無油斷吟味可仕候若違背仕候もの有之候は、當人は不及申親類縁者名主組頭五人組迄如何様之曲事にも可被仰付候且五人組之儀親類縁者好身有之ものは組合不申村中相談之上五人組相添連判之御證文差上申處如件

天保三辰年三月

武州多摩郡乘願寺村

治兵衛印
勳兵衛後家
喜兵衛印
吉印

清吉印
吉兵衛印

源左衛門
忠之助

與兵衛
字兵衛印

與四郎印
孫源左衛門(後家脱力)
七印

庄兵衛印

宇右衛門印
兵右衛門
清兵衛印
平左衛門印
庄兵衛店借
吉兵衛店借
兵右衛門店借
友治郎印
清兵衛店借
昭丁印

惣右衛門印
林兵衛印
伊右衛門印
市兵衛印
八右衛門印

三枝友右衛門印
半兵衛
平右衛門

大和... 西... 門... 人...

大和... 左... 門... 人...

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 名 | 年 | 同 | 同 | 組 | 同 | 同 | 年 | 百 | 同 | 當 | | | | | | | | | |
| 主 | 寄 | | | 頭 | | | 番 | 姓 | 山 | 修 | | | | | | | | | |
| 源 | 忠 | 平 | 平 | 治 | 半 | 藤 | 組 | 代 | 驗 | 圓 | | | | | | | | | |
| 左 | 之 | 右 | 兵 | 兵 | 兵 | 左 | 頭 | 文 | 解 | 脫 | | | | | | | | | |
| 衛 | 助 | 衛 | 衛 | 衛 | 衛 | 衛 | | 右 | 院 | 教 | | | | | | | | | |
| 門 | | 門 | 門 | 門 | 門 | 門 | | 衛 | 院 | 院 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | 印 | 印 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 門 | | | | | | | | | | | |

四六一

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 寅 | 金 | 八 | 惣 | 與 | 藤 | 文 | 金 | 半 | 勘 | 安 | 平 | 重 | 久 |
| | 兵 | 五 | 兵 | 市 | 左 | 右 | 次 | 次 | 右 | 右 | 兵 | 次 | 兵 |
| | 衛 | 郎 | 衛 | 市 | 衛 | 衛 | 郎 | 郎 | 衛 | 衛 | 衛 | 郎 | 衛 |
| 吉 | 衛 | 郎 | 衛 | 市 | 門 | 門 | 郎 | 郎 | 門 | 門 | 衛 | 郎 | 衛 |
| 印 | 印 | 印 | 印 | 印 | ○ | ○ | 印 | 印 | 印 | 印 | ○ | 印 | 印 |

四六〇

天保三年西青沼村五人組御仕置帳

本書は最後に左の請書文言を記載するの外前掲の享保十年五人組帳前書と全部同一なるを以て今之を省略す

御箇條書則名主方に寫置申候而被 仰付通爲讀聞一ヶ條宛爲致合點急度相守可申候若此旨相背候はゞ如何様之曲事にも可被 仰付候爲其連判如此御座候以上

天保三年武州多摩郡後ヶ谷村五人組連判書上帳

〔東京府北多摩郡狹山村杉本惣太郎氏所藏〕

本書は前掲の寛政七年同郡砂川村御仕置五人組帳と同様に「享保集成絲綸錄」所載當時村方五人組帳（七十條）に貳箇條を増補したるものなるを以て（但し條文の位置に少許の轉置有り）今前書帳の全文を省略し末尾の請書と五人組連判帳とのみを掲載す

右之通御書付出候名主組頭年寄百姓共迄不殘召出御讀聞せ逸々承知奉畏候彌右之趣急度相守可

申候勿論村々名主宅に御書付之趣相認張置百姓違失爲無之折々爲讀聞候様に被仰付奉畏候右御法度之惣御箇條之趣村中に寫置毎月壹度宛惣百姓名主前に寄合爲讀聞被 仰付候通相守可申候若違背仕候者有之候はゞ如何様之曲事にも可被 仰付候爲其名主年寄五人組連判之一札差上申候所仍而如件

天保四巳年三月翌勤兵衛と成

天保八丁酉年正月仲淺次郎と成

嘉永四亥三月源三郎と改名

天保七丙申年三月仲平六と成

安政二卯年三月七左衛門と成

安政二卯年三月仲小左衛門と成

百姓代 勘 兵 衛 印

藤 助 印

忠 左 衛 門 印

七 左 衛 門 印

喜 三 郎 印

五人組

元 右 衛 門 印

小 平 治 印

佐 平 治 印

金 藏 印

市 郎 兵 衛 印

五人組

八 郎 左 衛 門 印

嘉永六丑年より仲八郎兵衛と成

天保八丁酉年養子清左衛門と成

安政四巳年三月仲利右衛門と成

天保七申年仲七郎左衛門と成

嘉永六丑年四月より翌佐右衛門と成

安政四巳年養子庄左衛門と成

天保六未年重左衛門と改名

四申養子又重左衛門と成

天保八丁酉年正月仲德二郎と成

武左衛門牌名也 弘化四未三月寅吉と成

同十亥三月友二郎と成

又養子庄兵衛と成年號改べし

同十亥三月左次郎と成養子也弘化

嘉永六丑年重左衛門と成

同十亥三月養子重藏と成

天保八丁酉年正月仲德二郎と成

同十亥三月友二郎と成

又養子庄兵衛と成年號改べし

同十亥三月左次郎と成養子也弘化

嘉永六丑年重左衛門と成

同十亥三月養子重藏と成

天保六年宇兵衛と改名
安政二卯年三月より俸七左衛門と成

嘉永四亥三月俸市左衛門と成 安政四巳年賀市郎左衛門と成
嘉永四亥三月俸清兵衛と成 慶應四辰年弟清四郎と成
天保十五辰年賀太郎兵衛と成
天保十五辰濱れと成
天保八丁酉年三月久左衛門と改名

五人組

- 新右衛門 門印
- 彌太郎 門印
- 徳右衛門 門印
- 七郎右衛門 門印
- 市郎左衛門 門印
- 八郎右衛門 門印
- 孫兵衛 門印
- 權四郎 門印
- 彌左衛門 門印
- 金左衛門 門印
- 政右衛門 門印
- 佐兵衛 門印
- 權右衛門 門印
- 傳右衛門 門印

俸五左衛門と成

嘉永二酉三月孫文藏と成
同三戌年賀權右衛門と成入夫也
嘉永二酉年俸辰五郎と成又安政二卯年三月賀嘉兵衛と成

五人組

嘉永二酉年頼かんと成安政四巳年賀次郎右衛門と成
天保四癸巳三月源綱と改名仕候
安政二卯年三月賀熊右衛門と成
天保四巳三月俸虎吉と成
天保九戌年二月長右衛門と改名
弘化五申三月孫賀文右衛門と成

五人組

- 治兵衛 門印
- 熊右衛門 門印
- 億右衛門 門印
- 長三郎 門印
- 文右衛門 門印
- 茂左衛門 門印
- 清右衛門 門印
- 宗兵衛 門印
- 新之丞 門印
- 庄兵衛 門印

安政三辰年三月養子桑右衛門と成明治二巳年死去
廣右衛門事明治三年より俸亦桑右衛門と成
天保八酉年三月久右衛門と改名又安政四巳年二男久藏と成
天保九戌年三月四日欠落仕候に付母しげと成
同十亥三月直次郎と成久左衛門名也
天保九戌年三月後家とめと成 同十亥三月七右衛門と成入夫也又後家と成
慶應三卯年養子新右衛門と成利左衛門次男也
安政二卯俸庄左衛門と成

五人組

- 金右衛門 門印
- 紋左衛門 門印
- 利左衛門 門印
- 安右衛門 門印

四人組

天保十亥三月俸鉄五郎と成
嘉永二卯萬吉紋左衛門と改名除帳に相成
安政二卯父紋左衛門と成
天保十一年二男安五郎と成
嘉永四亥八月養子安右衛門と成

天保八酉十二月平重郎と改名 弘化五申三月伴名主慶治郎と成
文久三亥年勘左衛門と改名 安政五年名主杉本平重郎と成
天保十一年三月伴後三郎と成 弘化五申三月名主彦四郎と成後三郎伴也
慶應四年六月養子新左衛門と成 組頭忠右衛門次男也

天保八酉年三月伴忠右衛門と成

天保十亥年三月伴武左衛門と成
嘉永四亥年三月武左衛門伴武兵衛と成

山本大膳様
御役所

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 名 | 主 | 勘 | 左 | 衛 | 門 | 印 |
| 名 | 主 | 新 | 左 | 衛 | 門 | 印 |
| 組 | 頭 | 武 | 右 | 衛 | 門 | 印 |
| 同 | | 忠 | 兵 | 衛 | 門 | 印 |
| 同 | | 三 | 右 | 衛 | 門 | 印 |
| 同 | | 武 | 兵 | 衛 | 門 | 印 |

天保七年山本大膳五人組帳

本書は全編百四十七箇條より成り五人組帳中最も完備せるものゝ一にして天保七年に山本大膳の編成板行せるものなり然れども其前半部七十箇條は前掲の「享保集成絲綸録」所載「當時村方五人組帳」を其儘採用したるものにして大膳の立案制定に係るものは其後半部の七十七箇條なり故に今其前半部を省略して後半部の七十七箇條のみを茲に掲載す

前條之儀者前々從

公儀被 仰出有之候處猶亦此度左之通申渡候

- 一 訴訟其外不依何事可申出儀有之は五人組々斷名主組頭を以可申達或者名主添狀を以可訴出若名主組頭不取上添狀不仕候は、其趣を以可申出事
- 一 宗旨印形之儀出入故障有之共寺院者勿論村役人小前共印形難澁致間敷事
- 一 御鷹場村々之儀者從前々被 仰出候通御用向大切に相守可申事
- 一 御拳場者勿論御捉飼場におゐて鳥類殺生いたし候もの見付候は、郷中之もの搦捕早々可訴出若見聞通候は、村役人小前共一同可爲越度事
- 一 附り鐵炮を打候は、猶更之儀郷中より罷出遂穿撃搦捕可申事
- 一 餌差共參り宿をかり候は、木錢米代人足かり候は、御定之賃錢を請取若疑敷存候は、鑑札改不審成もの者其所に留置訴出鑑札無之餌差に者宿人足かし申間敷候事
- 一 捨馬不仕前々之通相守可申候自然放牛馬有之者名主組頭立會養置早速可申出事
- 一 博奕筋之儀者別而百姓共之風俗を亂し田畑之耕疎に成候基終に者喧嘩口論を仕出し又者利欲に迷ひ人情之本を失ひ長脇差を帶し歩行及傷にもおよひ候様成行其身者勿論其家をも潰し次第に寄候て者親類のもの迄も路頭に迷候もの出來一村之難儀にも相成候事に付村中申合嚴敷可制幼年之子供等持遊之慰に石又は土を以焼杯いたし候品にて賭事真似いたすも博奕に類し候間親々は勿論村役人共教諭可致博奕催し候を見付訴出召捕に成候は御褒美も被下候事
- 一 宿町村々之内商人家に博奕道具賣買いたし候もの有之由不届に付風聞たり共可訴出事

一富突杯と名付博奕々間敷儀者勿論福引福富其外品々各目を附富突興行いたし候趣右體之儀者御法度に付若催し候もの有之は早々可訴出催し候後にも急度可遂吟味事

一常々人之妨をなし或者酒狂之上口論を好族又者耕作商業も不仕渡世之致方不分明成もの有之者名主組頭五人組之内より可訴出事

一喧嘩口論取押候節飛道具不可持不可加勢事
附り用事なくして他所より節々出入之もの有之は心を付様子見届怪敷子細有之は可遂吟味事

一公儀御仕置にて江戸拂又者追放等に成候者御構之場所に隠れ罷在候も有之様に相聞候畢竟右體之ものと乍存圍置或者世話いたし候者有之故之儀にて當人同前之御仕置可被 仰付候事

一神佛銅石木像共丈は三尺に可限並撞鐘鳥居燈籠大造成儀者御法度木像三尺にても十體以上は訴出可受差圖事

一寺院堂舎客殿方丈庫裏其外梁間京間三間を限り桁行は心次第佛壇つの屋京間三間四方を限り四方しころ庇京間壹間半を限り小棟作たるべしひち木作より上之結構可爲無用其度々差圖受可作事

一在々におゐて操狂言芝居其外諸見せ物類可爲停止事

一宿町村々之内に芝居道具衣裳貸候もの有之者可訴出若村役人五人組乍辨見聞通におゐては急度可申付事

一宿在町村々賑ひ之場所におゐて書畫俳諧遊藝を翫ひ候もの共會と號摺物等を配り金錢を申請茶屋杯において會合いたし酒飲遊興を催候もの有之百姓之風俗を亂し候基に付向後急度仕間敷若

催候は、早々可訴出事

一不依何事徒黨々間敷儀堅仕間敷惣て公事出入之儀有之者名主組頭五人組立會取扱之上不濟儀者可申出事

附り荷擔いたし候もの有之歟又者公事すゝむるもの於有之者可爲重科事

一公事出入之節名主他行に候は、與頭添翰可致訴訟人村役人之異見を不用逆添翰不致者心得違にて添翰無之願者不取上無益之雜費も相掛添翰は其所之人別之ものに無紛證據迄にて縦筋違之願にて村役人異見不用共差出不筋之次第は差添罷出可申立事

一公事出入差添者村役人に限可申村役人不殘相手取候は、組合親類之内差添可申出事

一諸寺院之輩に慎方被 仰出其後不愼もの有之御仕置に被爲處以後破戒不如法之事有之は村方より本寺觸頭に訴教戒いたし其上不用事に候は、早々可訴出事

一花火之儀家込之場所者不及申海手又者川筋に而も大造之花火流星相圖之火同様之花火建申間敷若相背候は、急度可申付事

一浪人旅僧修驗替女坐頭物貰ひ徘徊いたし押而宿をねたり合力を乞村々難儀いたし候由に付罷越候は、差押へ早々可訴出事

附り兼而御取締に付組合も定り候間諸入用者無宿之分者高割可致事

一押賣買堅く仕間敷候常々賣買不仕品又者他所より疑敷もの持來候は、不可買取事

一御年貢米金小物成運上物諸拜借返納等觸期月日限上納不致村方有之不届之事候條向後無遲滯可

相納若不納いたし候ものは早々可訴出急度可遂吟味事

一 檢見取村々者假免狀相渡り候は、定例之通田主一同立會無甲乙割合可申事

附り假免狀米高書付前年増減差引を記し高札場並名主宅門口に張出し惣百姓並出作之ものに

至迄爲辨可申事

一 御年貢之儀米拵繩儀隨分入念升目等名主組頭米見立會可遂吟味事

一 御年貢之儀江戸廻之節古き船又者船具不足之船に積へからず尤最寄組合村々申合御米可積廻事

附り上乘之者船中にて御米大切に相守澤手不仕様仕尤升目の内盜不爲取様油斷仕間敷事

一 御年貢積候船若逢難風波掛り等多く出來候歟又者水出候節船乘損し破船仕候は、最寄村々名主

方々早速相達立會之上御米相改早速注進可仕候事

一 毎春百姓夫食に可成類貯置可申候無其心掛して自然夫食願出候共吟味之品に寄不取上候事

一 御年貢米金名主方々相納候節銘々其時々請取手形名主方より百姓方々取置可申候萬一請取手形

不相渡候は、其旨可訴出事

附り請取手形之儀端紙にて者紛失之基に付通帳に仕立名主組頭調印いたし相渡置可申事

一 割附皆濟目録村々々請取惣百姓立會披見仕相違之儀無之候は、悉書付寫村中披見仕候處相違無

之銘々割合出入無之旨奥書認惣百姓連印仕役所可差出事

附り入別帳差出候節割附皆濟目録拜見證文と唱可差出事

御年貢取立之節年々小割帳入念仕立上中下田畑其外位限り米永取箇附いたし夫より御年貢取立

諸夫錢取立仕譯帳に記し皆濟之節向後之證據相成候様田畑持主共之印形取置可申事

附り小割帳者村々大切成御取箇附元に入付狂ひ有之節者直改め小前末々疑惑不請様に可取斗

事

一 諸役入目之儀者勿論宿村之内御傳馬相勤候場所者助成金等割合方入念割合非分は勿論無相違段

惣百姓連印定例之通貳冊宛差出改請役所押切請可置事

附り夫錢掛高壹石に付何程前年と差引増減を認め高札場並名主宅門口に札掛惣小前者勿論出

作小作之者にも可爲辨事

一 御傳馬相勤候村方者高百石に付人馬何程相勤前年増減差引を付夫錢帳に一紙に書出宿方より取

置候人馬出高通帳突合に可差出事

一 御年貢割合其外寄合候節給物酒肴相調村入用に掛候儀不可仕前々割合來候内も向後減候様村中

可申合事

一 御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付訴徒黨逃散候儀堅く停止に候處近來

御料所之内にも右體之願筋に付御代官陣屋に大勢相集訴訟之儀有之不届至極に候自今以後嚴敷

御吟味之上重き罪科可被行旨被 仰出候兼々急度相守可申事

一 難立願を大勢申合強て願を強訴といひ大勢申合遺恨を以民家等打潰し亂妨いたし歩行を徒黨と

いひ右之類は趣意に不拘重科被 仰付事にて都て願筋者村役人を以御料者御代官私領は地頭は

訴吟味請勿論支配地頭非分と存儀は其筋之奉行所可訴出無其儀強訴徒黨いたし其身は首をは

ねられ先祖より之株を潰し父母妻子は路頭に迷ふ辨も無之愚昧之仕業を不便に被 思召前々御觸も有之に付篤と村役人共心得居何様脇村より申勸候共取用不申小前取鎮其上騒立は早々訴出へし強訴徒黨を鎮候ものには苗字帯刀をも御免御褒美銀下さる程に付村役人は勿論小前末々迄可辨知事

一近來在方村々之もの共耕作を等閑にいたし却て困窮等の儀を申立奉公稼に出候者多く所持之田畑を荒置候類有之由相聞不埒之至に候以來高人別割合何人迄は奉公に出候ても殘人數にて耕作者勿論村方之差支無之哉否村役人共相糺實に無據子細にて奉公に出度旨相願候もの有之候は、右割合之人數迄者村役人共承届年季を限奉公に出候様可致候若村方之差支を不願奉公に出持田畑を荒候儀等有之候は、當人者勿論村役人可爲越度事

一常々無油斷耕作入精百姓不似合之遊興何にても仕間敷若作物等に不精成もの有之者異見いたし不用におゐては可訴出事

一浦方山方稼之事は格別其外在々有來物之外諸商賣停止之事

一不依何者他所より引越候もの有之候は、出所途吟味慥成請人取其節可申出事

附り所出生ものたり其年久敷他行立歸り候もの有之は可訴出事

一他所に罷越一宿にても可仕節者名主組頭者申合其外之者共者五人組に相斷勿論歸り候は、其届可仕事

附り江戸並何方にても用事有之罷出候は、其事相濟次第早速罷歸り永く逗留いたすべからざ

る事

一聳取養子取候儀名主組頭立會入念後日出入ヶ間敷儀出來不申様可仕事

一婚禮之節者貧福之身に不寄一統に一汁一菜所有合之野菜肴二種に限り過酒無之衣類櫛簪等者前々御觸相守美麗成儀決て致間敷事

一婚禮之節奢無之ため名主組頭之内壹人立會客者親類組合本家分家に限り懇意又者曲輪之ものたり共呼集中間敷事

一婚禮之節不吉成仇をなし大勢申合樽肴を入途中にて妨渡船場にて船頭並穢多非人祝儀をねたり候様之儀有之は可訴出事

一掛井堀落井堀並道をせばめ田畑を仕出し作毛仕付申候は、當人者不及申名主五人組何様にも急度曲事に可申付事

一用惡水路におゐて魚殺生等いたし水行之障りをいたし候もの者差押早々可訴出急度可申付事

一御傳馬人足に罷出候馬役歩行役のもの共前々者其所之有合之籠食を焼飯又は辨當こりに入わらんじ沓も手作りを持參御傳馬役を勤賃錢者聊にても持歸り神佛に備候程に尊ひ助郷役勤候村方者爲筋に心得百姓も富榮へ近來者驕奢甚しく夫食米銘々宅より持參又者宿方にて買上助郷定宿を頼置木錢を出し野菜も調相賄ひ書辨當者宿々間之人馬建場茶屋にて買喰酒肴もいたしわらんじは買用ひ剩柔弱ものは宿人足を買上御傳馬を勤己れば遊興に耽り又者賭の勝負事に携候ものも有之一統驕奢を是と心得候族多故連々助郷村々困窮に落入不届之事に候自今以後奢修を防儉

約を専らにいたし古例に復し可申若背ものも有之ば竊に可訴出事

一往還通り有之道橋者不及申脇々にも常々無油斷繕ひ人馬通行難儀無之様可仕事

附り有來道並田畑切込申間敷事

一御傳馬宿出火之者高札燒失不致様早速はづし取可申事

一川船之儀古來定之通不可違亂事

附り御城米積候船者不及申不慮之破船有之者早速近在之もの共罷出相働可申候縦商人之荷物

たり共相働可申候勿論荷物紛失無之様可仕事

一田畑其外質入直小作いたし候は、質取主方別紙小作證文取置可申事

一質地年季明不請戻候は、流地可致旨之證文入置候上者年季明期月後請戻し願出候とも取上無之

事

一質地年季中にて金子出來請戻候は、地所相返候筈之證文面有之分は格別右文言無之分者年季

中請戻之儀願出候共取上無之事

一近年諸寺院猥に其寺之本尊什物佛具並建具等書入又者賣渡し證文を以金銀借用いたし候寺院數

多有之不埒に候向後右之品質入或者賣渡し證文を以金銀致借用候當人者勿論證人迄も吟味之上急

度可申付候尤も金主之儀も不埒に付右體之儀有之は早々可訴出事

附り神社寶物類寺院什物を小前困窮之もの借受又者若もの共申合借受遊興に遺捨候趣も相聞

不届之事に候自今以後可相止若相背候は、急度可申付事

一古着商買のもの共辻買決て致間敷宅にて買請候とも出所相糺懺成ものに候は、買請若怪敷見受候は、留置可訴出事

一通古鐵買之もの共盜賊之品を道端又者宅にても買請候由に付宿村々にて無油斷途穿鑿若不審之

もの有之は竊に可訴出事

一公儀御林枝葉たり共一切不可伐採事

附り御林並往還並木風折等有之は當分通路障不成様仕置早速注進可仕事

一公儀御林者不及申百姓林に候共野火入不申様兼々被 仰渡候趣急度相守風烈之節者別て村役人

申合繁々相廻り可申事

一村々入會並百姓立林に大木等生茂り村内並近村之用水潤澤いたし候處右大材等伐出後用水不足

いたし致難儀候趣粗相聞山林生茂り有之は自然に用水潤澤いたし川々土砂石押出さす水旱の

憂無之趣自今以後右體之於山林木伐出し候者村役人共用水潤澤差支有無糺之上訴出差圖請伐取

可申事

一境論無之様常々入念可申事

附り古荒川欠起返候場所並新開等有之者不隱置可申出尤開發可成所有之者可注進事

一跡式之儀兼て書付仕名主五人組立會致加判死後出入無之様可仕事

附り跡目無之者不慮之死失いたし候は、所持之品々名主與頭五人組立會相改可申出事

一不依何事其子細篤と承り届書物見届候上印形仕得心不仕儀者印形仕間敷候惣て後日出入出來不

致様諸事入念可申事

附り自分之印形御用之儀たり其名主組頭印形渡置候儀堅仕間敷事

一名主年寄組頭非分成儀申掛小百姓掠におゐては可申出候百姓致我儘名主年寄組頭申付を不承者詮議之上急度曲事に可申付事

一於村方作り出候酒醬油之類元付直段相應に賣出し高賣いたす間敷事

一所有來り候造酒屋者前々改を請候石敷之外不可造勿論新造酒屋者堅仕間敷事

一月々市場に持出候商ひもの何品によらず下直に賣買可致事

附り紫紅梅染其外高料之染決て染間敷其餘は何品にても形なし下直に染可申事

一在々諸職人共黨を結び太子講と名附寄合いたし細工之巧拙をも不分一同手間賃引上候趣相聞候以來右寄合候儀相止手間賃銀目之分者前々に復し錢極之分者相場に隨ひ可引下事

附り日雇人足賃も右に准可引下事

一田方植付後土用中不時之冷氣にて俄に暑氣強く候得ば其所に寄蟲付等有之候由蟲を防も品々有之先夜分畔にて火を焚明松を燈し歩行往をなから鐵砲を打事ならぬ土地者花火を建鯨の油を一畝に二三滴宛打そゞ鯨之油無之土地者曉天風上より石灰をふりかけ根蟲に候はば用水口より石灰を流し蟲を防へし翌年地しまり候はゞ竹之葉麥わらを入切返し可申事

一苗圃方者早魃又者水腐等にて植付難成後候はゞ土用入候て者苗新根をさし候間根付不宜不生立事に候土用入四五日前に苗を取束ね流し水又者用水溜池杯の苗の根土に付さる様に途中に釣

置新根を出さぬ様に手當いたし縦苗枯葉に成候共不苦間置雨ふり深田は水減し候節土用半過迄植付候共一夜に根付實法候間無油斷心得尤其所之地味にも寄へく間平年に能様し置妙成事を辨ひ水旱の憂を免るへき事

一近年連々と奢侈に押移り衣類飲食居住日用之雜具に至迄美麗好品を貧富ともに用ひ自然と諸色高料にも罷成稼之餘徳より一家之暮方嵩逼迫いたし候より欲心を起し本業を疎にいたし末業に陥り貪利之欲心より非義非道を仕成家業に離れ遊民無頼となり終に者諸々惡事増長いたし蒙天罰被召捕入牢吟味之上重きは死刑輕く共其所之イも成兼非業に其身を失ふ而已ならず父母妻子並親族迄路頭に迷候様成行事是皆奢侈より起り其所も人別減し一村之難儀共成候間向後奢を省不善を慎善道を中心候様に村々申合儉約質素に本業出精可致事

一關東在々取縮之儀に付村々組合相立右組合村方にて惡黨者差押候節差出方之儀手重にて者自然と見逃候次第も可有之哉に付以來惡黨者召捕候はゞ領主地頭申立候に不及召捕候村方之役人惡事之始末一と通書取公事方月番奉行所申立奉行所より直に宿村繼之觸書相渡尤囚人差出之節は役人附添に不及宿村繼にて差出候様可取計旨此度被仰渡候趣取縮出役之者共より組合村々ね申渡候條右之趣厚心得村々可申合事

一父母に孝行夫婦兄弟親類と睦敷可仕若諸親類と不和にて異見を不用不孝之輩有之者名主組頭致吟味可訴出事

一惣て家業を專一に相勤親に孝行主人に忠を盡し師匠又者老たる人を敬ひ物毎に心を合村中區々

に無之取締行届候様取計貧民を憐救ひ奇特之もの早々可訴出事

附り凶年之節米價高直にて貧民難儀いたし候者を米金錢其外之夫食を以飢を爲凌候もの有之者物之多少によらず早々可訴出事

一村役人共之内に

公務を重し小前を憐村入用を減正直に精勤いたし小前之もの共に自然と敬を請候もの有之は早小前之ものより可訴出事

附り私欲不正之取計いたし小前難儀に相成候もの者早々可訴出事

右之通此度申渡候間五人組前書一同月々再々讀諭し惡事に不移善事に導候様心掛可申若違背致候もの於有之者當人者不及申組合村役人迄急度可被 仰付もの也

天保七申年

山本大膳藏版

天保九年越前國大野郡西山村御仕置五人組覺帳

〔松平侯爵家所藏〕

本書は寶延四年同國丹生郡杉村五人組御仕置と同一文にして唯その二箇條なりしを一箇條に併せたるもの一箇所有のみなるを以て今之を省略す

天保十年御領知方御役所五人組帳

本書は全編百五十三箇條より成り余輩の蒐集調査せし五人組帳中にて條項の最も多數なるものなり然れども本書は前掲の山本大膳五人組帳(百四十七箇條)の後尾に六箇條を増補追加したるに過ぎざるを以て今其山本大膳五人組帳所載のものは全部之を省略して増補追加の箇條のみを左に掲載することとせり

右者山本大膳役所におゐて改正有之候分尙又左之通書加申渡候

- 一 諸貸金並賣掛出入之儀寛政九巳年九月以前之證文帳面附込之分願出候とも取上無之事
- 一 百姓町人之身分不相應大造之葬式並戒名院號居士相附候儀決而不相成石碑も臺石とも四尺を可相限候尤是迄有來候共右に相振候分者院號居士相除石碑も取縮候様可致旨御觸之趣堅可相守事
- 一 百姓町人之賣荷を武家或宮門跡堂上方荷物之體に仕成又者百姓町人之身分に而右之向々家來杯と申成し或重き家柄之會符等借受旅行いたし候類も間々有之趣に相聞不届之至りに候右體之取斗いたし候者は急度可被 仰付旨御書付之趣聊相背申聞敷事
- 一 百姓町人之身分に而御筭かんざしきせる多葉粉入紙入かな物其外器物類惣て金銀相用候儀者停止に候條右金銀器類縱持傳出入屋敷等々貴受候品たり共一切取持申聞敷事
- 一 近來在方浪人者杯を留置百姓武藝を學び又者百姓同士相集稽古いたし候も相聞右者農業を妨候

斗にも無之身分を忘れ氣かさに成行候基にも候得者堅相止可申候勿論故なくして武藝師範いたし候もの狛猥に村方に差置申間敷候事

一百姓共之内江戸町方火消人足之身體を眞似火事に事寄大勢に而遺恨有之者杯の家作家財を打こはし或頭分と組合を立喧嘩口論を好み候もの共も有之由甚以不埒之事に候急度相愼愼而風儀を宜敷可致事

右之通此度申渡候間五人組前書一同月々再々讀諭し惡事に不移善事に導候様心懸可申若違背致候者於有之者當人者不及申組合村役人迄急度可被仰付もの也

天保十亥年八月

御領知方

御役所

天保十年武州豊島郡下田畑村御法度書五人組帳

〔東京府北豊島郡瀧野川町淺賀長兵衛氏所藏〕

條々

一前々從 公儀度々出候御法度書之趣彌以堅相守御制法之儀不相背様小百姓下々迄可申付候事
一五人組之儀町場は家並村方は最寄次第五軒宛組合子供並下人店借借地之者に至迄惡事不仕様組

中常々無油斷可令詮儀若徒もの有之候而名主申付不用候は、可訴之事

一毎年宗門帳改三月迄之内可差出候若し御法度之宗門之者有之は早速可申出候切支丹宗門之儀御高札之旨可相守宗門帳之通人別に入念可相改宗門帳濟候而抱候下人等者寺請狀別紙可取置候事

一五人組帳宗門帳に押置候外別之印形拵置申間敷候若し細候而印形替候は、名主組頭之者判鑑差出可相改候其外之百姓名主方は可斷名改候は、早速改致五人組帳改候名を可記事

一切支丹ころびの者並親族有之分別紙に記之切支丹奉行所は差出置候事に候他村より縁組等致當村は右之類來り候は、早速御注進候事

一田畑並山林等永代賣買御停止候若質物に入候は、拾ヶ年限り質手形名主五人組加判可仕候田畑質物入金銀借り田地質に取候者作候而御年買地主候儀不可仕候事

一衣類道具又は川橋等之は、づし金物出所不知賣物一切買申間敷候右之品々質に取又は預置べからず出所相知候者に而も請人無之候は、質物も取間敷候事

一惣而家業を第一に可相勤不似合遊藝を好或は惡心を以公事巧をいたし非事をすゝめ偽を巧人之害をなす欺又は不孝の輩有之は不隱置可申出不依何事に神水を吞誓詞を申合而一身同心いたし徒黨がましきをも不可仕候事

一盜賊惡黨人有は訴人可仕候褒美可爲取之上仇をなさざる様可申付候事

一百姓衣類之儀結構成もの不可着名主縮紬布木綿妻子共に可着之平百姓布木綿より外は不可着繪子紗綾縮緬之類は、るり帯にもいたし申間敷候然共平百姓に而も身上宜ものは其品斷をたて差圖

を受締可着事

附男女乗物乗鞍馬に乗べからず惣而家作等目立普請奢ケ間敷義無之様可仕候事

一 賀取嫁取之祝義奢ケ間敷儀無之様分限より輕可仕人大勢集大酒不可呑所に而改家之祝新宅之ひろめ初産之いわひ不相應之義可爲停止候分限相應之内證にて輕祝可仕並葬禮之野酒一切停止に候事

一 捨子堅く不可仕若他所より捨置候は、村中に而養育いたし早速可致注進事

一 御鷹場之儀は不及申餌差相廻し候村々にも鳥殺生一切不可仕若鳥捕候もの於有之者早速可致注進若隱置脇より顯候は、名主與頭五人組共に可爲越度尤御鷹場餌飼場村々は勿論其外に而も御鷹方差圖之義違背仕間敷御用之品早々役所へ可申出候事

附り飼鳥之類は鶴あひる之外費ケ間敷飼鳥仕間敷候事

一 捨馬之儀御高札之通堅可相守若他所より捨牛馬並放牛馬當村に來り候は、見出し次第名主組頭村中立合いたし詮義之上持主知れ候は、其村名主並牛馬主より手形取候而相返し其旨早速可致注進候事

一 馬之筋を延候義御停止に候牛馬賣買候は、出所聞届け請人取之五人組に相斷可賣買候出所不知牛馬買取べからず候事

一 新地之寺社建立之義可爲停止候惣而はこら念佛題目之石塔供養塚石地藏之類田畑山林野又は道路之端に立置は其通に候ケ様之類は自今以後立候は、差圖を可請佛事神事祭禮新規取立べから

ざる事

一 寺社之儀住持神主代り候は、可注進候事

一 神佛致開帳候は、可注進當村之神佛他處に當分相移開帳仕候義有之は毎度に可注進又は他所より神輿を送り來候様之義有之候は、不可請取村中の少之間も差置べからず候事

一 當村に有之候出家山伏行人道心非人等其外穢多之類迄も常々致吟味胡亂者住居爲仕間敷候名主組頭不相達他村より來り候は、一夜之宿も不爲仕候様右之者共へ可申付候事

一 村中之者之内或は逐電身上潰候而住居難成もの有之は可注進候又は他村より子細有之候而立退來候は、縦親類たりと云とも當村に一切差置べからず候事

一 他處之者當村に有付住居致度旨願候は、其者出所並家職之様子聞届け出所へ届之致斷儘成請人手形取之宗旨相改途詮儀候而可差置店借之者差置候とも右同前に可相心得候事

附り浪人は先主之構無之旨請人並宗旨寺請狀證文取之書付差添差出可請差圖候事

一 人賣買一切停止候男女奉公人之義拾ヶ年普代召仕候共可爲相對但本主障有之は不可抱勿論壹ヶ年季に召抱候共儘成請人取之可召抱請人之義出所途吟味可取之候事

一 高拾石地面壹町右定より少く分候義は停止たり尤分方にかぎらず殘高も此定より少く田地持候百姓は子供初諸親類之内田地配分不仕厄介人有之者は在所にて耕作之働に而渡世いたさせ或は相應之奉公可差出旨被 仰渡候若子細候而分候義も有之候は、可請差圖惣而百姓新規に有付候は、可注進候跡式之儀存生之内名主與頭爲立會書付取置後日に出入無之様可心懸候事

一前方帳附來候酒屋之外新酒屋又は請賣之酒不可仕候事

一當村之内に而能操相撲又は狂言其外見物之類芝居爲致間敷候私領に而も分郷に而も村隣に而も當村紛敷地にて致候は、芝居不初以前可注進候事

一遊女野郎之類一切當村に置べからず一夜之宿も致間敷候事

一行衛不相知者に一夜之宿も不可貸旅人其外何物に而も堂宮山林道路死人有之は其者持來り候雜物等改名主組頭立會様子委細書付候而可注進若堂宮山林に隠れ忍胡亂成もの有は致詮義品に寄搦捕可訴之其外手負又は不審成者他所より來り候は、出所尋附届けいたし致注進差圖を請彼者相渡し可遣候事

一往還之輩若煩候は、醫者に見せ随分保養いたし能々勞り食物に入念あたへ看病仕置可注進行衛不知先々參り候義難成候は、其者之出所承り届迎を呼手形取相渡し可申候若病死いたし候は、其者之道具改名主組頭立會封印いたし置可請差圖候事

一殺害人或は自害候もの或倒もの有之は早速改之火事盗人喧嘩手負候者惣而不慮成義出來候は、右同前無油斷可注進候事

附り他所より越來り欠落者有之は其子細承り届け以書付可注進若所之者欠落候は、是又可注進候事

一村中に而喧嘩口論有之は名主組頭出會可裁判他所に喧嘩口論等有之節走り集るべからず人を殺立退候者有之は隣郷之者迄出搦捕早速可注進捕候儀難成候は、跡を幕落着候所急度可申届候事

田畑荒不置永荒場起返切添又者新田畑有之は早速可申出隠置脇より訴出候は、名主組頭可爲越度事

一堀を埋出又者道をせばめ秣場林際切流し田畑不可仕出前々より無之所を道付馬入申間敷候若道を付新堀不致候而不叶處有之は可請差圖事

一用水之掛方常々申合置爭論無之様に可仕若水論境論之場所脇差鎗長刀持出會人に荷擔有之は其科本人より重かるべき事

一御朱印又は御證文も無之人馬出候様に申或は駄賃を不拂通り候もの有之者其品により捕置名主組頭立會詮義之上怪敷體候は、可注進火事盗人用心常々無油斷可申付事

一村中申合九月より明る三月迄七ヶ月之内詰り能所に番屋を立番人付置火之用心盗人之用心随分入念を申付若出火有之候は、精を出し火を消し勿論御年貢入置候御藏大切圍可申候事

一堤川除不切様に常々申合満水之時は村中之者出會随分可圍之道橋損候而往來之障り成候歟田畑損毛可成所は惣而小破之時早速可修覆自普請に難成所は御入用に而可申付候觸無之候而も請取場之道橋常々無油斷作り可申事

一満水之時堤川除圍候節又は盗人狼藉並火事有之鳴立候節村中之者十五以上六拾以下之男不殘可出其場に出會者あらば名主組頭可遂詮議事

一鐵炮之儀斷相立候獵師之外鐵炮一切村中に不可隱置鐵炮打候儀前々より爲渡世之獵師之外一切打べからず持主之外親子兄弟たり共鐵炮借貸仕間敷候事

附り獵師之外何に而も殺生仕間敷候事

一御林立山之竹木は勿論枝葉下草迄公用之外伐採間敷候假令百姓持並屋敷四壁之木に而も目立候木伐採候は、書付出得差圖可伐之堤に有之候草萱葎等刈取間舖候事

附り御林下草錢上納蒞來り候處可爲前々之通候事

一入會野山面々持山に而も草木之根を掘取鶴之のはし入候儀可爲停止候田畑山崩砂入等無之様山林苗木等植立可申候事

附り山中に而燒畑致來候所格別之野火付候義可爲停止候事

一諸作第一能種を撰候而蒔耕作に可入念荒作致者有之は急度可令詮議獨身之百姓長煩又者親に離耕作難成候者は名主組頭立會村中助合田畑不荒候様可仕候事

一常々耕作並商賣をも不致家職持無之者村中に有之は遂吟味其趣可訴之事

一博奕惣而懸之諸勝負或は百人講と名付三笠付又は商に事を寄博奕に似たる儀何に而も一切不可仕若違背有之歟又者宿致し候者有之は早速可訴出事

一百姓に不似合風俗致し長脇差を差喧嘩口論を好或は大酒を吞致醉狂行跡惡敷者有は可訴之事

一他所に參り二夜壹夜泊り候程之儀者名主に相斷可罷出他國に奉公に出候歟又者用事候而相越候者其子細名主組頭五人組に書付を以相斷公事訴訟 公儀に候共其趣名主五人組に相届候事

一御年貢皆濟無之以前穀物不可出候畑方夏成秋成金納之ため米賣候は、先米納之員數積り納米程上米を拵置次之米を賣可申事

一米納之儀粗ぬか無之様隨分致吟味升目不切様に可入念候事

一俵拵之儀二重菰表の蜘蛛かゝり又茶かゝり所により致來候通摺繩に而可仕候船積之節壹俵宛菰包俵不損様に致俵之内に中札は紙に國郡村名御代官氏名年號月日名主米主升取米見銘々書印形手代に爲致加判毎俵に可入外札は木に而國郡村名御代官氏名米主可記札面に貫目可書付事

一御廻米船上乗之儀者村中遂吟味可遣御藏前入用並雜用等多不入様に申付委細帳面に相印入用渡候事

一毎年御年貢割付相渡候は、村中大小之百姓出作之者共不殘相觸爲致披見立會無相違割合在大豆餅米六尺給御傳馬宿入用御藏前入用之高掛物其外小穀代惣而浮役臨時物上納米金百姓壹人前明細に割合銘々印形致置右之書付壹人別に寫取立會得心之段惣百姓印形可仕置御年貢皆濟目錄我等裏印判取候は是亦百姓立會見届得心之惣連判に而證文可差出候事

一從 公儀被下候御年貢賦賃運賃在大豆代人足扶持等無相違割合銘々相渡是亦割合帳面に銘々百姓請取印形可取置候事

一御年貢米金惣而上納之取立物惣百姓壹人別に小割帳銘々納印形取名主方より米金請取小手形壹人別に相渡置皆濟之上壹人別に皆濟手形遣し小手形に引替後日出入無之様に可仕候惣而取立物割返し物惣百姓明細に得心致候様に名主組頭より其節申聽胡亂に不致様に能々可申候御年貢は村入用一所に割合候儀不可仕候事

一名主組頭就御用に江戸に罷出候雜用筆紙墨代惣而村小入用之儀其時に委細入用之譯々惣百姓に

爲致得心割合帳に印形取之尤請取手形壹人別に可遣之候右小入用一年切白紙にいたし印形相渡候帳面不殘記し惣百姓得心申分無之様奥書いたし印形年々正月二月迄一冊は我等方に差出し壹冊は名主扣に可仕置右之入用外別帳拵取立間敷候事

一右御年貢割付百姓に不爲見割合不明又は米金請取手形不差出候歟或は小入用割合致方不宜名主有之は不經年月を百姓方より早速可訴之聊も用捨仕間敷候不念に而手形不差置重々及出入候は、取上間舖候事

一公用之儀は勿論其外村中申合等之義に付名主方の百姓寄合之節村中入用之儀に付酒肴等一切給申間敷候事

一名主組頭誓紙申付候通自今手代並妻子等迄金銀米錢衣類諸道具其外輕きもの成共音信禮物一切仕申間敷候右之者共若借もの貨物押賣押買不限何事に而も不作法之儀致候は、不隱置有體に可申出若隱置後日相聞候は、名主組頭可爲越度此旨惣百姓共可相守候事

一自分家來手代召仕等當村の參口上に而申儀は勿論自分並手代印形も無之書付持參候而何事を申付候共一切承引不可仕事

一自分並手代其村相廻り候御定之木錢野菜米代相渡候間米代は其所相場を以請取其所有合候野菜に而相賄決而酒肴等一切調申間舖候右之義に而村入用等相掛り候段後日相知候は、名主組頭可爲越度事

一跡々より申渡候義は百姓迷惑之事も有之は其品申出得下知尤も御爲に成候事は少分之義に而も

無遠慮可申出候事

一手代並侍共郷村の參り候節耕作之妨仕間敷候農業不仕候節縦私領之ものたりとも奉公人には慮外仕間敷候事

一公儀御威光を以私領方百姓に對し少も我儘成義不仕先方より無筋目儀申候は、不及口論に其旨以書付注進之上可請差圖候事

一御朱印は不及申 公儀御用之義何方より申來候共刻付無滯配符其外にても先々の急度相届け請取手形取之可申候事

一御年貢米往大豆郷藏の納置候節村中之者代り、藏番可仕候風雨之節者別而可入念常々火之用心大切に可相守右居村は不及申隣郷に而も火事有之は早速出會精を出消郷藏第一圍可申候階子水籠火消道具拵置名主に可預置候事

附り火事鎮候以後火元焼失之譯刻限等委細に書付早速可注進事

一御料所國々百姓共御取箇並夫食種貸等其外願筋之儀に付強訴等徒黨逃散之儀堅御停止に付近來御料所之内にも右體之願筋之義に付御代官陣屋の大勢相集り訴訟いたし候儀も有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上重き罪科に可被仰條御代官支配限に百姓共の兼而急度申付置候様に御書付を以被仰出候間得其意急度相守候事

右之條々堅可相守若違背輩有之は可爲曲事此帳毎年正月五月九月霜月壹ヶ年に四度村中大小之百姓寄會儘に爲申聞常に此趣合點仕罷在候様入念可申候致略用度々不讀聞候名主有之は年々廻村之

節百姓相尋急度可申付もの也

天保十亥年

前書之御箇條奉拜見村中大小之百姓水吞迄壹人も不殘爲讀聞則御ヶ條名主方に寫置申候而被仰渡之通一箇條限合點いたさせ急度相守可申候若此旨相背申者有之候は、何様之曲事にも可被仰付候爲其連印仕置差上申處仍而如件

次右衛門 〇
 善九郎
 新右衛門
 半藏
 善兵衛
 半三郎
 源兵衛
 富五郎
 仁右衛門
 金次郎
 利助

九軒組

彌五郎
 乙五郎
 吉右衛門
 平七郎
 長五郎
 伊兵衛
 安右衛門後家
 彦四郎
 金右衛門
 仲右衛門
 七郎右衛門
 喜右衛門
 甚八

六軒組

安右衛門 〇
 清五郎

喜左衛門
 傳右衛門
 權兵衛
 五軒組
 甚右衛門
 佐五右衛門
 半七
 留次
 甚右衛門家借り
 清兵衛
 五軒組
 喜兵衛
 長右衛門
 茂右衛門
 松五郎
 四軒組
 紋右衛門
 新五郎
 四九三

八兵衛
 彌右衛門
 留之助
 平藏
 安右衛門地借
 長藏
 次平
 次右衛門
 九軒組
 作右衛門
 佐兵衛
 万作
 庄右衛門
 兼五郎
 幸七
 金兵衛
 七軒組
 權六
 惣右衛門
 四九二

七兵衛

留右衛門

三郎兵衛

藤助

平左衛門地借り

李兵衛

源左衛門

小右衛門

長兵衛

八軒組

三軒組

文右衛門

重左衛門

源四郎

次郎兵衛

清次郎

次郎兵衛地借り

小右衛門

又右衛門

鐵五郎

半次郎

拾軒組

平兵衛

清七郎

新五郎

吉六郎

卯兵衛

藤右衛門

吉六家借り

六軒組

十兵衛

兵左衛門

清兵衛

市郎右衛門

久米右衛門

久米右衛門家借り
四九六
富五郎印

六軒組
喜三郎印

金左衛門印

吉兵衛印
吉兵衛家借り
新次郎印

四軒組

伊右衛門印

萬右衛門印

久四郎印

長右衛門印

四軒組

八郎左衛門印

與右衛門印

庄左衛門印
與右衛門家借り
辰五郎印

四軒組

市左衛門印

茂右衛門印

長左衛門印

龜五郎印

四軒組

茂兵衛印

勝五郎印

八郎右衛門印

與吉印

四軒組

五左衛門印

次兵衛印

忠右衛門印

岩衛門印

德治郎印

源藏印

六軒組

孫右衛門
源右衛門
小右衛門
藤右衛門
初太郎

五軒組

惣ノ百拾八軒此内本百姓百拾三軒

家借地借り九軒

武藏國豊島郡田端村

百姓代平兵衛
年寄喜三郎
同次右衛門
同安右衛門
同八郎左衛門
同名主半兵衛
同平左衛門
同浅右衛門

天保十亥年三月

同 忠兵衛印

田村權右衛門様
御役所

天保十二年武州多摩郡栗須村御條目五人組連印帳

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」と全く同一にして唯一箇條を減
ぜるのみなれば（恐らくは寫本の際の脱落なるべし）今之を省略す

天保十三年御條目書五人組帳

本書は前掲の享和三年武州荏原郡品川領上大崎村五人組帳と全く同一なり故に今之を省
略す

天保十四年武州多摩郡廻り田村五人組連判書上帳

〔東京府北多摩郡東村山村小町藤三氏所藏〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」と全く同一なり故に今之を省略
す

天保十五年御仕置五人組帳

〔八王子市八幡町壹丁目二見榮之助氏舊藏〕

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」と全く同一なり故に今之を省略す

弘化四年武州東葛西領五人組御改書上帳

本書は前掲の「享保集成絲綸錄」所載「當時村方五人組帳」と全く同一なり故に今之を省略す

嘉永元年越後國頸城郡保倉郷大平村五人組御仕置高附帳

本書は前掲の享和三年同國同郡松野山郷五人組御仕置帳と同一文にして其一箇條を減ぜるは蓋し傳寫の際に脱落せしものなるべし故今之を省略する事とせり

嘉永元年出羽國置賜郡米澤御預所一本柳村五人組御仕置帳

- 一 前々從 御公儀様被 仰出候御法度書之趣彌以堅相守可申候摠而御制法之儀村中大小之百姓下下に至迄一々合點仕候様常々示合爲相背申間敷候並人々己の分限を能々辨知農事家業に無油斷精を入奢之費を相止め連々身體持立候様可相慎旨被 仰渡奉承知候事
- 一 五人組之儀町場は家並在郷は最寄次第に諸事睦敷申合子供並店借地之者下々至迄惡事不仕候様常々無油斷吟味仕申候若不吟味に而惡事御座候は、組中の御懸可被遊候事
- 一 不忠不孝之ものは勿論或は常々之心立惡敷人々之あたをなし喧嘩口論をすき又は夜あるきを好耕作商賣をも不仕五人組相談異見をも用不申者御座候は、組切に吟味仕候而急度可申上候若左様成族圍置御詮儀之上顯候は越度可被仰付候事
- 一 百姓家作之儀輕仕目立候普請仕間敷候衣類之儀者名主は妻子共に絹袖布木綿迄脇百姓は布木綿之外着申間敷候紗綾縮緬之類はるり帶等にも仕間敷候事
- 一 百姓たりといふ共身體宜敷縮緬可着程之者は御役人中に御斷申上御差圖次第に可仕候事
- 一 鐵炮御制禁に候間毎年被仰出候趣急度相守可申候尤當村鐵炮持申もの壹人も無御座候尤猪鹿多く出作物荒申節は御訴申上候得而日切に御借被遊打申儀も御座候摠而御領分に鐵炮無御座候事
- 一 他所より罷越鐵炮打申もの御座候は、召捕御注進可仕候見のがしに仕間敷候事

一 御法度之鶴白鳥は不及申に諸鳥殺生仕間敷候も繩等に懸候共放可申候尤鶴白鳥堅取申間敷候若商賣仕もの御座候は、早速遂吟味可申上候隠置脇より顯候は、名主五人組迄曲事に可被仰付候事

一 人賣買古來より御法度之段急度相守可申候尤奉公人之儀者慥成人主請人相立年季之儀は相對次第に差置可申候證人も無御座候行衛不知者指置申間敷候萬一無宿雲助之類指置候は、其人者申不及名主五人組迄急度御仕置可被仰付候段奉畏候仲々間吟味仕申候事

一 田地賣買兼々御法度に御座候永代賣倍金賣買又は來納質物に入置候ものは賣主は申不及加判仕候名主五人組迄急度曲事可被仰付候間可被得其意候田地年紀質物に入金子借候共名主五人組印形仕證文取引可仕候名主五人組判形無之分者出入仕候共御取上不被成候由奉得其意候事

一 名主不吟味に而判形不仕候は、役所訴罷出候御吟味之上可被仰付候事
一 田並畑耕作之儀第一能き種を撰念を入草を取田の水かけほし諸事時節を考晝夜油斷仕間敷候若不精に而地替り地面より作りをとり申候は、御檢見之節御吟味被成引方御立被成間敷候事

一 御割附出申候は、村中出作之者迄不殘立會拜見仕免割引方等壹人別明白に仕小百姓迄疑敷不存様可仕候御年貢納候名主方より請取手形遣可申候勿論庭帳に念を入付置銘々判形致置可申候不念仕後日に手形無之出入仕間敷候事

一 御年貢皆濟之御書出日限相違不仕年内に皆濟可仕候尤御割付之通割賦無相違仕出入無之段畏書付惣百姓不殘判形可仕置候事

一 御年貢皆濟無之以前米穀糶に他所に不可出候尤御年貢上納不仕欠落仕候もの有之候は、名主組頭其五人組百姓辨納可仕候其上不吟味之仕方に候は、名主組中の御懸可被成候急度仲間吟味可仕旨奉得其意候事

一 御年貢米入置候郷藏常々心懸破損候は、念を入可繕之御米納候以後は番人附置無油斷相守可申候若疎略仕下々敷等薄致御米ふけ或は雨漏濡又は火事盗人等如何様之儀御座候共郷藏に納置候上少も 御公儀様御損失に掛不申郷中に而急度濟可申候

一 御藏近所に火事有之候節所々之ものは申不及隣郷之もの走駆付御藏かこひ可申候若遲參之者有之候は、吟味仕可申上候事

一 御年貢米拵俵拵之儀前々被仰出候趣奉承知候しひな目朽糶くだけ死米青赤米等吟味仕手本米差上相違無之様に可仕候繩俵迄其年之藁に而御差圖之通念を入拵例年之通中札を入外札をさし貫目書記上納可申候自然未進いたし欠落仕候もの御座候は、郷中に而辨濟可申候御藏の納候節繩俵不同有之重俵輕俵有之候得は江戸表に而納候時分惡敷候間是又申合一同可仕旨奉畏候事
一 升目はかなばん斗升を用可申候事

一 御城米江戸廻之節上乘宰領慥成もの郷中より請合之上相究遣可申候請負廻尤他者之者(所カ)に渡切に仕候儀は申不及人を定毎年遣不申吟味仕替々に參可申候事

一 郷藏殘米有之内御急之御用に而も名主壹人に而御藏之戸封を切取出し申間敷各組頭立合封を切御用之分斗取出し又相封仕置可申候事

一村方小入用掛物之儀隨分費無之様心懸連々入用相減候様可仕候則御押切御判有之白紙帳御渡被成候間向後村入用に可割掛り物右御帳面書記割觸可仕候摠百姓も右御判御座候帳不參候は、名主方より觸候分斗に而は割合物一切出し申間敷候何事も御判帳を割合段々付立例年正月申右帳面差上可申候尤右之通帳面相認御役人中御判形取置名主手前にも一通り差置後日出入無之様可仕候事

一御用之儀に付大小之百姓寄合之節猥酒食を給其入用村中に割掛申間敷候尤白紙帳之外別帳之割合仕候は、名主組頭曲事可被仰付候事

一御年貢金銀名主方取集候控帳に閉目に御役人中致印形取置度々納候金銀員數納主之名書付印形可爲致候名主方より金銀請取手形通帳に致相渡控帳に押切印判致遣置後日に出入無之様可仕候事

一御傳馬宿に而無之候得共御用之筋に而御通り被成候御方御座候而御先觸申來候は、早速可申上候尤御朱印人馬は不及申上駄賃傳馬人馬共に少も無滯繼立可申候人馬大分之御觸御座候は、助人馬願上無滯様に可仕候並常々も武家御通り被成候は、誰様御内誰と申仁名苗字承何方より何方に御通りと帳面に記駄賃錢取之人馬繼可申候旨奉得其意候尤賣人共に爲滯申間敷候事

一御用筋之廻狀觸帳何方より參候共晝夜に不限先々に可遣候時付先村より請取手形取置可被申候若油斷仕遲參仕候は、急度可申付事

一御證文も所持不仕者村中に參人馬出申様にと我儘申族又は村次神輿等送來候而明道候様にと申

儀御座候は、押置早速其趣御注進可申上候事

一往還之町場旅籠に而も木錢に而も旅人一夜泊之宿貸し尤疎略仕間敷候但旅人出所名苗字等能々承届帳面に記置可申候若子細候而二夜共逗留申候は、其旨名主組頭に相斷相談之上借し可申候其外村々に而一切人宿仕間敷候然共旅人飛脚之慥成證據有之は名主組頭吟味之上一夜之宿可仕候事

一旅人并飛脚之者煩候事於有之は看病養育致先々參所知候は、案内致迎を呼越可申候若果候は、ば名主組頭立會其もの道具を改封を付置早速御注進可申上候並道路に行倒もの御座候節も右之通御注進可申上候事

一火事有之候は、近所之者手前道具に不構早々かけ付消可申候宿に居合候而手前道具に斗かまひ消不申大火に仕候は、近所之者急度越度に可被仰付候并不依何事に村中に不慮之儀出來候は、村中寄合埒明可申候尤早速御注進可申上候事

一欠落人は申不及他村追放人差置申間敷候并御年貢訴訟に付他村より逃來候百姓御座候は、縦親類縁者たりといふ共宿借申間敷候惣而も僧山伏行人乞食非人等に至迄行衛不知もの共一夜成共宿借申間敷候親類縁者に而中絶通路無之もの一夜之宿も仕間敷候且又出家山伏も僧を語宿借候事數多有之候間宿仕間敷候村中に罷在かねたき乞食非人穢多等にも堅右之趣申付吟味可仕候事

一堂野林等迄無油斷見廻り怪敷もの置申間敷候若怪敷もの有之は追拂可申候若手指仕候は、からめ取御注進可申上候自然切拂退申候は、跡をしたひ落着所見届其斷を遂置可申候左様成族に而

も理不盡に打殺中間敷候事

一 店借并借地之者置候は、其出所の斷無構もの御座候は、請人を取御役人中之得御下知置可申候事

一行衛不知浪人一切抱置中間敷候但親類縁者儘なる證人有之所に住宿爲仕度由緒も有之ものは得御下知指置可申候事

一人請之儀猥に立中間敷然其近所親類又は出所能存慥成者に候は、名主組頭に相斷下請を取請に立可申候自然人請之儀に付出入有之候は、名主五人組立合急度埒明可申候若滯儀御座候は、可申上候事

一 他村より參候手負之儀は勿論郷中に手負候もの御座候は早速御注進可申上候事

一 當村に喧嘩口論有之節は名主年寄五人組之もの出合取捌可申候他所に而喧嘩御座候は、猥走參中間敷候事

一村中盗人有之時分鳴立候は、聞付次第に近郷之者迄馳寄詮儀可仕候又盗人を記被盜候賊物見出し其届有之候は、名主五人組立合途吟味可申候縱如何様之輕もの申來候共疎略仕間敷候若油斷仕盗人欠落爲致候賊物紛失いたし候は、其者は不及申に名主五人組迄曲事に可被仰付候事

一 不依何者に盗人之宿又は同類も有之や常々百姓仲ヶ間念を入吟味仕可申候縱親縁者好身之者に御座候共不慥成ものに御座候は早々可申上候事

一 衣類諸道具金物刀脇差等持主不慥成もの買申儀者不及中に質物にも取中間敷候買申ものにも質

物に取申候にも賣主買主慥成證人を立買取可被下候若不慥成者買又は質物に取候段相聞候は急度曲事に可被仰付候事

一 博奕之儀は勿論賭之諸勝負一切仕間敷候並博奕宿仕間敷候若博奕打申もの御座候は、早速可申上候隱置他所より相知候は、名主五人組迄急度可被仰付候事

一 田畑少しの所も荒間敷候新開切添仕候もの御注進可申上候並永荒川欠ヶ發返し申候は、無隱可申上候若隱置脇より顯申候は、當人は申不及御詮儀之上他隣之者迄急度可被仰付候事

一 掛堀落堀并道を狭田畑に仕出候は、當人は申不及名主組頭迄曲事に可被仰付候事

一 道を附替不申而不叶場所所有之候は、得御下知可申候

一 每度御觸無御座候得共村々請取之道橋念を入作可申候事

一村中に火事出來候は村中火消道具を持早速火元を駆付消可申候事

一 村中之もの不依何事徒黨ヶ間敷儀を企又は神水を呑或は誓紙を致公事出入を好一味同心仕候は、急度曲事に可被仰付候事

一 百姓持高拾石以下之分分地仕間敷候名主持高三拾石以下分地仕間敷候段從前々御法度に御座候彌相守分地仕間敷候併他村より田地買引越候もの又は持高之内分地仕百姓に相立候は得御下知御吟味を請其上に而百姓に立可申候事

一 御立山御林之竹木并下草等迄御公用之外一切伐取中間敷候勿論脇より盜取不申様山守并村中より無油斷見舞可申候事

- 一 百姓之持山四壁に而も目立候木御斷不申上猥伐取申間敷候并諸鳥巢を喰候竹木はたまご有之時分より巢立候迄は御用之儀に而も伐申間敷候事
- 一 洪水之節堤川除不押切様名主組頭村中之もの出合精を入随分かこひ可申候事
- 一 郷村用水引取候儀先規之例次第に兼而相定引可申候若用水能場所御座候は、争論不仕田地渴水に不及内得御下知可申候理不盡に切取申間敷候水論又は□領境等之争論御座候共喧嘩口論仕間敷候左様之節は早速御注進可申上候止事を不得及争論に候共其場は刀脇差をさし弓鍵棒を持罷出申間敷候若相背候は、御詮儀之上曲事に可被仰付候事
- 一 堤有之萱草葭之類一切蒔取申間敷候蒔取不申候而不相叶儀候は、得御下知可申候事
- 一 惣而入會之野山並林に有之木之根一切掘取申間敷候勿論鶴のはしを入山崩之様成儀仕間敷候勿論山林には連々苗木取立候様可仕候事
- 一 山中にて例年焼畑仕候外野火一切付申間敷候自然野火出來候は、村中出合早速消可申候事
- 一 嫉取智取等之儀分限より輕仕乗物乗鞍堅御停止之由被仰渡奉畏候事
- 一 祝言仕候ものに水祝仕儀一切無用に可致旨被仰渡奉承知候事
- 一 祝言振舞家之ひろめ其外一代之内再三無之振舞に而御座候共一汁三菜に不可過之旨被仰渡堅相守可申候事
- 一 齋非時之節も右同斷に可仕候事
- 一 葬禮之時野酒一切吞申間敷候事

▽ 一 獨身之百姓煩に無紛或は幼少に而親にはなれ耕作成兼申節五人組は申に不及村中より助合田畑不荒様仕付介抱可申候事

- 一 新地之寺社建立并小祠念佛題目庚申塚大成石塔向後田畑野山林等にも一切立申間敷候
- 一 不知宗旨道心者之族村中置申間敷候事
- 一 寺社替目之儀或は百姓逃失申もの或は身之上禿申百姓御座候は、御斷可申上候事
- 一 郷中何に而も見せ物之類一切寄申間敷候并大小百姓所に而之儀は不及申市町惣而他所は參候而大酒給申間敷候若相背醉狂仕候は、如何様越度も可被仰付候
- 一 佛神開帳仕候共御注進可申上候尤當村之佛神他所は相移開帳仕候とも得御下知可申候事
- 一 遊女野郎村中に一切抱置申間敷候事
- 一 市町在々に而後々より御帳に付申吞酒屋之分造り來候酒造米石高之外堅爲作申間敷候尤自今以後新酒屋請酒屋共村中に取立申間敷候事
- 一 煙草本田畑に作申儀御制禁之趣相守可申候事
- 一 其村之者に而も他所は奉公久敷仕罷在候歟亦是□他領親類之方は參り年久敷罷在候而在所は罷歸候者御座候は、名主與頭方より先は申遣し惡事不仕少も構無之段書物取候上御注進申上御吟味請差置可申候事
- 一 百姓跡式之儀不依老若に病中に念を入致書置其趣を名主組頭は爲申間加判取置重而出入無御座様可仕候事

一萬御普請仕候人足扶持方其外從御公儀様被下置候物當座に立合百姓の割渡證文取置可申候右之類惣而次合勘定一切仕間敷候事

一惣百姓印形之儀自分に而替申間敷候若落申歟替候而不叶儀候は、名主組頭は御役所を御斷申上脇百姓は名主組頭を申達候而替可申候名を替候共右之通申上五人組宗門帳にも改候名印記置候様可仕候尤御用之儀に而も印形入候節其身煩申歟差合候分も親子之外猥に預遣申間敷候事

一御役人中并御家來衆押買押賣は勿論其外少も御非道成儀御座候は、急度可申上候事

一御役人中並御家來衆金銀米錢衣類諸道具申不及其外酒肴以下少之物に而も音物進上申間敷候並振舞之馳走一切仕間敷旨被仰渡候間堅相守可申候第一百姓のために罷成候段被仰付候所に若相背音物進之由御聞及被成候は、重而不届に被思召候間急度曲事に可被仰付候間儘承届候事

一何に不依貨物借物一切仕間敷候事

一御家來衆御役人中より之御切手まいらす候は、何事被仰付候共少も承引仕間敷候勿論片時も宿借し申間敷候段被仰付奉畏候事

一切死丹耶蘇宗門之儀御制禁に御座候並不受不施非典之宗門村中に壹人も無御座候毎年御改御座候通左様成宗門之者壹人も無御座候則且那寺判形取宗門帳指上可申候事

一切死丹御高札之趣急度相守可申候事

右七拾九ヶ條被仰渡候趣堅相守可申候若違背仕輩御座候は、急度曲事可被仰付候此御條目村々寫置候而何も一々合點仕候様正月五月九月十一月壹ヶ年に四度宛大小之百姓水呑に至迄村中不殘寄

合能々念を入爲讀聞可申候爲後日人別寺請五人組帳差上申候仍而如件

嘉永元年戊申四月

五人組人別此ニ印也

御役所

五人組御仕置帳書終

出羽國羽前米澤御預所一本柳村館之内
申四月ヨリ五月迄ニ書也

五十嵐慶治良書也

嘉永二年武州豊島郡上練馬村五人組書上帳

〔東京府北豊島郡上練馬村長谷川光範氏舊藏〕

御請證文之事

一天保七申年被 仰渡候五人組帳前書并別段被 仰渡之趣共御藏板之上御渡被下御法度之趣月々名主組頭惣百姓等小前末々に至迄讀聞逸々承知奉畏候若右箇條之内聊共相背候もの御座候は、何様之御科にも可被仰付候依之惣連印差上申處如件

名主又藏 武州豊島郡上練馬村
年寄伊兵衛

五人組

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|------|-------|-------|------|-----|-----|------|-------|-----|------|------|-----|------|------|
| 喜三郎 | 紋左衛門 | 佐左衛門 | 甚五右衛門 | 次郎右衛門 | 彌五兵衛 | 門四郎 | 安兵衛 | 權右衛門 | 五郎右衛門 | 傳四郎 | 武右衛門 | 源右衛門 | 忠兵衛 | 武右衛門 | 五右衛門 |
|-----|------|------|-------|-------|------|-----|-----|------|-------|-----|------|------|-----|------|------|

五人組

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|
| 庄勤右衛門 | 惣九郎 | 長三郎 | 市十郎 | 左五兵衛 | 善兵衛 | 善四郎 | 平十郎 | 勤左衛門 | 傳兵衛 | 藤八衛 | 七兵衛 | 藤藏 | 德兵衛 | 嘉兵衛 | 市兵衛 |
|-------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|----|-----|-----|-----|

五二三

年寄

| | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|-------|-----|------|-----|------|------|
| 吉左衛門 | 五右衛門 | 孫右衛門 | 五左衛門 | 太左衛門 | 五郎右衛門 | 傳三郎 | 平左衛門 | 權兵衛 | 八左衛門 | 四郎兵衛 |
|------|------|------|------|------|-------|-----|------|-----|------|------|

五人組

| | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|-----|------|------|----|------|
| 武右衛門 | 長右衛門 | 文左衛門 | 源左衛門 | 八郎兵衛 | 吉兵衛 | 甚右衛門 | 長左衛門 | 藤助 | 定右衛門 |
|------|------|------|------|------|-----|------|------|----|------|

五二二

五人組

傳兵衛
藤助
平兵衛
源兵衛
金十郎
長四郎

五人組

伊左衛門
太平治
平十郎
平右衛門
安左衛門
又六郎

五人組

門十郎
儀八
治兵衛
九右衛門

五人組

三左衛門
七郎兵衛
太郎左衛門
山三郎
五郎右衛門
八郎兵衛

五人組

惣左衛門
與惣右衛門
長左衛門
金左衛門
新左衛門
太左衛門

五人組

彌右衛門
傳四郎
重兵衛
伊兵衛

五人組

又藏
孫右衛門
傳右衛門
伊助
岩藏

五人組

長兵衛
治郎左衛門
長右衛門
長三郎
藤左衛門
武右衛門

五人組

五左衛門
半兵衛
三太郎

五人組

金十郎
彌兵衛
三郎
安右衛門
喜三郎
市郎右衛門
市郎兵衛

五人組

新之丞
久左衛門
九兵衛
彌治右衛門
奎兵衛
勘右衛門

五人組

權右衛門
友右衛門
喜兵衛
源太郎

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-------|-------|------|-------|------|-----|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 市三郎 | 金三郎 | 由兵衛 | 治郎兵衛 | 兵左衛門 | 五左衛門 | 久三郎 | 太兵衛 | 茂右衛門 | 平兵衛 | 作十郎 | 五郎右衛門 | 左五右衛門 | 長右衛門 | 七郎左衛門 | 彦右衛門 | 彦兵衛 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|------|-----|-----|-------|-------|------|-------|------|-----|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 甚兵衛 | 門三郎 | 嘉兵衛 | 清五郎 | 市郎左衛門 | 惣左衛門 | 七兵衛 | 平左衛門 | 安左衛門 | 六兵衛 | 半五兵衛 | 甚五兵衛 | 源兵衛 | 仁兵衛 | 八郎兵衛 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 忠三郎 | 平治郎 | 庄兵衛 | 新十郎 | 新平郎 | 太郎兵衛 | 源太郎 | 彌四郎 | 市左衛門 | 元右衛門 | 長太郎 | 喜四郎 | 新四郎 | 權四郎 | 三郎兵衛 | 新左衛門 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|
| 五人組 | 五人組 | 五人組 | 五人組 | 庄治郎 | 八兵衛 | 佐源太 | 文右衛門 | 宇右衛門 | 源治郎 | 門三郎 | 半之丞 | 久太郎 | 清左衛門 | 源左衛門 | 清兵衛 | 仲右衛門 | 佐右衛門 | 平七郎 | 源太郎 | 金兵衛 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|------|-----|-----|-----|

五人組
 源 平 十 郎
 覺 左 衛 門
 市 右 衛 門
 七 郎 右 衛 門
 庄 兵 衛
 庄 三 郎
 門 三 郎
 彌 平 治 郎
 武 兵 衛
 長 三 郎
 長 左 衛 門
 吉 三 郎
 彦 兵 衛
 長 介
 與 左 衛 門
 音 松

五人組
 五 郎 左 衛 門
 小 市
 市 郎 左 衛 門
 喜 平 治
 權 七
 平 七
 平 藏
 佐 五 兵 衛
 平 三 郎
 太 郎 右 衛 門
 市 三 郎
 喜 兵 衛
 奧 右 衛 門
 五 郎 右 衛 門
 宇 右 衛 門
 安 兵 衛
 半 右 衛 門

五人組
 定 右 衛 門
 與 兵 衛
 太 郎 兵 衛
 平 右 衛 門
 吉 兵 衛
 淺 右 衛 門
 嘉 右 衛 門
 平 左 衛 門
 伊 右 衛 門
 甚 右 衛 門
 市 郎 右 衛 門
 彌 五 兵 衛
 三 郎 右 衛 門
 重 右 衛 門
 長 十 郎

五人組
 武 右 衛 門
 庄 右 衛 門
 三 治 郎
 權 兵 衛
 藤 五 郎
 宇 兵 衛
 宇 左 衛 門
 平 左 衛 門
 佐 兵 衛
 市 兵 衛
 藤 左 衛 門
 金 左 衛 門
 伊 左 衛 門
 吉 三 郎
 仁 兵 衛
 甚 三 郎
 作 右 衛 門

五人組

傳三五郎

五人組

定右衛門

五二〇

五人組

佐五兵衛

五人組

善兵衛

五人組

三右衛門

五人組

五兵衛

五人組

作十郎

五人組

傳右衛門

五人組

勤左衛門

五人組

佐兵衛

五人組

庄兵衛

五人組

市太郎

五人組

三太郎

五人組

德右衛門

五人組

源太郎

五人組

七兵衛

五人組

甚左衛門

五人組

權兵衛

五人組

半四郎

五人組

庄三郎

五人組

與治右衛門

五人組

茂右衛門

五人組

伊三郎兵衛

五人組

七郎右衛門

五人組

伊兵衛

五人組

紋右衛門

五人組

甚五兵衛

五人組

孫元右衛門

五人組

伊左衛門

五人組

元右衛門

五人組

長右衛門

五人組

三右衛門

五人組

音右衛門

五人組

孫右衛門

五人組

伊左衛門

五人組

伊兵衛

五人組

新右衛門

五人組

市郎右衛門

五人組

新右衛門

五人組

市郎兵衛

五人組

三太郎

五人組

安兵衛

五人組

勤十郎

五人組

權兵衛

五二一

五人組

平伊三郎兵衛

五人組

久右衛門
傳左衛門
七郎兵衛
八右衛門
半右衛門

五人組

市右衛門
次郎左衛門
忠右衛門
藤四郎
藤右衛門
清左衛門
四郎左衛門

五人組

平兵衛

五人組

平左衛門
三郎兵衛
長右衛門
平右衛門

五人組

勘兵衛
權四郎
定右衛門
兵左衛門
善九郎
久治郎
仁左衛門
喜右衛門
四郎兵衛
平左衛門
三郎兵衛
長右衛門
平右衛門

五人組

長左衛門
八郎兵衛
平左衛門
儀左衛門
傳左衛門
七右衛門
甚左衛門
重兵衛
庄三郎

五人組

吉兵衛
七兵衛
三郎兵衛
紋四郎
文左衛門
茂右衛門
安右衛門
庄左衛門

五人組

市右衛門
次郎左衛門
忠右衛門
藤四郎
藤右衛門
清左衛門
四郎左衛門

五人組

兵三郎
與左衛門
利右衛門
甚五右衛門
淺右衛門
八右衛門
市郎左衛門

五人組

源右衛門
七郎兵衛
四郎兵衛
新七郎
半右衛門
惣右衛門
治郎兵衛
七兵衛

五人組

勘兵衛
權四郎
定右衛門
兵左衛門
善九郎
久治郎
仁左衛門
喜右衛門
四郎兵衛
平左衛門
三郎兵衛
長右衛門
平右衛門

五人組
 惣兵衛
 金左衛門
 久右衛門
 作右衛門
 五郎右衛門
 甚五右衛門
 治左衛門
 定右衛門
 吉兵衛
 半兵衛
 久兵衛
 勘右衛門
 五郎兵衛
 九右衛門
 新七郎
 三十四郎

五人組
 惣右衛門
 佐兵衛
 彦左衛門
 勘左衛門
 作左衛門
 門兵衛
 七郎右衛門
 新兵衛
 太左衛門
 源七
 權兵衛
 新左衛門
 門左衛門
 作兵衛
 孫兵衛
 藤左衛門

五人組
 伊右衛門
 六兵衛
 佐兵衛
 武右衛門
 武右衛門
 五郎左衛門
 與七
 清兵衛
 清治郎
 長左衛門
 權四郎
 覺左衛門
 惣七
 文四郎
 傳四郎
 彦右衛門

五人組
 市郎兵衛
 治郎左衛門
 重左衛門
 清右衛門
 八兵衛
 重兵衛
 半右衛門
 助右衛門
 佐五兵衛
 佐五右衛門
 所左衛門
 喜右衛門
 利右衛門
 長兵衛
 文左衛門
 又七

五人組
 平 清 定 彌 長 新 安 權 惣 平
 右 三 兵 五 右 兵 十 兵 兵 藏
 衛 郎 衛 衛 衛 衛 門 衛 郎 衛 衛
 寺 院 深 光 福 松 寺 寺 寺 寺

五人組
 與 六 源 甚 彦 七 彌 權 彌 三 久
 右 右 太 左 兵 兵 兵 右 右 兵
 衛 衛 郎 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛 衛
 門 門 郎 門 門 門 門 門 門 門

五人組
 甚 半 久 權 長 長 源 六 奧 四 山 音 治 治 惣 佐 五
 右 四 右 左 右 右 治 兵 右 郎 三 右 右 右 右
 衛 衛 衛 衛 衛 衛 郎 衛 衛 衛 郎 衛 衛 衛 衛
 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門 門

五人組
 勤 長 又 太 久 重 治 善 留 孫 市 又 五 權
 兵 三 八 郎 郎 三 郎 兵 兵 五 右 三 治 郎 郎
 衛 衛 郎 衛 七 衛 衛 衛 衛 郎 門 郎 郎 郎 郎
 五二六

成就院
大熊善太郎様
御役所

嘉永三年武州多摩郡下恩方村五人組書上帳

一前々從

公儀被 仰遣候御法度之趣は不及申上先々支配方申附置候諸法度堅相守可申事

一切支丹宗門兼々被 仰出候通彌以無油斷可相改事

一御林竹木之儀は不及申百姓持山たり共無油斷猥に伐採申間敷候事

一御法度之田畑永代賣并頼納賣買仕間敷候田畑賣物に取引仕候共年季を定め名主組頭五人組加判に而相極可申事

一借地店借之ものは不及申召仕之男女共儘成請人寺請狀無之候は、差置申間敷惣而不審成もの早速注進可仕事

一附歌舞妓操其外見世物之類留置候儀は堅可爲停止其外胡亂成ものは勿論無宿體之者一夜之宿貸間敷候事

一御年貢納方之儀日限制賦申觸次第無遲滯相納年之内可致皆濟候若相滯過怠等申付候而は村方之

痛にも相成候條其心得以急度上納可致事

一火之元常々可入念若火事有之候は、早速欠付可消之近火に罷出ざる輩は品により可爲越度事

一盜賊有之段聲に立候は、早々出會召捕可申候事

一博奕三笠附其外賭之勝負一切仕間敷候事

一喧嘩口論等無之様平日急度可相愼事若萬一右様之儀有之手負死人等出來候は、押置可及注進事

一往還之旅人は不及申乞食非人等に至途途中を紛れ候者有之候は、介抱いたし出所相尋病氣候は

ば醫師相掛け手當いたし置早速注進之上可請差圖事

一百姓水呑に至迄農業無怠相勵遊興々間敷儀は勿論大酒等決而仕間敷候若百姓に不似行跡有之農業疎にいたし身持不宜之者有之候は、急度曲事に可申付事

一徒黨強訴之儀彌以堅御法度若徒黨を始無筋目儀を申立候もの有之は隠不置早速可申出事

一附百姓々願之筋有之候其名主組頭申出奥印を以可頼出村役人加印無之頼之筋決而取上不申品により答可申付事

一神事祭禮佛事婚禮祝會等分限不相應之奢々間敷儀不仕隨分物入等無之様手輕に可相營事

一附仕來之神事は格別新規之祭禮取立申間敷候他所を送來候流行神決而請申間敷候事

一百姓帶刀は不及申浪人者等村方に差置申間敷候前々由緒有之帶刀いたし候ものは先支配方申送りも有之公儀へも御届け申上置候事に付堅帶刀仕間敷事

一

一

一

一

一

一新開切添其外新規に見取等可附所有之は少分之場所たり共早速可申出候其外起返し之場所隱置申間敷候萬一隱置後日及露顯候は、地主は勿論村役人迄可爲越度事

一公事出入は村方困窮之基に候間常々厚申合諸事念入出入等無之様可仕候無據譯にて及出入候はば村役人共双方の意見差加へ成丈内々に而事濟候様可取計迄其上にも難相濟節は可申出候事

一村入用之儀隨分途吟味可成丈省略多分に不相掛様可取計候聊品たり共惣百姓承知之上可致割賦候小入用之儀に付後日出入等無之様村役人共儘に入念正路に可相心得事

附村役人共江戸表其外他所へ村用にて罷出候節用向相濟次第早速歸村致し無益之入用相掛け申間敷候事

一家來共廻村之節先觸通人馬差出無益之人馬差出申間敷候且賄之儀有合之野菜を以一汁一菜に而其外馳走ケ間敷儀決而仕間敷候事

附家來共に至迄輕き品たり共音物一切無用可仕事

一近來世上奢侈之風俗に相成無益之費も多く去る丑年以來從公儀も追々御觸も有之通享保寛政之御趣意相守萬事質素節儉を專一として無益之費をはぶき何事も實意專一に心掛け可申事

一此度知行被 仰付候付而は是迄御料所之振合に不拘諸事是迄之知行村々之振合准し厚く申合かさつケ間敷儀無之様可仕事

右之條々一事も無相違可相守もの也

右被 仰渡候御法度之趣逸々承知奉畏若心得違之もの有之一事たり共違犯仕においては如何様之曲事にも可被仰付候爲後日惣百姓連印御請書差上申處仍如件

御知行所

武州多摩郡 下恩方村

一春季居出替多く候間宗門念入改邪蘇宗門無之様可被召抱候事

一邪蘇宗門を以密々有之由相聞候間不審成者不有之様面々領内無油斷念入可被申候

一領内相改不審成もの不差置候様若邪蘇宗門隱置他所於顯に而は五人組迄可爲曲事旨印形取立毎年改候通り具顯に切支丹奉行に可被相渡候其支配人より組中書付取置面々相改候書付頭支配迄可差出候其支配人何れも相違無之旨一紙を以切支丹奉行に相渡し候事

附邪蘇宗門御制禁高札曆年□文見へ兼候におゐては新敷可被立替候事

右御書付之通前々宗門之儀郷中穿鑿被仰付候處道心者行人不殘相改候處疑敷者壹人も無御座候萬一不吟味いたし宗門之儀訴人脇を罷出候は、其村名主五人組迄如何様曲事にも可被仰付候爲其銘銘相改候間連印帳面差上申處仍而如件

嘉永五年武州豊島郡田端村御法度書五人組帳

〔東京府北豊島郡瀧野川町淺賀長兵衛氏所藏〕

本書は前掲の天保十年同村御法度書五人組帳と同一なるを以て之を省略す

嘉永六年下總國船橋村御仕置帳略記

一五人組御仕置帳面に兼て被 仰出候通大小百姓五人組を極置何事に寄す右組合の内にて御法度相背候儀は不及申博奕其外惡事致者有之候は、其組より早速村役人迄可申出候若隠し置候を脇より申出候は、其者は御褒美被下五人組の者名主共曲事可被仰付旨一同承知奉畏候惡事仕候者申上候は、自然同類親類縁者杯後日にあだをなすべきと氣遣に存候は、隱密に可申上由是又奉畏候諸事致吟味聞出し次第村役人へ可申出候并に百姓家抱前地店借の者迄不殘五人組を極め判形取置可申候若し五人組にはつれ候者御座候は、其者は不及申名主組頭迄曲事可被仰付旨被仰渡有之事

右の趣堅相守組入無之者有之候は、隣家にて供吟味致村役人へ早速可申出候若隠し置候者相知れ候は、村役人より御訴申上重き御科可被 仰付事
 一御年貢一件の儀は不及申惣て金銀米錢無手形取引仕間敷候事

一名主年寄印形は御役所へ訴へ御帳面に付并に百姓は名主へ見せ名主方にて帳に付其印形用ひ可申候印形致候節外人へむざと判を預け遣し申間敷候
 一御年貢皆濟不仕以前他所へ米出し申間敷若能米を賣替惡米を御年貢に納候は、當人は不及申名主五人組迄も何様の曲事にも可被 仰付候并に御年貢御取立の節あら粉米等無之様米拵いたし繩俵の拵迄諸事入念郷藏へ積置御差圖次第納可申事
 一御年貢米江戸御藏へ納候儀村中相談仕才料を付一村限りに納可申候船にて越候は、縦大口に候共壹艘に積申間敷候隣郷寄合積合せ相巡し可申候若路次にて御米紛失致候か如何様の事にて減米立申候共百姓共辨可申候
 一御年貢御割附惣而百姓寄合拜見仕其年の損毛引方共明鏡に割渡御割附の表惣百姓判形可仕候自然名主壹人にて割を致し候は、當座に可申出候事
 一年々御年貢割合候節名主年寄惣百姓寄合御割附の表を以勘定相違無之様に割を致し勿論反寄米永々員數委細に相記名主方より皆濟手形押切致し百姓方へ銘々相渡可申事
 一御年貢米永共御取立の節村役人より定日觸出し候は、日限無相違急度相納可申若等閑に致延日にをよび御上納御差支に相成候は、當人は勿論五人組迄夫々科可被申附事
 一郷藏に米積置候節は郷中の者預り晝夜番を附候上盜人又は御米ふけ候か何事によらず損米御座候共急度辨へ差上可申候并びに御藏近所に火事出來候は、村中は不及申隣村迄男女に不限欠付郷藏を防可申候尤防かたき趣候は、早速御米取出し可申候若御米燒失致し候へば御吟味の上辨

納可被 仰付事

- 一 百姓は不及申出家山伏虚無僧鉦たつき穢多乞食非人等盗人の宿を致又は同類も有之間常々致詮義あやしき儀も有之候は、可申出事
- 一 在々所々名主百姓の處へ盗人入候は、雜物不盜候共其譯申上御帳に附可申候勿論無心許もの有之候は、親類縁者好身のものに候共遠慮可申上事
- 一 盗人の宿又は盜候雜物見出し其宿有之候は、名主五人組立會詮義仕可申上候縦令如何様の者申來候共疎略に仕間敷候若致油斷盗人欠落被致候か所之雜物紛失いたし候へば其宿は不及申名主五人組曲事可被 仰付御定之事
- 一 男女にかぎらず欠落もの郷中へ參り候は、捕置早速可申上候猶以先々より構有之よし届有之ものは寄合詮義いたし申上得御下知可申候惣てあやしきものは不及申壹人もの一夜の宿も借申間敷候
- 一 親類縁者好身のもの他村より浪人致參り候は、何の障なく不苦ものたり其名主并に年寄五人組立會穿鑿いたし證文を取差置可申事
- 一 近年百姓の耕作を荒し穂ものせんざいものを盜取渡世同様に致候者有之由然る所盗人を見付候ても内々にて金錢を取相對濟しに致候ものも有之又は氣の毒にぞんじ見逃し候者も間々有之よし大切の耕地を荒され見逃し又は相對濟し等致候段不埒の至り以後右様の取斗致し候ものは盗人同様に科可申付候依て心得違無之様厚相辨盗人見附次第早速村役人へ可申出事

- 一 手負之者他村より參り候儀は不及申村中に手負之者有之候へば當座に可申出事
- 一 并に村中に行倒相果候は、是又早速御訴可申上候勿論行倒相煩居候は、乞食非人にかぎらず其名前并に親類國所宿元等聞届看病致し置御訴可申上候尤相果候共其旨早速可申上候事
- 一 何ものによらず人をなやめ立去り候もの有之候節は所の者并に隣郷のもの共出合留置早速御注進可申上候若切拂へ逃去り候は、所々の郷中より出合何方迄も附したへ落着所へ渡可申理不盡に打擲いたし申間敷候事
- 一 田地屋敷年季定質物に入金銀預り候は、名主五人組親類加判證文を取所持可申但年季の儀は十ヶ年限り永年季に書入申間敷候永代賣買御法度に付堅相守可申事
- 一 享保元中年以來質地年季明十ヶ年過訴出候ても御取上げ無之候金子有合次第可相返旨の證文有之質地質入歳より十ヶ年過訴出候ても御取上無之旨被 仰渡奉畏候事
- 一 質地取主御年貢不出質地置主より田地無之候ても御年貢諸役務候もの有之よし相聞不届の至に候右の趣急度相守質地取候ものより諸向相務可申事
- 一 田畑質地證文に名主加判無之又は名主より差出し候質地にて合名主年寄組頭等の役人加判無之證文其外地主より御年貢より御年貢諸役を勤金子方にては御年貢諸役不勤質物の類前々より御停止に候所右通不埒成證文を以訴出候儀有之間敷彌質地證文相極め候節は念を入右體之儀無之様可仕旨被 仰渡候事
- 一 御朱印御傳馬并に人足の儀少しも無滯急度差出し可申惣て馬繼宿に従御公儀様諸事被仰渡候御

法度の趣相守御定の人足無滞急度差出し可申往來の衆中晝夜にかぎらず泊候節或は旅籠或は木錢にて宿借被成候ても手支不申様はせ廻り駄賃御定之外増錢取申間敷候勿論往來之衆中へ馬士ども慮外不仕候様常々心懸申付可置事

附り御家中衆御用に而在々へ御巡りの節御役人之手形を以人馬差出可申無其儀自分之斷に而壹疋壹人も差出申間敷候

一御公儀様御用之儀何方より申來候共宿々は不及申何れの村々にても縦令刻附無之候とも少しも遅滞仕間敷候勿論御急之配府先々に送り相届け日附刻限違候は持送りのものは不及申名主年寄百姓曲事に可被 仰付候御定之事

一落井堀掛井堀に請を伏或は魚を取候とて井堀を築留要惡水之障りに成候儀いたし候へば曲事可被 仰付候御定之事

一掛井堀落井堀并に道をせばめ田地を仕立作毛仕附申候へば當人は不及申名主五人組迄曲事可被 仰付候御定之事

一博奕之儀堅御法度被 仰付奉畏候其外に而も賭の諸勝負一切仕間敷候もし相背申もの御座候はば當人は不及申名主年寄五人組共に如何様之曲事にも可被 仰付候御定之事

一百姓の子供耕作を不精にいたし遊事に掛り不似合之風俗をまなび候儀堅仕間敷旨被 仰渡奉畏候事

一三笠附博奕重き御法度之條密々にても右博奕致し候者有之候へば當人は勿論名主年寄一村中共候事

に急度御科可被 仰付旨彌堅相守べき旨奉畏候若相背候は曲事に可被 仰付御定之事

一耕作をも致さず商賣をも不致又は遠國へ切々に相越候者并に博奕其外賭の諸勝負を好み不似合の衣類を着し不審なるもの於有之は早速可申出若隱置其者惡事をなし脇より顯におゐては其者并に親類兄弟之儀は不及申名主年寄五人組まで御穿さくの上科の輕重に隨ひ御科可被 仰付候惣而一夜泊りに他所へ罷越候は其行所并に用事之子細名主五人組へ相斷可罷越事

一村中に火事出來申候は村中之もの火消道具を持駈付精を出し消可申若出不合もの有之候はせんさくの上曲事に可被 仰付御定之事

一地借店借前地のもの差置候は念を入請人を立證文を取差置可申若無其儀差置惡事いたし候はば地主家主之儀は不及申五人組まで曲事可被 仰付候御定之事

一男女奉公之請狀猥に立申間敷候若立候は不叶子細に候は其者國所親類等を聞届下請を立請人に立可申無下請猥に立候は何々様曲事にも可被 仰付御定之事

一奉公人給金地代店賃滞等の儀御年貢同様相心得等閑に不致早速埒明急度濟方可致事

一諸浪人を抱置候儀親類縁者又は不逊ものに候は其品名主年寄五人組へ爲申間合點之上證文手形を取早速御役所へ申上御帳に付差置可申勿論他所へ宿替致候は其段申上御帳を消し可申候無其儀宿仕候は如何様の曲事にも可被 仰付御定之事

一御鷹場にて鷹を遣ひ候衆有之候は相改何方迄も付したひ宿を聞届御鳥見衆へ御注進可申繼餌刺にても御法度の鳥を取候は留置御鳥見衆へ御注進可申事

附り百姓共におゐて何鳥にても鳥を取候儀は決して不相成事

一在々におゐて遊女之類御法度被 仰付候通堅相守り如何のもの差置申間敷候もし相背差置候はば其者は不及申家主五人組共曲事可被仰付御定之事

一絹布寸尺壹反に付大工かねにて長三丈四尺幅壹尺四寸木綿壹反に付長三丈四尺幅壹尺三寸可仕右より不足にかけ出し申間敷事

一切支丹宗門御制禁の儀御高札之面急度相守り可申候自然不審なるすゝめ致候僧俗有之候は、村中の儀は不及申他所へ参り候共捕置可申隠置候は、一村のもの不殘曲事可被仰付趣度々被 仰付候御法度之趣無油斷吟味仕惣て宗門之儀は店借り出店衆前地之者召仕等に至迄寺請狀取置念入可仕事

一以前より鐵炮御免の處は格別其外於在々鐵炮所持不可致自然相背無益の殺生致し不限晝夜山野に住居の者有之に於ては早速可申出候縦同類たりとも其科をゆるし御褒美可被下候隠し置他所より顯におゐては曲事可被 仰付御定之事

一於在々馬盗人有之旨相聞馬賣買之儀は體成口入なくして猥に馬賣買致間敷事

一名主百姓共田地持大積り貳拾石より拾石以上迄夫より内持候者は高猥に分ヶ申間敷事

一耕作を常々精を出し作之間は男女共相應之かせぎを致し可申候若作に不精にて徒にくらし候者有之は五人組の内にて互に吟味致し異見可申候不用者有之候は、早々名主へ申出名主年寄にて申爲聞彌承引不致候は、御役所へ可申上候若隱置脇より顯候は、名主年寄五人組迄曲事に可被

仰付御定之事

一神事祭禮佛事彌輕可致執行候惣て寺社山伏法社衆に萬端かるがるに可致候御定之事

一祝儀不祝儀之節餅赤飯其外重詰配り物等の儀親類之外他村他町は不及申隣村たり共決して出し申間敷事

一諸祝儀之節組合親類外集合酒盛等致間敷事

附り佛事之節も右同様相心得親類組合限りに取斗可申事

一稻荷祭り初午之節も五人組に限らず祭り致大勢寄集酒食等致間敷事

一神事祭禮之節も右同様心得多分物入不懸よふ萬事質素手輕に可被取斗事

一近年村々におゐて若もの共儀仲間と唱諸事に増長致中には無據用事にて他行政候者有之節右仲間延引致候杯不宜取斗致候趣相聞不埒之至に候畢竟若もの仲間等の儀は御法度の筋にて何方へ相聞候ても面々身分にも抱り候程の儀厚相心得以來仲間と唱候儀は不相成旨とくと相辨右様の取斗決て致間敷事

一日侍月侍等に年寄大勢寄集酒食致し無益失墜を掛以の外なる儀に付以來は質素第一に取斗博奕中山踊喧嘩口論は不及申萬事神妙に可相慎事

一村々に於て稻荷祭り初子の砌村中集横行に酒食致候趣不宜儀に付向後組合限りに相定物事質素に致手輕に取斗可申事

一村々に於て年若の女房とも子安講と唱婦人の身分として大勢寄集米錢を差出し酒食いたし候上

中には惡事に携り女の道にふれ候儀も有之哉の旨一體婦人と申者は歳若の身にては宮寺へ参り候事可恐程の儀を不顧夫をないがしろに致講を取結び勝手我儘に酒食致子安講と事寄不宜身持不埒の儀に付以來右様講ヶ間敷事決て不相成候事

一 寺々へ老若の婦人齋と唱大勢寄集酒食等致し中には聾嫁のざんげんせけんの噂聞苦しき嘶しを致し候趣末には人の中をあしく致す基にも可相成儀に付以來老婦斗りに限らず念佛一三昧に心掛人のざんげん世間の噂杯致候儀能々心掛可相成事

一 百姓町人の衣類絹袖木綿麻布此内を以分限に應じ妻子共に可被致着用此外無用之旨被 仰渡候事

附り惣て下女下男木綿麻布にかざらず帯も同様の事

一 有來の外新規に小さきほこら或は佛像建立堅仕間敷旨被 仰付候事

一 在々にて神事佛事其外何事によらず新規の像堅取立申間敷并に狂言操堅仕間敷候旨被 仰渡候事

一 近年在々に於て中山踊と唱専流行致老若男女に限らず農業渡世筋を等閑不埒之儀に付以來右様河原者に類し候仕業に携候義不相成一體天下の百姓たる者河原ものに眞似事心をうつし家業に怠り親を捨て遠國へ立去り候族も有之畢竟狂言操等に類し御法度筋にも抱り候儀に付急度相止可申事

一 在々用水掛引井堀之儀川中にせきを張水を引分け候仕方之儀は川下之要水不足にも構なく手前

勝手にまかせ仕置候儀及出入候右類双方致相對普請可仕旨被 仰渡候事

一 惣して出入申出候儀證據なく非分儀をも何角申紛し又は證據有候儀も年を経其事を紛かし及出入候儀有之畢竟村方困窮の元に成不届に候間右體の儀堅申出間敷候旨被 仰渡奉畏候もし相背候は、曲事に可被 仰付御定之事

一 在々にて婚禮祝儀有之節石打致し又は酒をねだり吞其外狼籍なる儀有之由不届に付右體の儀急度相成可申若右様の儀於有之者詮義とげ曲事可被 仰付事

一 近年弔葬式の節分限に不應酒食等出し横行なる馳走致候儀不宜以來質素第一に致し馳走ヶ間敷儀不相成近村より悔に参り候者も弔の場所にて酒食致べき事に心得居甚以不行届儀一體葬式は愁歎の事にて畢竟不淨之場所故可有心ものは茶たばこ迄も遠慮いたし可申はづの所飯酒を十分に食べ候儀愁の場所にて右様なる儀人情にはかけたる所業向後得と相辨愁歎之場所にて縦馳走出し候共酒食致申間敷事

一 御公儀様御仕置にて江戸拂又は追放になり候者御構の場所へ隠置罷在候儀有之由不届至極於相顯は隠置候者も當人同様の御仕置家主五人組名主年寄等迄重き咎被 仰付候事

一 御領所國々百姓共御取箇并に夫食種貸とも外願の儀に付強訴徒黨之儀堅御停止之所近來右體之筋に付御代官陣屋へ大勢相集致訴訟候儀も有之不届至極に候自今以後嚴敷吟味之上重き罪科可行條被 仰渡奉畏候事

一 喧嘩いたし打擲に逢ひ候者打れ損疵請候は、其者自分療治致其上全快迄家業も相成間敷彼是難

儀之筋深相辨喧嘩口論等決して中間敷事

附り喧嘩致し人をあやめ又は疵付候は、其段村役人より早速御役所へ御訴申上嚴敷御科に被

仰付候様取斗其節の難澁を得と勘辨致右様之儀能々可愼事

一他村之者相手に致喧嘩に及候節打擲に逢ひ候儀は勿論疵請候ても自分にて療治可致若他村の者

へ疵付候は、詮證文爲差出其上療治養育之儀は不及申全快まで渡世筋差止め可申事

一村中に一件出来村役人差添料之儀宿飯料願人にて拂晝食其外爲手當一日銀三匁つゝ爲差出尤も

腰掛入用御呼出之節は願人諸事賄可申事

一大風雨にて渡世相成らず候節は讀書十路盤又は謠等の稽古可相嗜事

一田畑小作の儀耕方をろそかに致地所惡地に相成地主へ上げ地致し候族も有之よし不埒の至向後

未熟の作方致間敷こやし物直安の品を重に用ひ後々の愁にも不抱當分欲情にはまり田畑惡地に

成行地主難澁にも構へなく捨作り致し候者有之候は、早速地主より取上げ可申付且村役人共

田畑へ折々見廻り魚略の作付致もの共は急度答可申付無此上大切の御田地龜末に取扱ひ候て

は

御公儀様へ對不相濟趣厚相辨こやし類能々念入貝類は決して不用大切に耕作可致事

一忠孝の兩道衣食住の三道片時も不怠様に心に可懸事

一草木虫ちく類に至るまで生あるものに欲なきものはなし此儀を辨へ萬事可有通りに取行ひ道に

ふれたる取斗決して致す間敷事

右ヶ條之通急度相守可申事

嘉永六癸丑年三月

當役年寄

佐五右衛門印

嘉永六年五千石領新田村百姓五人組帳

五人組帳御條目之事

一從 公儀被 仰出候御法度は不及申御條目之趣彌堅相守御法度之義不相背候様可仕事

一累年堅被 仰付候切支丹宗門之義は不及申人々之風俗佛法之勸様常體に替り不審成者に候は、

譬親類縁者たり共早々可申上候隠し置後日脇より於顯は當人五人組共可爲越度事

一五人組は最寄次第に組合せ相互に惡事無之様無油斷組中常に可令詮議事

一百姓家業第一に相勵み可申候若し惡心以爭論好利欲を構へ偽巧み人之害をなし不孝之輩等於有

之は急度可爲曲事條可申出事

一譬親類縁者たり共年久敷不通し而參り候者一夜成共留置申間敷候萬一無據子細有之は名主五人

組に相斷り於合點には留置可申候事

一大鳥之義は不及申に小鳥以下都而無益之殺生不可致候事

一 盜人火之用心のため壹ヶ月四五度宛日時不定夜廻り致翌朝は其夜之様子名主所に相届け帳に付可申事

一 他領は不及申に御知行所之内たり共縁組致候は、第一宗旨之義遂穿鑿可申上候勿論金銀差添縁組致候は、以後出入に不相成候様儘成證文爲取替縁組可致候隠し置脇より於顯者可爲曲事

一 博奕賭之諸勝負御制禁に候間堅相守御知行所は不及申他所に罷出候共御法度相背申間敷候若し相背候者有之ば當人は不及申名主五人組共可爲曲事

一 附常々耕作も不致商賣細工等之外家職之勤不仕者有之者村役人遂吟味を其趣可申出兼而被仰付置候御筋筋彌堅相守可申事

一 自分用に而行先に一夜成共泊り可申候は、五人組に相斷可參候事

一 盜人有之近所に而なりをと立候は、隣郷たり共早々出合盜人捕に可申候少も見通し開遁し仕間敷候事

一 毎年年貢金銀米錢雜穀共納候は、其日之庭帳に印し致印形名主方より手形取可申候若し手形取不申後日六ヶ敷義出來候共百姓損に可被 仰付事

一 一年貢皆濟無之内は米穀根に他所に不可賣拂候若し年貢未進致し欠落候者有之は五人組辨納たるべく間初秋より年貢之義は五人組限り可遂吟味若し欠落も可仕體に見請候は、心付早速可注進令油斷致欠落候は、名主組頭五人組共可爲越度候事

一 御免之外諸勸進一切村内に申間敷事

一年貢米拵之義荒糶割米死米青米等無之第一升目不切様斗立俵拵に至迄無依估量辰念入可致吟味事

一 郷藏に年貢米詰置候内は番人を付置可申候若し紛失等有之節は其村中可爲辨納之條常々申合せ火之用心随分可申付若郷藏近所に出火有之は其村中出合御藏無恙様可致候勿論番屋にて煙草一切可爲無用事

一 郷中之堰之もり水無之様常々念入可致普請候萬一大雨洪水之節は堰近所之者並村役人見廻り堤不切様可致候用水掛引之節は爭論無之様常々可申合候水引仕候は、毎年埋り候場所普請可申付事

一 用水落候而ごみ水残り候を人足道具以泥水に致しごみ吸之こまを抜泥水流し候得ば堰埋り不申泥水掛り候田も宜敷兩全之義に付何れにも用水は大切之義に付可順時宜事

一 諸作第一種を撰で耕作可念入候年寄て妻子無之幼少に而親に離れ或は壹人者等有之は村役人五人組常々可致介抱候惣而獨身者相煩候は、五人組は不及申村中に而助合田畑荒し申間敷事

一 附耕作不精に而他に替り致不作候もの有之は過怠可申付事

一 隱居脇小百姓たり共五人組に外れ候者所に置申間敷候事

一 田畑賣買御法度に候條若し百姓不勝手に而作仕兼候は、譲り證文田畑反別石高書付委細以願書可申出勿論他領に一切田畑譲り申間敷候同村之内讓請候者無之は御知行所之内に譲り可申候並賣入之田畑取候は、双方手形名主組頭五人組加印可仕若し役印無之質地取候者有之は可爲越度

事

一家作之義兼而御定之通り相守分限より軽く可致候目立候普請等雖富不可致但し家之大小は可應分限に衣服之義村役人妻子共縮紬布木綿を着し脇百姓は布木綿之外不可着郡而質素第一に可仕事

附男女共乗物乗鞍馬御制禁候條聲取其外共奢りヶ間敷義不可致諸事軽く可仕事

一 百姓持高子孫に分候共壹人前高拾石より内不可分兄弟に分候共新規之百姓に有付候は、可申出之諸色存生之内名主組頭立合書付に而申置後日無出入之様可仕事

一 新規に寺社取立候義堅御制禁に候間聊之祠ラたり共新に取立間敷候別而新規之祭禮等御制禁に而有來之神事祭禮佛事等も軽く可仕事

附道橋田畑之間に祠石佛題目之石塔念佛塚庚申塚等新規に取立候儀堅仕間敷候事

一出所行衛不知者は不及申縦令親類縁者たり共日頃不見届者は一夜宿も不可借並郷中に在付致旨申候は、出所を糺慥成者に候は、請人立可申出萬一旅人其外倒死候者有之は名主組頭立會様子委細書付に而可注進途中相煩居候は、隨分養生致在所行先承り届先方に可申届事

一 堤川除其外破損有之は小破之内に普請可致候令油斷及大破に田畑損候は、名主組頭可爲越度條洪水之節は念入見廻り不破損様隨分可入精事

一 能操狂言相撲放下師其外都而見物芝居之類村中に無之様可仕事

一 百姓口論好大酒を飲致醉狂ひ行跡不宜者有之は可訴出事

一 質物取金銀貸遣し候共慥成請人之印形可取置胡亂成質物取候は、可爲越度事

一 不依何事徒黨結誓紙以申合致一味同心門訴強訴堅御停止に候相背候は、可爲曲事若し無據子細有之は兩三人以惣代可申出事

一 牛馬賣候は、出處問届請人を立五人組に可相斷候出所不慥成牛馬買求若し盜馬に而及六ヶ敷候は、當人五人組共可爲越度事

附牛馬野越不知參候節は其牛馬預り置名主に相達近所に觸狀相廻し可申候尤其所に札を立置其主相分り候は、可相渡若し相知れ不申候は、其段可申出事

一 難風に而寄船有之は濱付村方早々助船出し早速引上可申勿論金銀米錢衣類等は不及申に荷物聊成共うばひ取不法之働不可致若し相背候もの有之は可爲曲事

一 御林之義は精々手入仕御用木生立候様可仕候山燒等之節は早々出合相防可申候並牛馬放申間敷候事

附百姓所持之山林たり共道具持立入申間敷候若相背候者有之は遂穿鑿延享之度被 仰出候田畑山林御條目通り答之上過料可申付事

一 百姓自分に而仕立候竹木たり共賣買之義は不及申人に遣し申間敷候家作仕候歟又は相拂申度候は、御斷申上御下知次第可申請事

一 百姓面々印判たしなみ可申候失候は、代り之印鑑差上可申候自分之印形他人に預け置印形致間敷候若し右體之族有之は双方急度答可申付事

一 村内喧嘩口論有之は名主組頭立合可致裁判他村に而喧嘩口論有之節卒爾に馳集事堅無用に候若し人殺立退候者有之は村中出合搦捕早速可致注進若し捕候儀難叶體に候は、跡を付落着所相届可申候或は堂宮山林等に隠れ忍候胡亂成者有之は遂吟味品に寄捕置或は可追拂其外手負不審成者他所より來候は、在所を尋可送届又は様子に寄參り候跡に可追取事

一 田畑永荒場起返し切添又は新田畑に可成所有之は可申出都而御益筋之義は可申出事

一 附隠田畑致候者有之は是又早々可申出猶以田畑仕付候後其地主に無斷入込或は徒いたし作物荒し盜取候者有之は兼而延享之度被 仰出候御條目之通り咎之上其者より年貢上納可致事

一 召使之者年季成共壹季成共男女によらず宗旨相改請人方より請狀書入取可申事

一 他領之義は勿論御知行所たり共年季奉公中申分有之候共奉公人引取留置申間敷候子細有之候はば奉公人を差置其段可申出事

一 海川に流れ物有之節は精入留置可申出候事

一 渡船之義名主常々心を付腐不申候様手入爲致夜分は繩解怪敷者を通し不申候様可致候不審成者候は、氣付可申出事

右箇條之趣堅可相守此旨若し違背之輩有之者急度可爲曲事事此書面寫置正月初寄合之節入念可讀聞もの也

右御箇條之趣一々奉拜見惣百姓連印仕差上候上は此五人組に壹人も除候者無御座候尤被 仰付候通り御箇條書寫置毎年正月初寄合之節惣百姓罷出一箇條宛詮議仕急度相守可申候若し違背之

者御座候は、何様之曲事にも可被 仰付候爲其連印差上候處如斯に御座候以上

一家壹門高五石壹斗六升目

天台宗

次郎右衛門後家印

田畑四反五步

此別家内

田貳反八畝拾步

畑壹反壹畝二十五步

一家壹門高四斗六升目

天台宗

竹右衛門後家印

田畑貳反二十步

此別家内

田壹反五畝拾步

馬壹疋

一家壹門高七石六升五合壹勺目

天台宗

次郎兵衛印

田畑七反八畝拾步

此別家内

田六反三畝壹步

畑壹反五畝拾步

一家壹門高六石八斗八升五合目

天台宗 次右衛門印

田畑六反壹畝拾步

此別家内

田四反五畝壹步

畑壹反五畝九步

一家壹門高畑九畝步

此別家内

畑九畝步

一家壹門高六石七斗壹升壹勺目

田畑五反七畝二十步

此別家内

田四反七畝二十步

畑壹反步

一家壹門高三石七斗貳升目

田畑三反五畝拾步

此別家内

田貳反五畝拾步

畑壹反拾步

天台宗 文左衛門印

天台宗 萬右衛門印

馬壹疋

天台宗 萬右衛門代印 七平後家印

石高小畝貳拾五石四斗四升壹合五勺目
田畑小畝

本人七人

一家壹門高壹石壹升七合目

田畑四反貳畝六步

此別家内

田貳反七畝壹步

一家壹門高畑拾九步

此別家内

畑拾九步

一家壹門高畑六畝步

此別家内

畑六畝步

一家壹門高三石九升壹勺目

田畑貳反八畝二十步

此別家内

田壹反五畝二十步

畑壹反貳畝二十步

天台宗 平 吉印

天台宗 兵三郎印

天台宗 勘兵衛後家印

天台宗 儀兵衛印

馬壹疋

一家壹門高六石三合目

田畑五反五步

此別家内

田貳反七畝五步

畑貳反三畝步

石高小畝拾七石五斗三合貳勺目

田畑小畝壹町貳反壹畝二十九步

一家壹門高六石六升八勺目

田畑五反五畝拾步

此別家内

田三段三畝二十步

畑貳反壹畝拾步 馬壹疋

一家壹門高九石六升五合貳勺目

田畑六反九畝二十六步

此別家内

田貳反貳畝二十三步

畑三反八畝三步 馬壹疋

一家壹門高拾石八斗九升壹勺目

禪宗

六郎右衛門後家印

五五二

本人五人

禪宗

源左衛門印

禪宗

源六左衛門印

禪宗

六右衛門印

田畑四反九畝二十步

此別家内

田貳反拾六步

畑貳反九畝四步 馬壹疋

一家壹門高五石目

田畑貳反八畝步

此別家内

田壹反五畝四步

畑壹反貳畝二十六步

一家壹門高拾壹石七升二勺目

田畑八反五畝拾步

此別家内

田五反八畝拾步

畑貳反七畝步 馬壹疋

一家壹門高貳石五斗壹勺目

田畑三畝步

此別家内

禪宗

竹藏印

禪宗

忠兵衛印

禪宗

小源太印

五五三

田貳畝步

畑壹畝步

一家壹門高七石六斗七升三合目

田畑四反貳畝拾六步

此別家内

田貳反貳畝拾步

畑貳反拾六步

一家壹門高三石三斗三合目

田畑三反七畝拾三步

此別家内

田九畝拾三步

畑貳反八畝步

一家壹門高七石四斗五升目

田畑四反七畝拾步

此別家内

田九畝拾三步

畑三反八畝步

禪宗

源五兵衛印

禪宗

吉右衛門跡印

禪宗

勘重郎印

本人九人

天台宗

喜平次印

石高小畝八拾六石八斗六升壹合目

田畑小畝八五町八畝拾六步

一家壹門高貳石九升九勺目

田畑壹反貳畝拾三步

此別家内

田八畝步

畑四畝拾六步

一家壹門高拾貳石四斗六升目

田畑四反五畝廿七步

此別家内

田三反四畝二十四步

畑壹反四畝壹步

一家壹門高拾石貳斗目

田畑五反九畝二十步

此別家内

田四反三畝二十六步

畑壹反六畝四步

天台宗

勘左衛門印

禪宗

次郎左衛門印

一家壹門高拾石四斗八升四合目

田畑七反六畝九步

此別家内

田四反貳畝三步

畑三反四畝六步

一家壹門高貳石九斗三升貳合目

田畑貳反壹畝拾三步

此別家内

田壹反壹畝拾步

畑壹反三步

石高小畝六拾三石九斗五升目

田畑小畝八反八畝二十九步

一家壹門高九石貳斗九升五合目

田畑六反貳畝拾壹步

此別家内

田四反拾七步

畑貳反貳畝步

天台宗

次郎左衛門代印
勘五左衛門印

五五六

天台宗

勘右衛門印

本人五人

禪宗

仁兵衛印

一家壹門高四石貳斗四升三合貳勺目

田畑三反壹畝二十步

此別家内

田壹反六畝九步

畑壹反五畝拾三步

一家壹門高貳石貳升六合目

田畑貳反三畝貳步

此別家内

田壹反貳畝壹步

畑壹反壹畝壹步

一家壹門高三石九升貳合目

田畑貳反貳畝步

此別家内

田壹反五畝八步

畑九畝拾九步

一家壹門高畑四畝五步

此別家内

禪宗

三郎兵衛印

天台宗

作右衛門印

禪宗

仁左衛門後家印

天台宗

德兵衛跡印

五五七

畑四畝五步

石高小畝三拾石貳升三合目

田畑小畝貳町四反拾八步

一家壹門高三石七斗六升貳合目

田畑貳反七畝拾三步

此別家内

田壹反六畝步

畑壹反九畝拾八步

一家壹門高八石壹斗壹合目

田畑四反壹畝拾九步

此別家内

田貳反五畝七步

畑壹反六畝拾貳步

一家壹門高八斗貳升目

田畑五畝拾三步

此別家内

田四畝步

本人五人

天台宗

新次郎後家印

日蓮宗

庄左衛門印

日蓮宗

庄左衛門代印
與右衛門跡印

畑壹畝拾三步

一家壹門高八斗四升壹合目

田畑三反九畝拾九步

此別家内

田壹反拾三步

畑貳反九畝拾六步

一家壹門高貳石四斗四升目

田畑三反貳畝貳拾貳步

此別家内

田八畝貳拾貳步

畑貳反四畝步

一家壹門高五石三斗目

田畑八畝貳拾貳步

此別家内

田四畝步

畑四畝貳拾貳步

一家貳門高拾五石目

天台宗

幸右衛門印

日蓮宗

庄兵衛跡印

日蓮宗

庄左衛門代印
仙右衛門後家印

天台宗

藤江彌惣司印

田畑壹町四反八畝拾貳步

此別家内

田九反壹畝步

畑五反七畝拾步

石高小畝ノ四拾壹石三斗貳合目

田畑小畝ノ貳町八反步

一家壹門高三斗貳升貳合目

田畑壹反貳拾貳步

此別家内

田壹畝五步

畑壹反拾九步

一家壹門高六斗九升壹合目

田畑九畝二十八步

此別家内

田貳畝二十八步

畑七畝步

一家壹門高五斗六升壹合目

本人七人

禪

宗

勘左衛門代印
嘉平

次印

禪

宗

九左衛門印

天台宗

太郎兵衛後家印

田畑壹反貳畝七步

此別家内

田三畝貳步

畑九畝五步

一家壹門高參石七斗九升目

田畑三反九畝八步

此別家内

四三反貳步

畑九畝六步

一家壹門高四石貳斗四升八合目

田畑三反九畝拾八步

此別家内

田二反壹畝九步

畑壹反八畝貳步

石高小畝ノ九石貳斗目

田畑小畝ノ八反六畝三步

一家貳門高五拾石三斗壹合目

禪

宗

又左衛門印

禪

宗

三郎兵衛代印
伊兵衛跡印

本人五人

天台宗

鈴木麻右衛門印

田畑三町八反貳拾貳步

此別家内

田貳町貳反八畝二十六步

畑壹町貳反壹畝貳拾壹步

一家壹門高貳石壹斗壹合目

田畑貳反貳畝拾三步

此別家内

田壹反壹畝二十三步

畑壹反二十九步

一家壹門高四石壹斗五升目

田畑壹反九畝二十八步

此別家内

田九畝拾八步

畑壹反拾步

一家壹門高畑七畝拾步

此別家内

畑七畝拾步

天台宗

清左衛門印

天台宗

清左衛門代印
忠左衛門印

天台宗

清四郎後家印

天台宗

右衛門作印

一家壹門高貳石壹斗壹合目

田畑貳反四畝壹步

此別家内

田六畝拾步

畑壹反七畝四步

一家壹門高四石壹斗六升六合目

田畑五反七畝三步

此別家内

田三反五畝二十步

畑壹反六畝拾三步

一家壹門高五石三斗壹升九合目

田畑貳反六畝貳步

此別家内

田壹反五畝拾六步

畑壹反拾六步

一家壹門高九石八斗六升五合目

田畑六反四畝四步

天台宗

元平印

天台宗

太右衛門印

天台宗

吉兵衛印

此別家内

田三反三畝五步

畑三反二十九步

一家壹門高拾石九斗貳合目

田畑貳町六反壹畝五步

此別家内

田壹町九反三畝八步

畑六反七畝七步

一家壹門高貳石貳斗四升八合目

田畑壹反壹畝三步

此別家内

田六畝貳步

畑六畝三步

石高小畝五拾八石壹合貳勺目

田畑小畝四町七反八畝貳步

一家壹門高拾四石壹斗八升五合壹勺目

田畑壹町七反八畝貳步

天台宗

三右衛門印

禪宗

平次郎印

本人五人

天台宗

六兵衛印

此別家内

田六反九畝步

畑四反壹畝二十九步

一家壹門高七斗九升八合目

田畑貳反拾步

此別家内

田壹反九步

畑壹反九步

一家壹門高三石六合七勺目

田畑貳反壹步

此別家内

田壹反壹步

畑壹反步

一家壹門高八石貳斗四升七合目

田畑六反九畝二十步

此別家内

田三反五畝七步

馬壹疋

禪宗

新左衛門印

禪宗

安兵衛印

天台宗

惣次左衛門印

畑三反五畝九步

天台宗

一家壹門高四石三斗九升四合目

常右衛門印

此別家内

田畑三反拾貳步

馬壹疋

田貳反七步

天台宗

一家壹門高貳斗九升六合目

助左衛門印

此別家内

田畑三反六畝拾壹步

田貳反八步

畑壹反五畝八步

禪宗

一家壹門高六斗六升壹合

武平次印

此別家内

田畑四反拾壹步

田貳反三畝四步

石高小畝三拾石四升貳合貳勺目

本人七人

田畑小畝貳町六反五步

天台宗

一家壹門高七石四斗壹升八合目

惣左衛門後家印

此別家内

田畑六反二十五步

田四段七畝拾步

畑貳反三畝拾貳步

天台宗

一家壹門高四石九升五合目

惣吉後家印

此別家内

田畑八反九畝拾三步

田六反九畝步

畑貳反拾九步

馬壹疋

天台宗

一家壹門高壹石九斗三升目

森右衛門印

此別家内

田畑壹反壹畝四步

田七畝步

畑四畝四步

一家壹門高拾石六斗三升壹合目

禪宗

六郎兵衛印

田畑七反六畝九步

此別家内

田五反壹畝步

畑貳反壹畝九步

一家壹門高拾貳石六升三合目

田畑八反九畝二十步

此別家内

田四反二十八步

畑四反五畝二十步

一家壹門高五石四斗四升貳勺目

田畑四反壹畝二十步

此別家内

田三反二十五步

畑壹畝二十五步

石高小畝ノ四拾七石五斗四升八勺目

田畑小畝ノ三町三反拾貳步

一家壹門高拾六石五斗九合目

禪宗

太郎左衛門^印

馬壹疋

天台宗

元右衛門後家^印

本人六人

天台宗

六左衛門^印 ○

田畑四反壹畝二十步

此別家内

田三反二十五步

畑三畝二十六步

一家壹門高三石四斗七升六合目

田畑貳反六畝七步

此別家内

田壹反三畝七步

畑壹反貳畝拾九步

一家壹門高四石三斗貳升目

田畑三反貳畝三步

此別家内

田貳反步

畑壹反貳畝三步

一家壹門高五石六升八合五勺目

田畑五反五畝拾四步

此別家内

天台宗

藤左衛門後家^印

天台宗

源右衛門^印

天台宗

六郎左衛門^印